令和５年度
子育て支援に関するアンケート調査
【結果報告書】

令 和 ６ 年 ６ 月

那須烏山市

目　次

Ⅰ　調査の概要......3

１．調査の目的......3
２．調査対象者......3
３．実施方法......3
４．回収結果......3
５．報告書を見る際の留意点......3

Ⅱ　調査結果　子育て支援に関するアンケート調査......7

１．お住まいの地域について......7
２．お子さんとご家族の状況について......8
３．子どもの育ちをめぐる環境について......10
４．お子さんの保護者の就労状況について......15
５．平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について......30
６．地域の子育て支援事業の利用状況について......39
７．土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について......46
８．お子さんの病気の際の対応について......53
９．不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用について......60
10．小学校入学後の放課後の過ごし方について......68
11．育児休業や短時間勤務など職場の両立支援制度について......80

Ⅲ　資料編（使用した調査票）......99

Ⅰ　調査の概要

Ⅰ　調査の概要

１．調査の目的

本調査は、令和２年３月に策定した「那須烏山市子育て応援プラン（第２期子ども・子育て支援事業計画）」が令和６年度に終了することに伴い、令和７年度からの「那須烏山市子育て応援プラン」の策定の基礎資料とするため、市民の皆さまの子育てに関する実態やご意見・ご要望を把握することを目的に実施しました。

２．調査対象者

令和６年３月１日現在、市内在住の就学前児童の保護者を対象として、住民基本台帳等より対象者551 人を抽出いたしました。

調査区分	調査対象者
子育て支援に関するアンケート調査	市内在住の就学前児童の保護者

３．実施方法

●調査地域：那須烏山市全域
●調査形式：アンケート調査
●調査方法：園での直接配布・直接回収
●調査期間：令和６年３月４日～令和６年４月１日

４．回収結果

調査区分	配布数	回収数	回収率
子育て支援に関するアンケート調査	551 件	402 件	73.0%

５．報告書を見る際の留意点

●調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第２位を四捨五入して小数点第１位までを示しているため、比率が 0.05 未満の場合には 0.0 と表記しています。また、合計値が 100.0%にならない場合があります。
●複数回答の設問の場合、原則として、その項目に対しての有効回答者数を基数とし、比率算出を行っているため、回答比率の合計は 100.0%を超える場合があります。
●図表中の「ｎ」とは、その設問の回答者数を表しています。
●クロス集計については、属性情報を得られなかった回答があったため、全体の回答数と属性別の回答数の合計が一致しません。

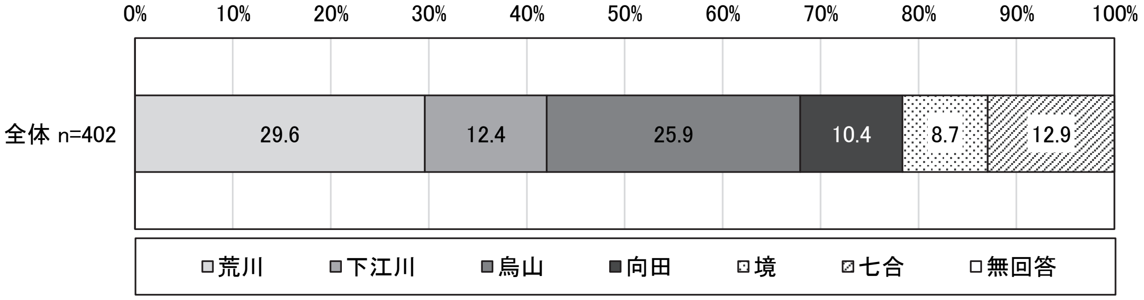
Ⅱ　調査結果　子育て支援に関するアンケート調査

Ⅱ　調査結果　子育て支援に関するアンケート調査

１．お住まいの地域について

問１　お住まいの地区について、下表の区域を参考に、あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

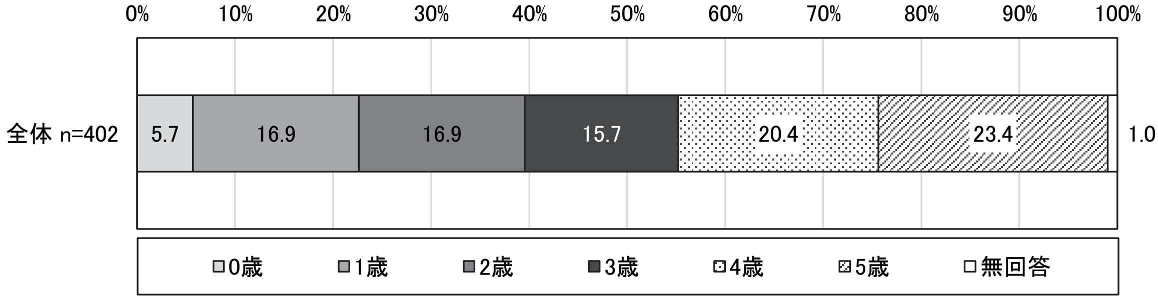
お住まいの地区については、「荒川」が 29.6％で最も高く、次いで「烏山」が 25.9％、「七合」が 12.9％となっています。



２．お子さんとご家族の状況について

問２　あて名のお子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください。数字は１枠に１字）

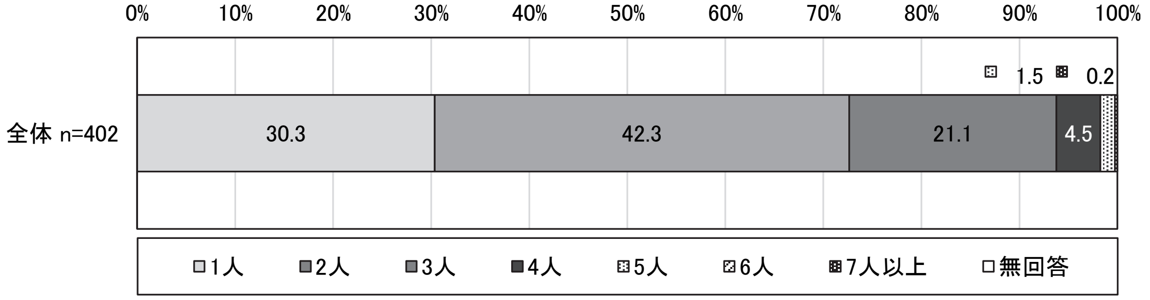
お子さんの年齢については、「５歳」が 23.4％で最も高く、次いで「４歳」が 20.4％、「１歳」「２歳」がともに 16.9％となっています。



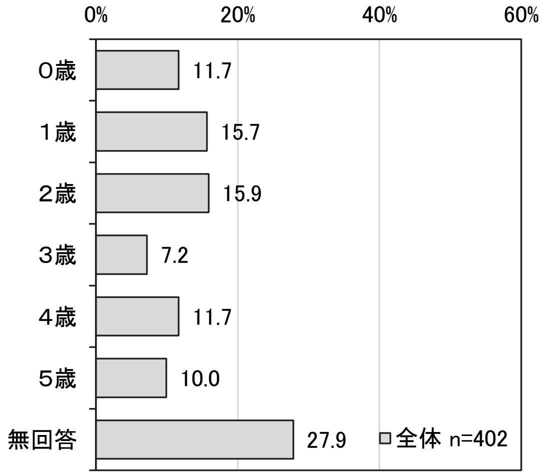
問３　あて名のお子さんは何人きょうだいですか。あて名のお子さんを含めた人数を、□内に数字でご記入ください。
（２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。）

お子さんが何人きょうだいかについては、「２人」が 42.3％で最も高く、次いで「１人」が 30.3％、「３人」が 21.1％となっています。

末子の年齢については、「２歳」が 15.9％で最も高く、次いで「１歳」が 15.7％、「０歳」「４歳」がともに 11.7％となっています。

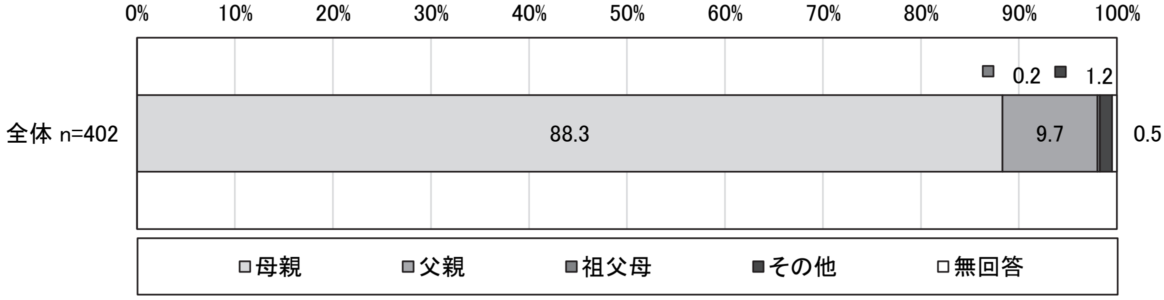


【末子年齢】



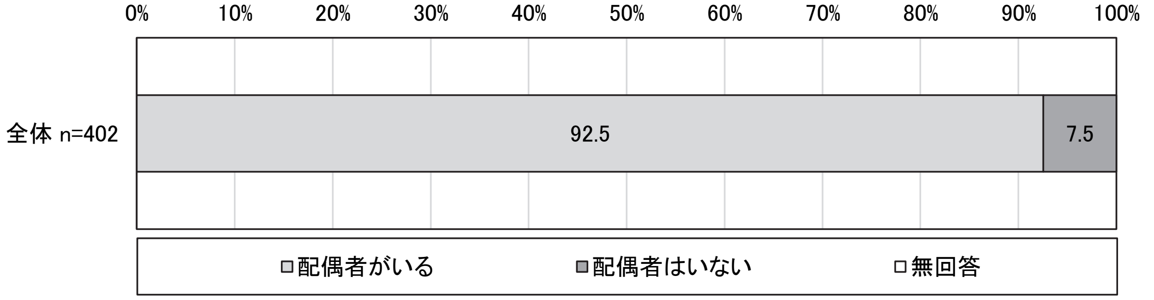
問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

回答者については、「母親」が 88.3％で最も高く、次いで「父親」が 9.7％、「祖父母」が 0.2％となっています。



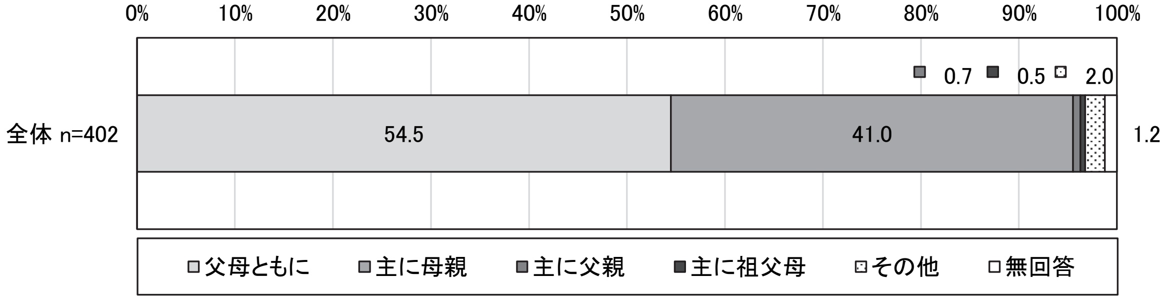
問５　この調査票にご回答いただいている方に、配偶者（夫または妻）はいらっしゃいますか。「１」または「２」のどちらかに、○をつけてください。

回答者に配偶者（夫または妻）がいるかについては、「配偶者がいる」が 92.5％、「配偶者はいない」が 7.5％となっています。



問６　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で、あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

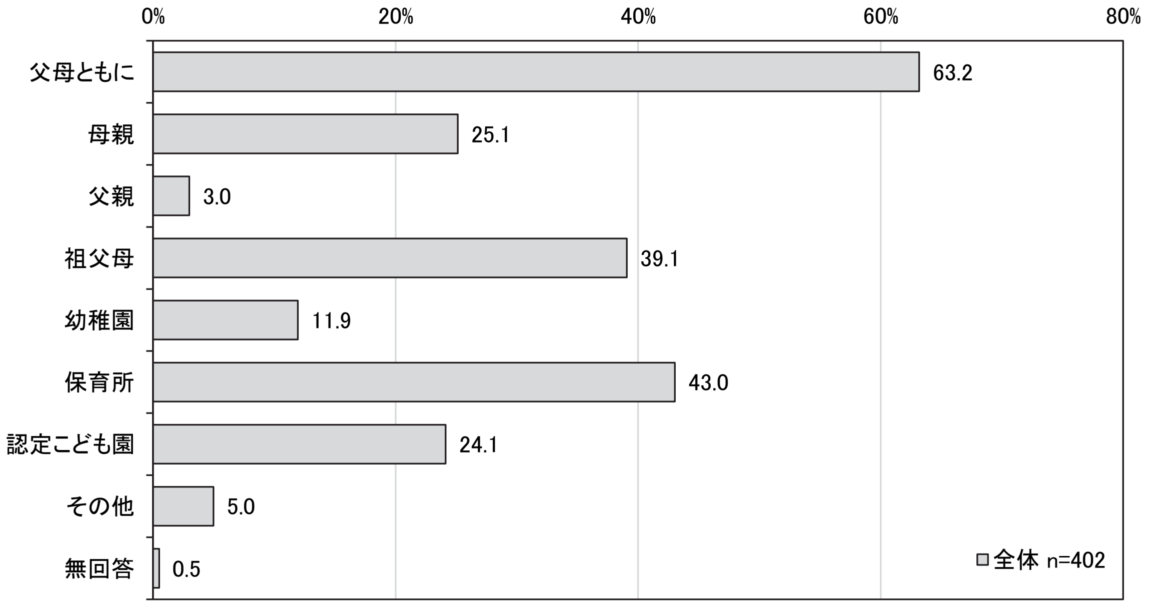
お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方については、「父母ともに」が 54.5％で最も高く、次いで「主に母親」が 41.0％、「主に父親」が 0.7％となっています。



３．子どもの育ちをめぐる環境について

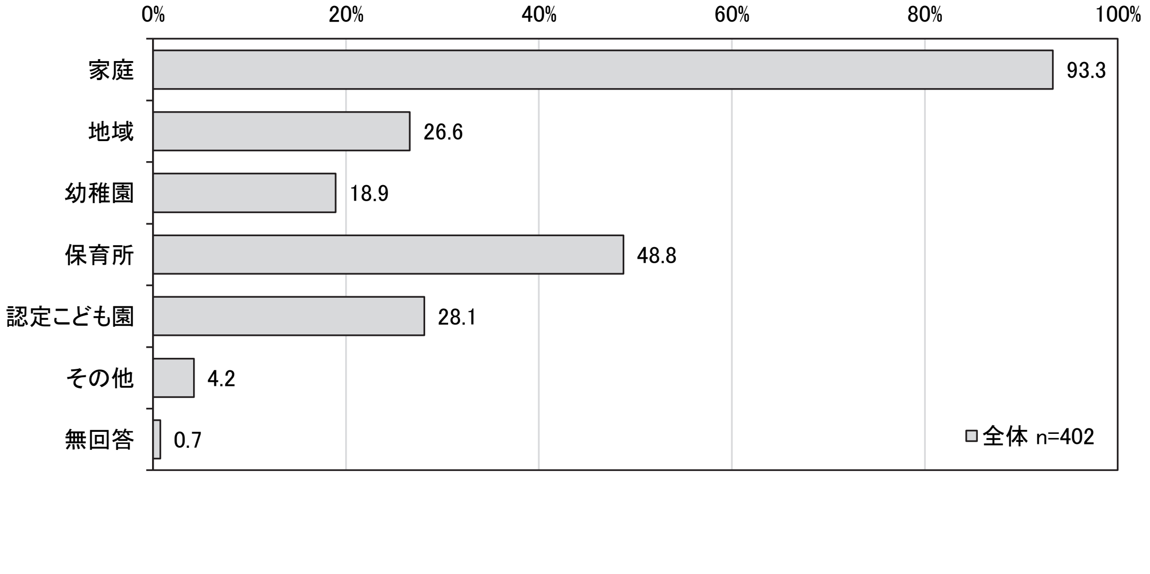
問７　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）はどなたですか。お子さんからみた関係で、あてはまる番号すべてに、○をつけてください。【複数選択可】

お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）については、「父母ともに」が 63.2％で最も高く、次いで「保育所」が 43.0％、「祖父母」が 39.1％となっています。



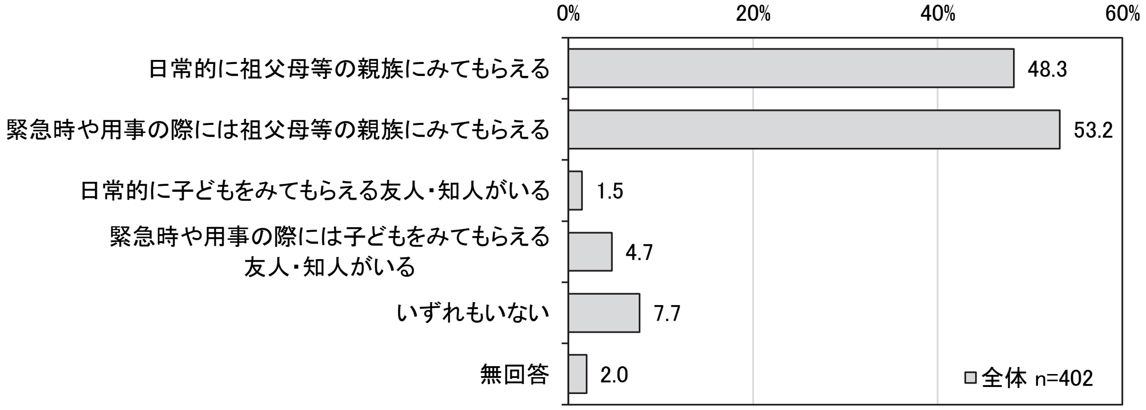
問８　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、強く影響すると思われる環境すべてに、○をつけてください。【複数選択可】

お子さんの子育て（教育を含む）に、強く影響すると思われる環境については、「家庭」が 93.3％で最も高く、次いで「保育所」が 48.8％、「認定こども園」が 28.1％となっています。



問９　日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。【複数選択可】

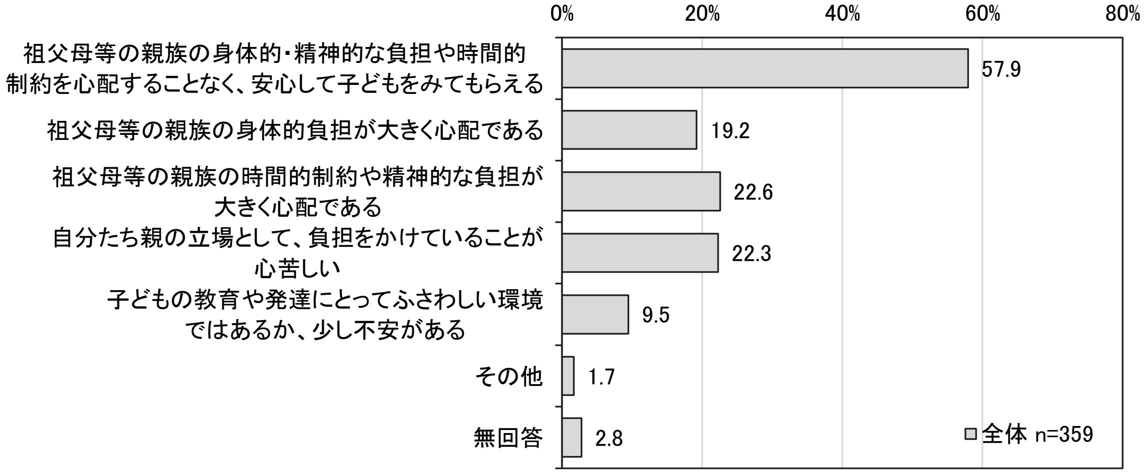
日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人がいるかについては、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 53.2%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 48.3%、「いずれもいない」が 7.7%となっています。



問９で、「１．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「２．緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

問９-１　祖父母等の親族に、お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

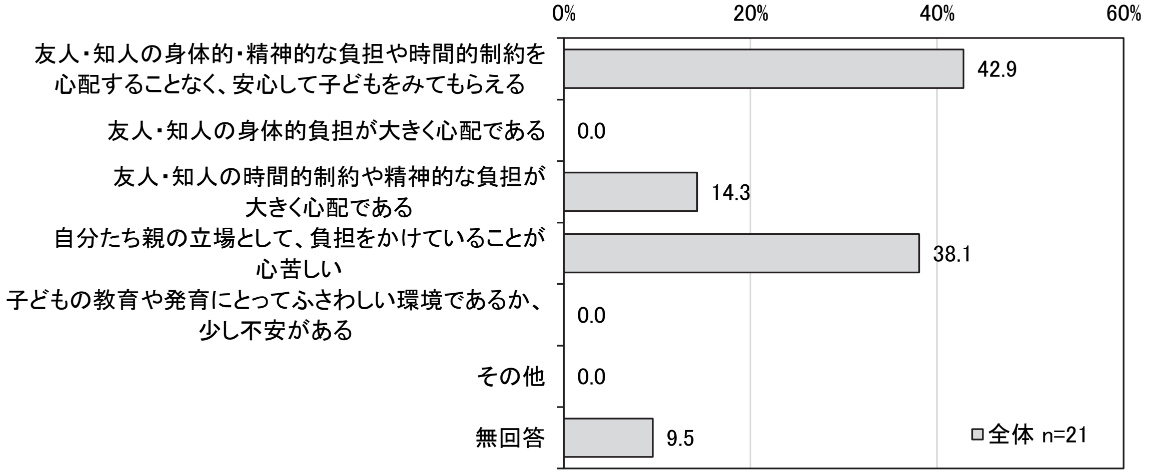
祖父母等の親族に、お子さんをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 57.9%で最も高く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 22.6%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 22.3%となっています。



問９で、「３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「４．緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

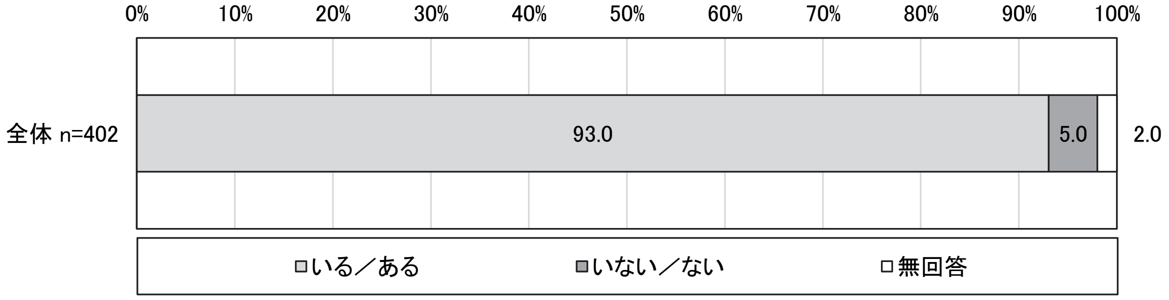
問９-２　友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。【複数選択可】

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 42.9％で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 38.1％、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 14.3％となっています。



問 10　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

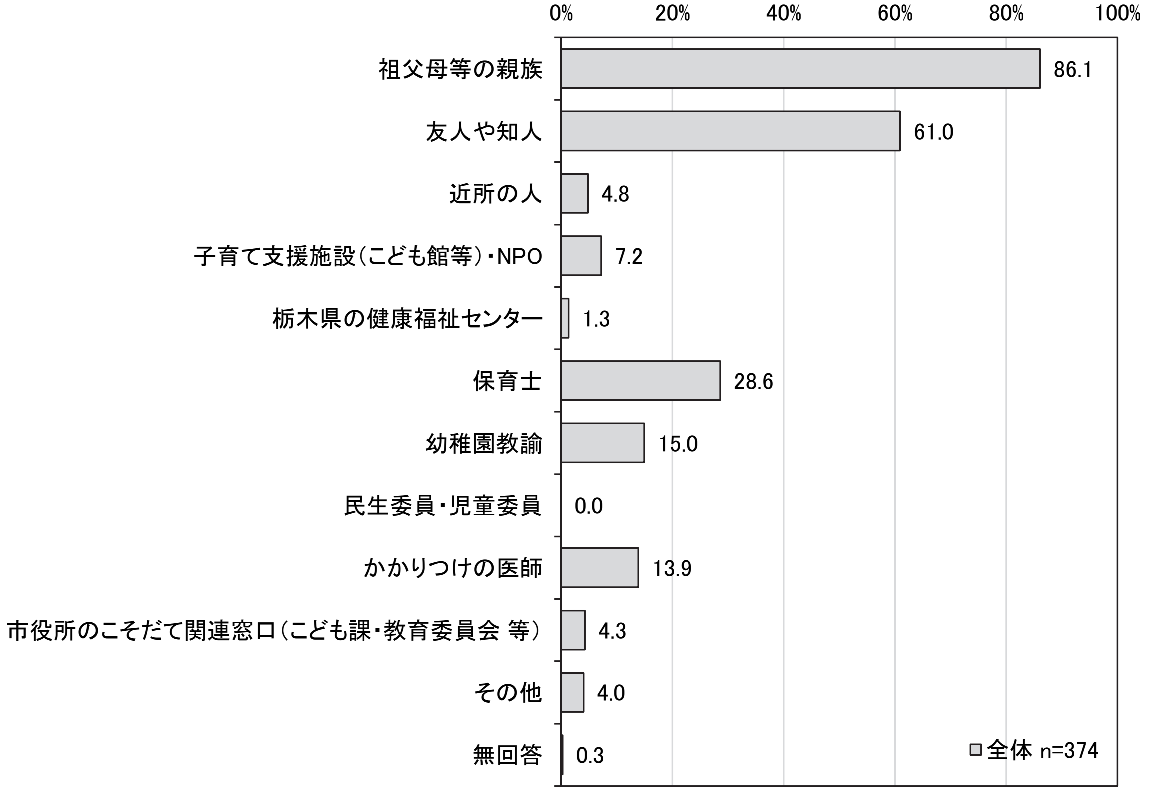
お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）については、「いる／ある」が 93.0％、「いない／ない」が 5.0％となっています。



問１０で、「１.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

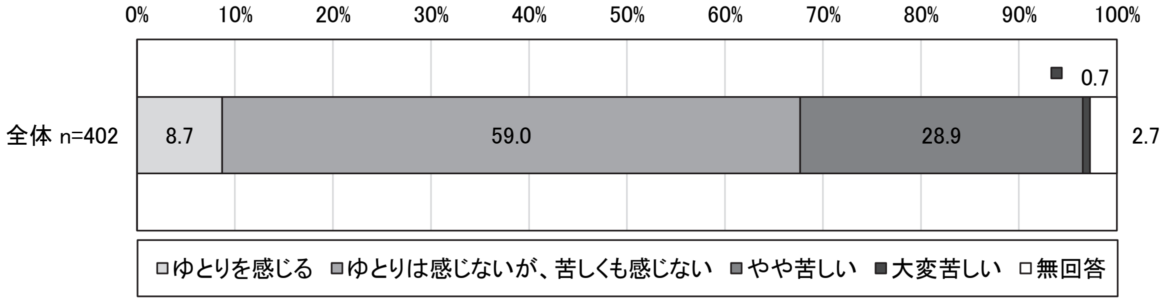
問 10-1　お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。【複数選択可】

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先については、「祖父母等の親族」が 86.1％で最も高く、次いで「友人や知人」が 61.0％、「保育士」が 28.6％となっています。



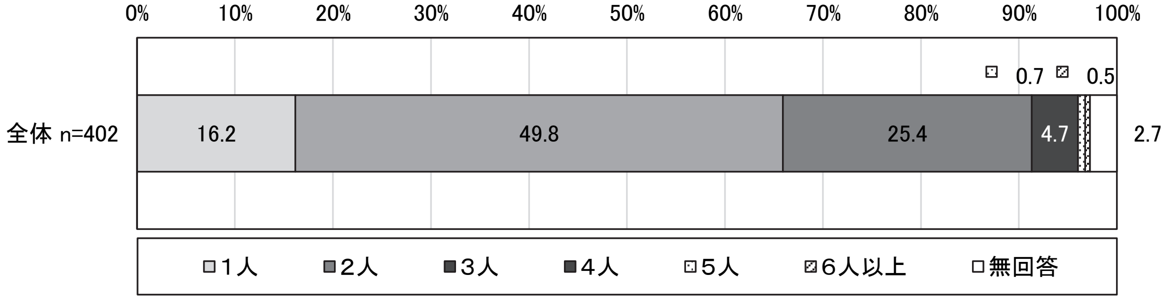
問 11　子育てをする中で、いまの暮らしの状況をどのように感じていますか。あてはまる番号１つに、○をつけてください。

子育てをする中で、いまの暮らしの状況をどのように感じているかについては、「ゆとりは感じないが、苦しくも感じない」が 59.0％で最も高く、次いで「やや苦しい」が 28.9％、「ゆとりを感じる」が 8.7％となっています。



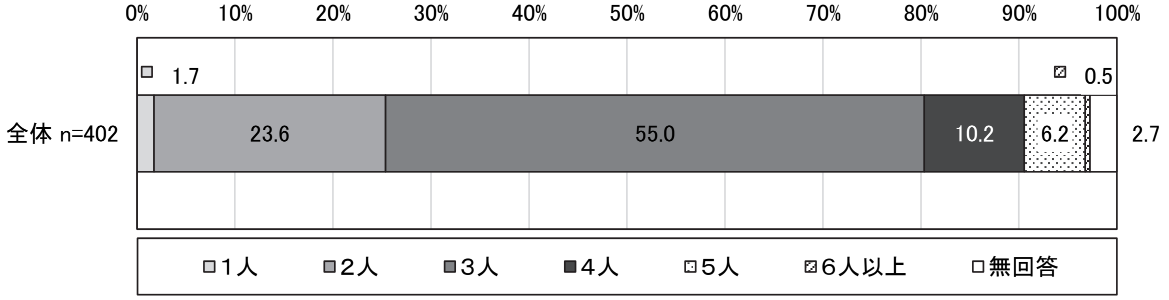
問 11-1　現在の暮らしの状況や仕事上を踏まえた場合、ご家庭で望む子どもの人数は何人でしょうか。あなたが考える人数に○をつけてください。

現在の暮らしの状況や仕事上を踏まえた場合、ご家庭で望む子どもの人数については、「２人」が 49.8％で最も高く、次いで「３人」が 25.4％、「１人」が 16.2％となっています。



問 11-2　暮らしの状況や仕事上の制約がないと考えた場合、理想の子どもの人数は何人でしょうか。あなたが考える人数に○をつけてください。

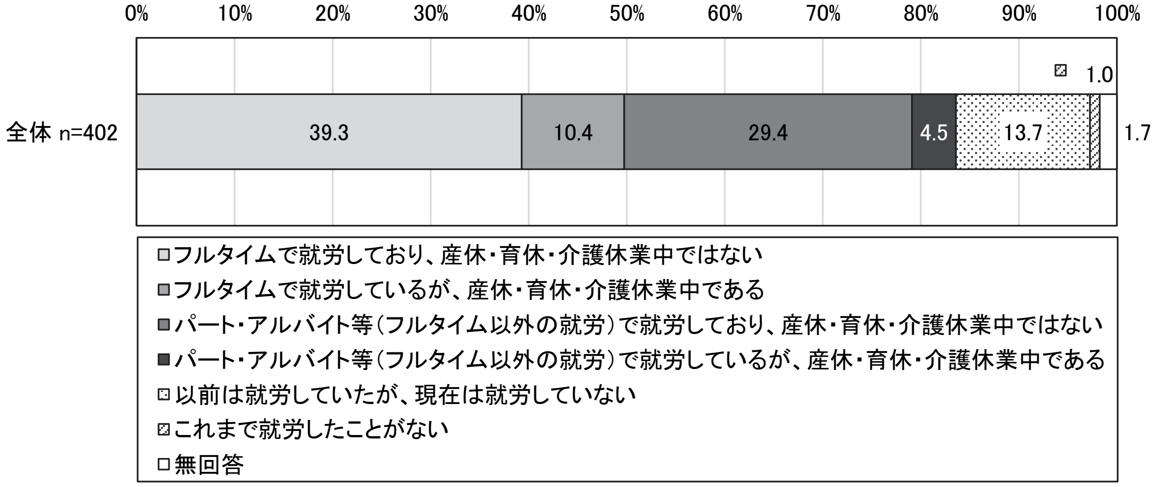
暮らしの状況や仕事上の制約がないと考えた場合、理想の子どもの人数については、「３人」が 55.0％で最も高く、次いで「２人」が 23.6％、「４人」が 10.2％となっています。



４．お子さんの保護者の就労状況について

問 12　あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をうかがいます。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。
（１）母親

母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 39.3％で最も高く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 29.4％、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 13.7％となっています。



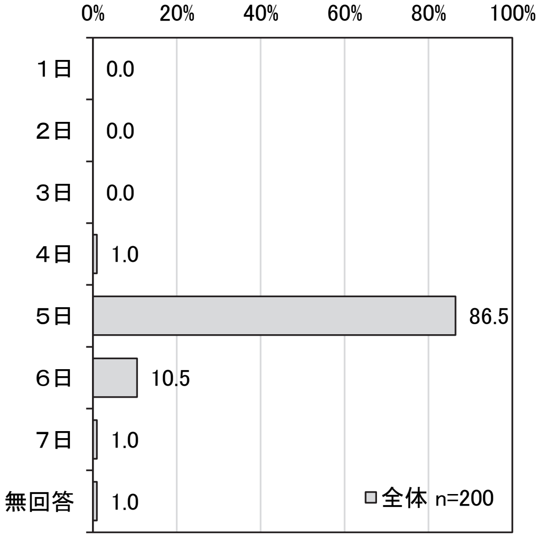
問 12（1）で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

問 12（1）-1　１週あたりの「就労日数」、１日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。）

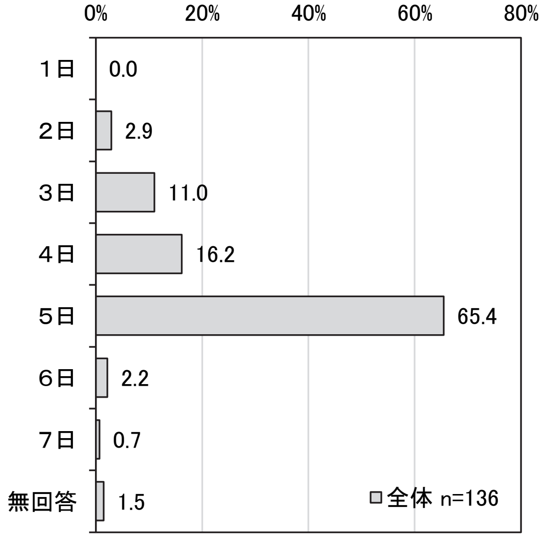
１週あたりの就労日数については、フルタイムでは「５日」が 86.5％で最も高く、次いで「６日」が 10.5％、「４日」「７日」がともに 1.0％となっています。パート・アルバイト等では「５日」が 65.4％で最も高く、次いで「４日」が 16.2％、「３日」が 11.0％となっています。

１日あたりの就労時間については、フルタイムでは「８時間」が 65.5％で最も高く、次いで「７時間」が 12.5％、「９時間」が 8.5％となっています。パート・アルバイト等では「６時間」が 36.0％で最も高く、次いで「５時間」が 19.9％、「７時間」が 15.4％となっています。

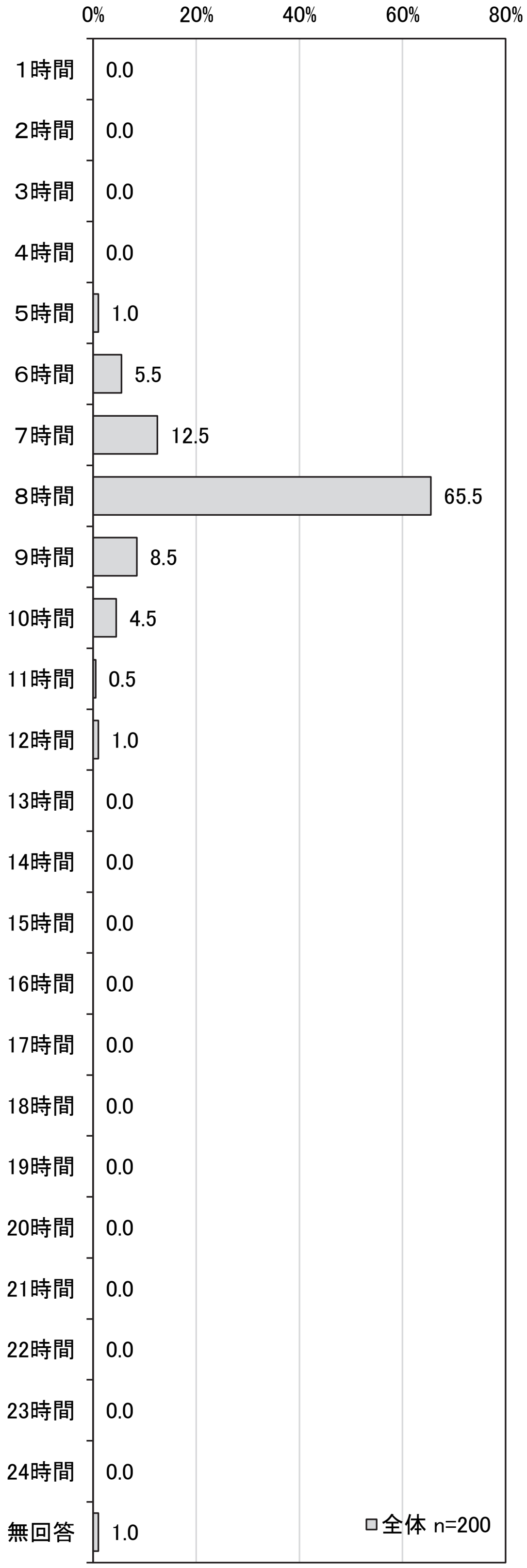
【１週あたりの就労日数（フルタイム）】



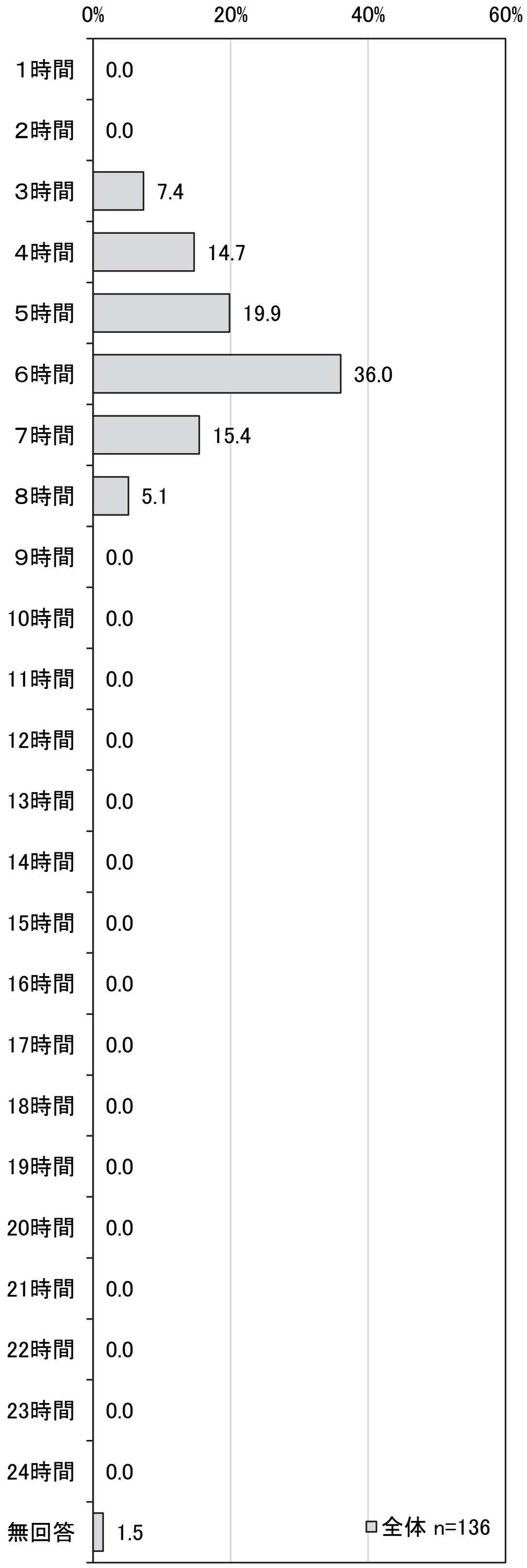
【１週あたりの就労日数（パート・アルバイト等）】



【１日あたりの就労時間（フルタイム）】



【１日あたりの就労時間（パート・アルバイト等）】



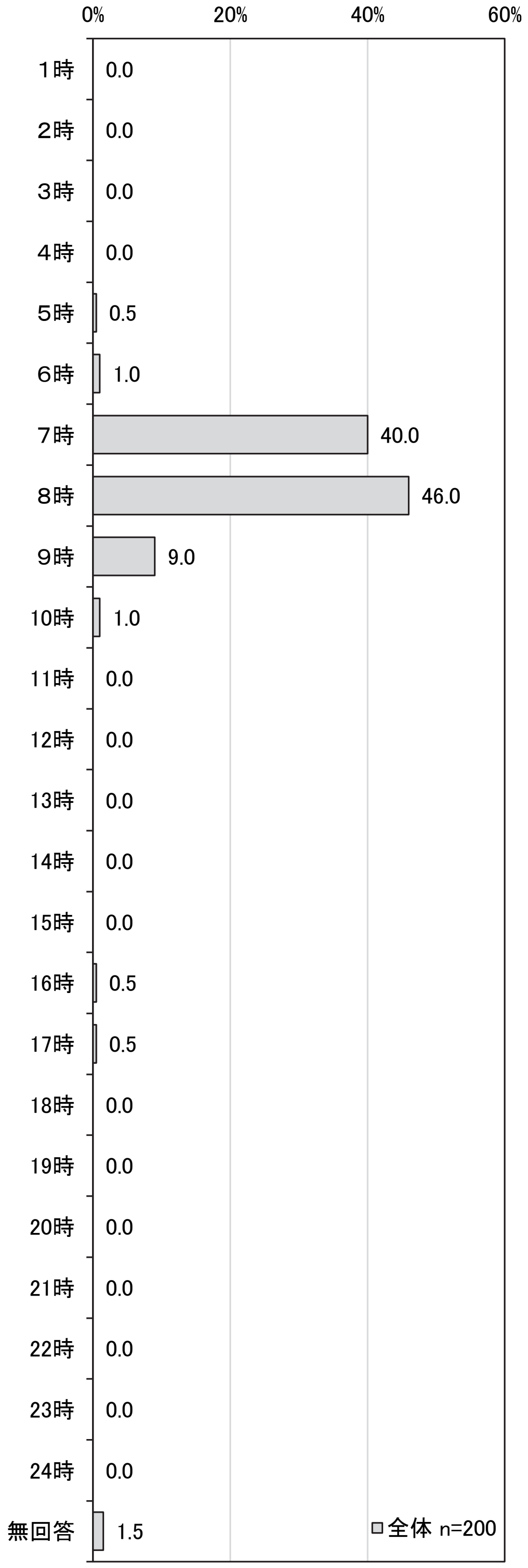
問12（1）で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

問12（1）-2　家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。）

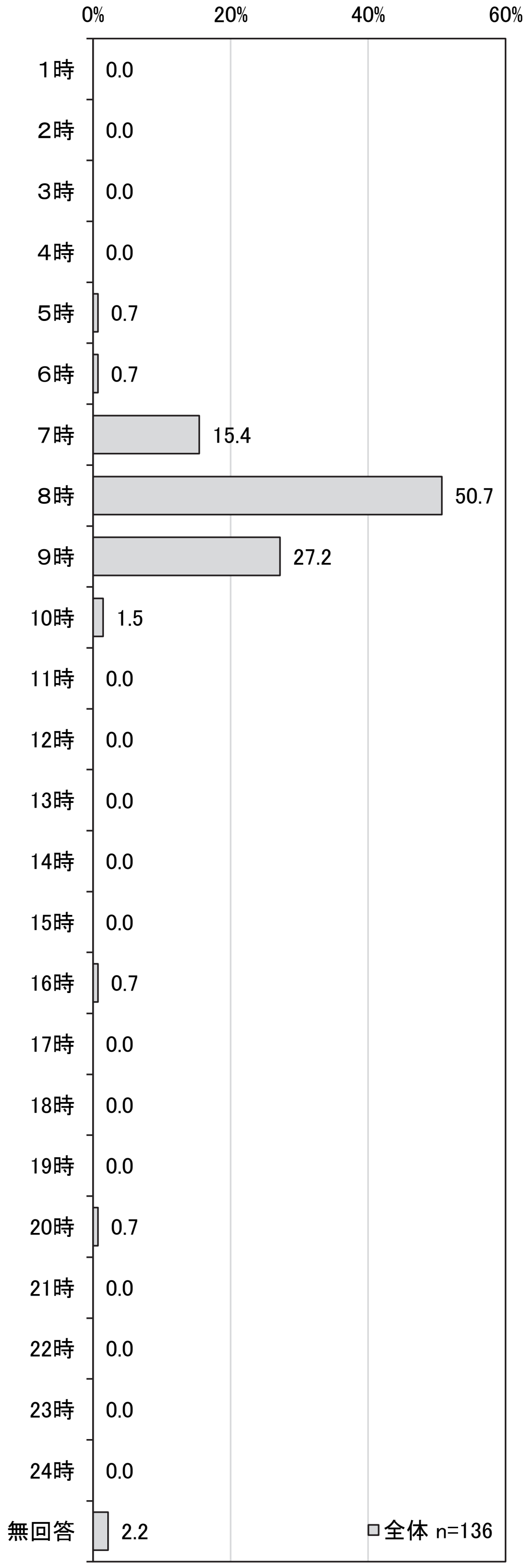
家を出る時刻については、フルタイムでは「8時」が46.0％で最も高く、次いで「7時」が40.0％、「9時」が9.0％となっています。パート・アルバイト等では「8時」が50.7％で最も高く、次いで「7時」が15.4％、「9時」が27.2％となっています。

帰宅時刻については、フルタイムでは「18時」が59.0％で最も高く、次いで「17時」が16.5％、「19時」が13.0％となっています。パート・アルバイト等では「17時」が38.2％で最も高く、次いで「16時」が15.4％、「15時」が14.7％となっています。

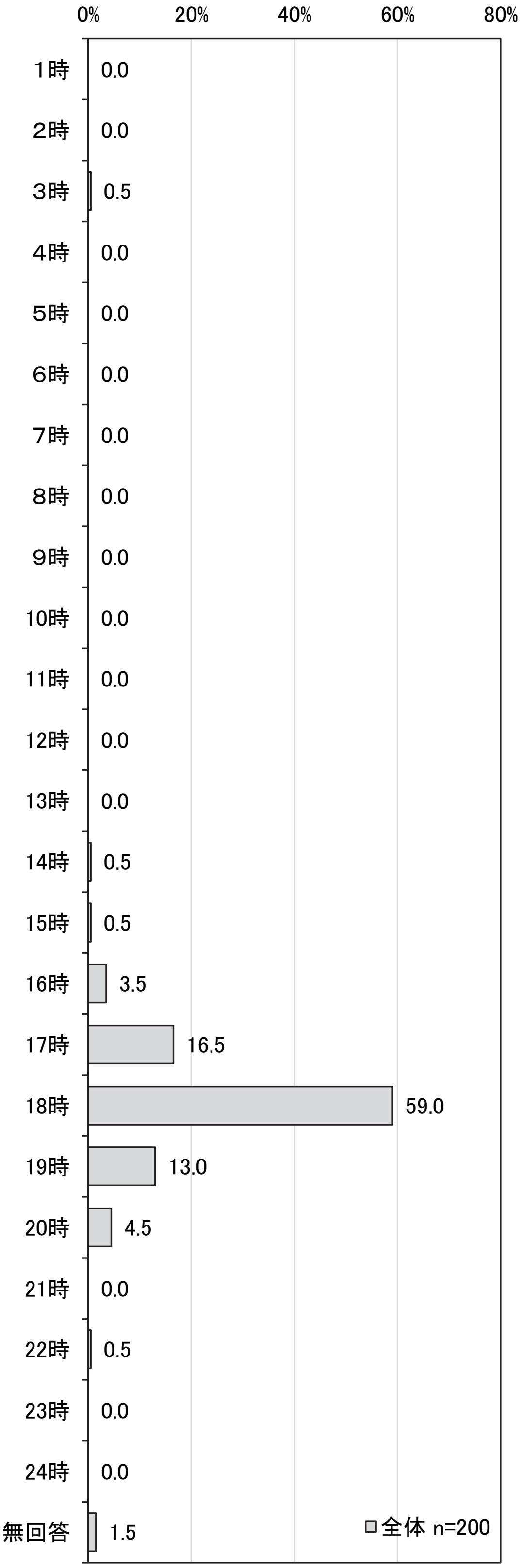
【家を出る時刻（フルタイム）】



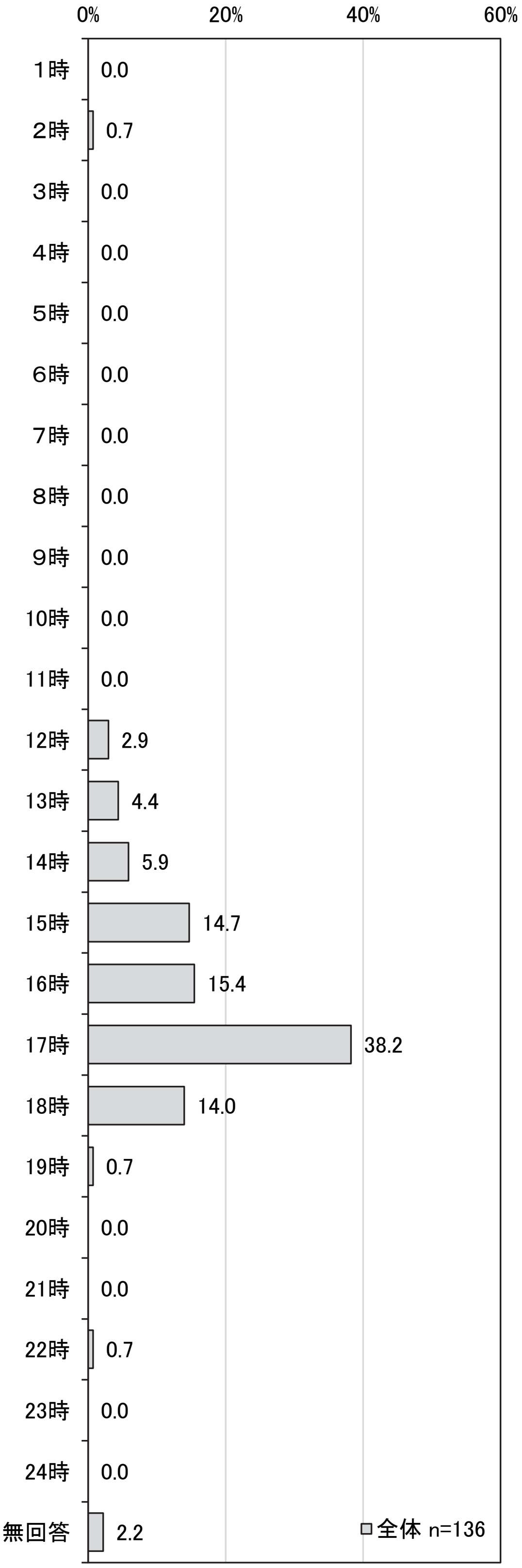
【家を出る時刻（パート・アルバイト等）】



【帰宅時刻（フルタイム）】

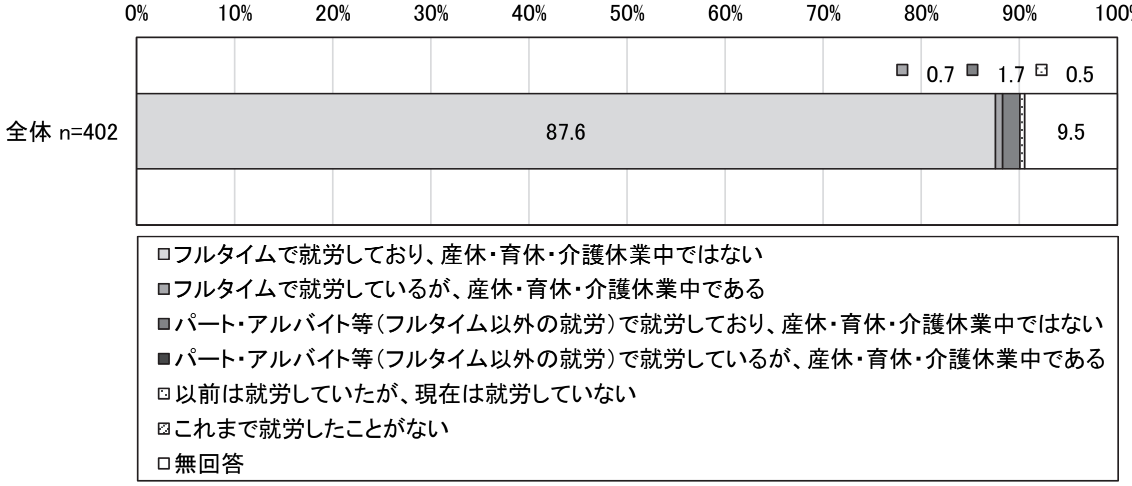


【帰宅時刻（パート・アルバイト等）】



問 12　あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をうかがいます。あてはまる番号に１つ、○を付けてください。
（２）父親

父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 87.6％で最も高く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 1.7％、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 0.7％となっています。



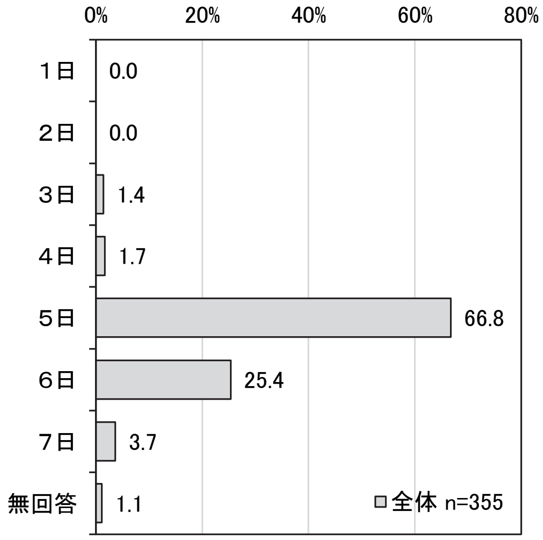
問 12（２）で「１」～「４」に○をつけた方にうかがいます。

問 12（２）-１　１週あたりの「就労日数」、１日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。（育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください）

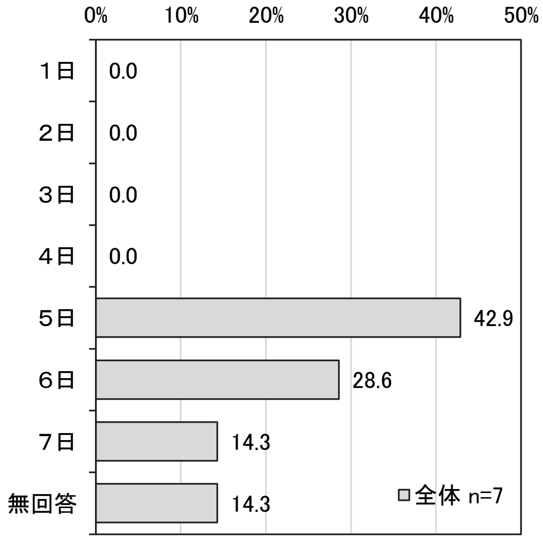
１週あたりの就労日数については、フルタイムでは「５日」が 66.8％で最も高く、次いで「６日」が 25.4％、「７日」が 3.7％となっています。パート・アルバイト等では「５日」が 42.9％で最も高く、次いで「６日」が 28.6％、「７日」が 14.3％となっています。

１日あたりの就労時間については、フルタイムでは「８時間」が 45.4％で最も高く、次いで「10 時間」が 17.7％、「９時間」が 13.2％となっています。パート・アルバイト等では「５時間」「７時間」がともに 28.6％で最も高く、次いで「４時間」「18 時間」がともに 14.3％となっています。

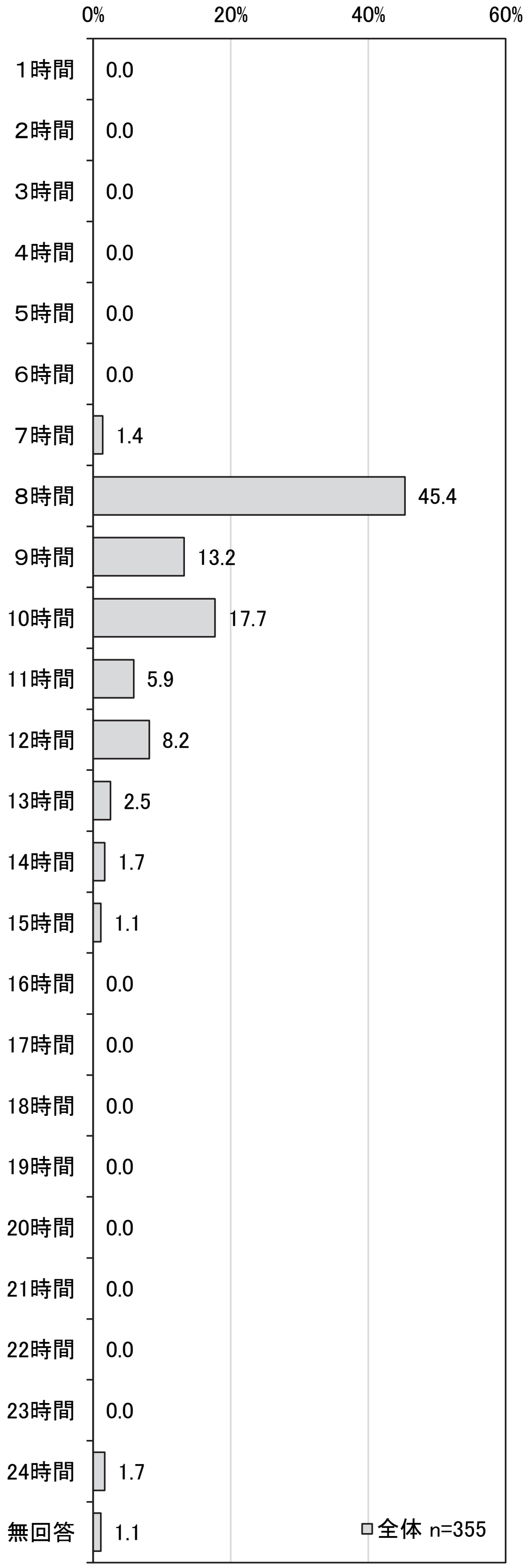
【１週あたりの就労日数（フルタイム）】



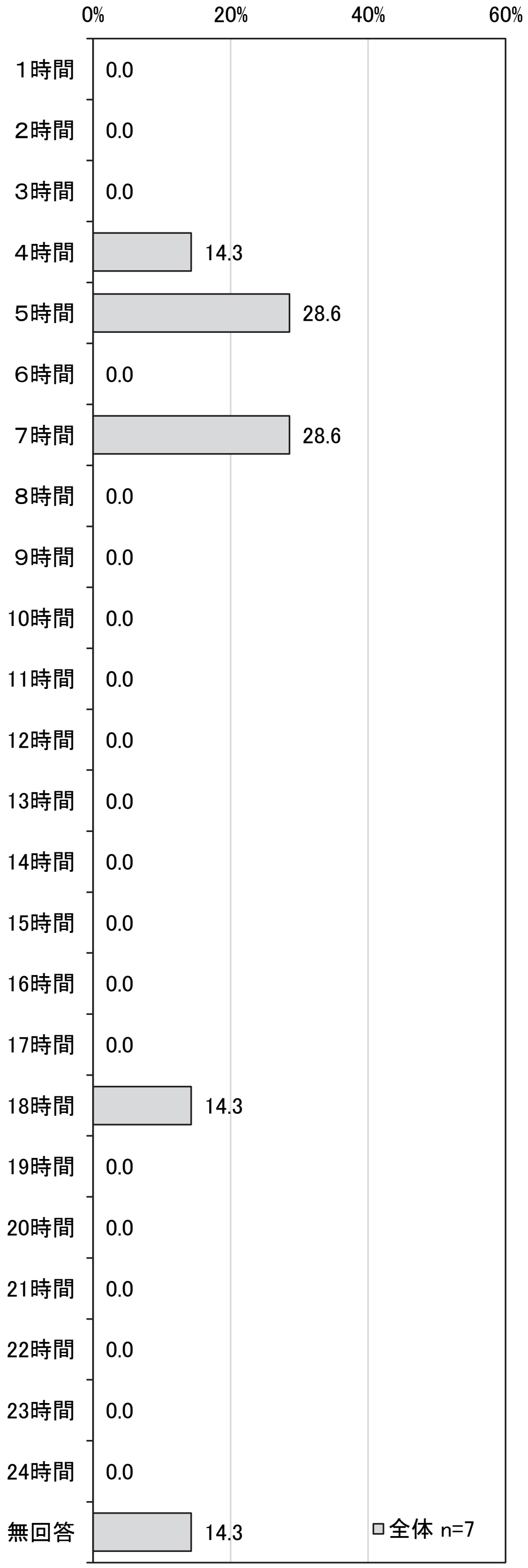
【１週あたりの就労日数（パート・アルバイト等）】



【１日あたりの就労時間（フルタイム）】



【１日あたりの就労時間（パート・アルバイト等）】



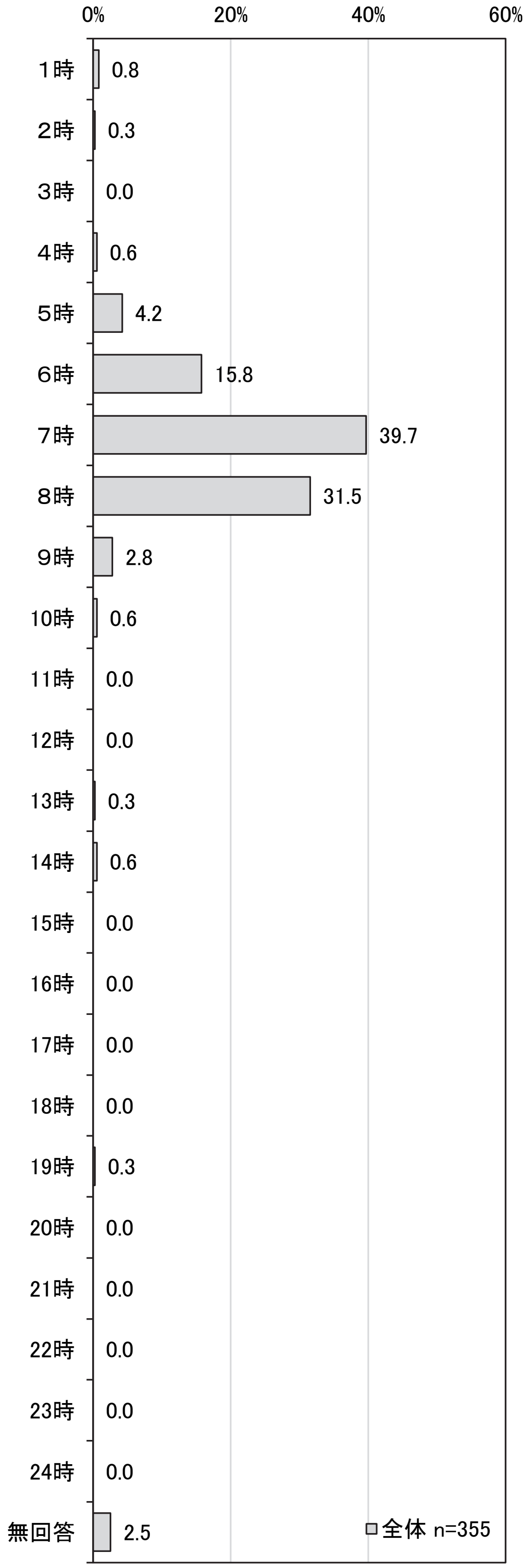
問 12（２）で「１」～「４」に○をつけた方にうかがいます。

問 12（２）-2　家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。（育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください）

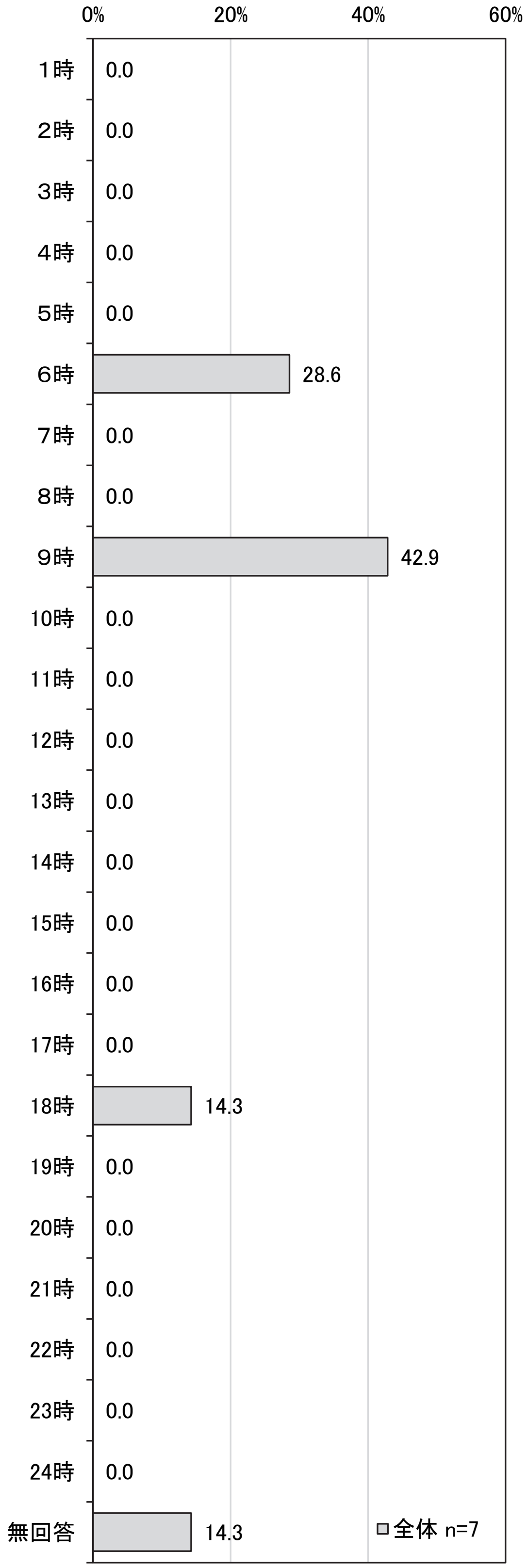
家を出る時刻については、フルタイムでは「７時」が 39.7％で最も高く、次いで「８時」が 31.5％、「６時」が 15.8％となっています。パート・アルバイト等では「９時」が 42.9％で最も高く、次いで「６時」が 28.6％、「18 時」が 14.3％となっています。

帰宅時刻については、フルタイムでは「18 時」が 27.9％で最も高く、次いで「19 時」が 22.0％、「20 時」が 16.9％となっています。パート・アルバイト等では「15 時」が 42.9％で最も高く、次いで「16 時」が 28.6％、「12 時」が 14.3％となっています。

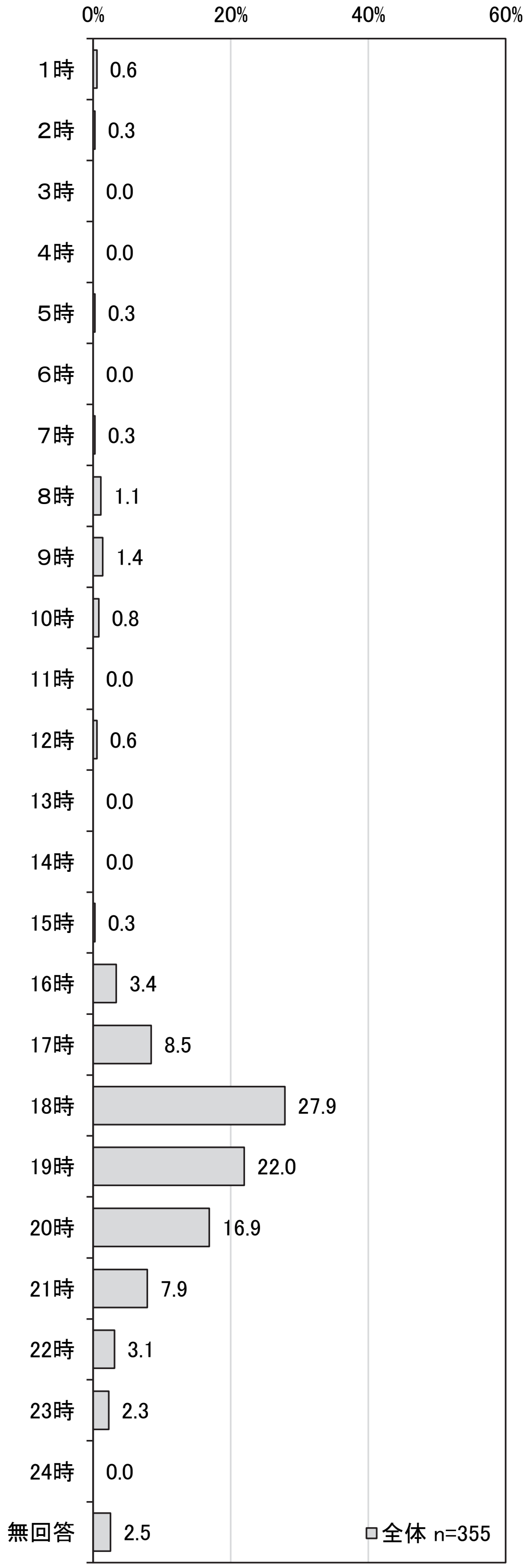
【家を出る時刻（フルタイム）】



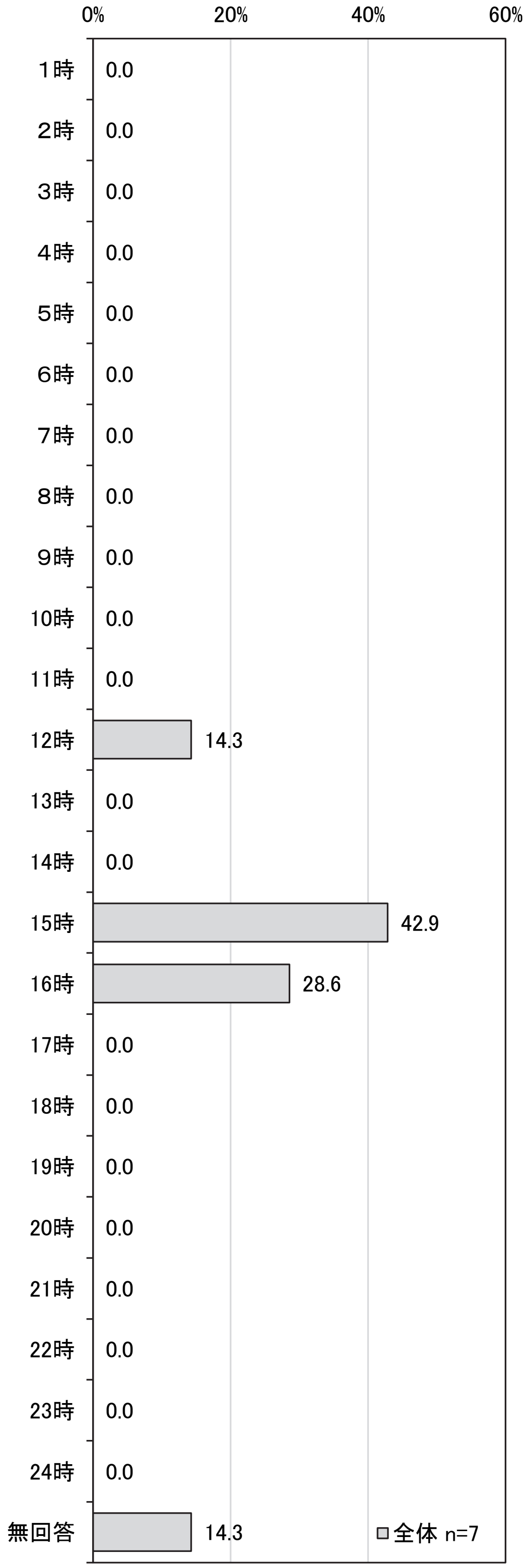
【家を出る時刻（パート・アルバイト等）】



【帰宅時刻（フルタイム）】



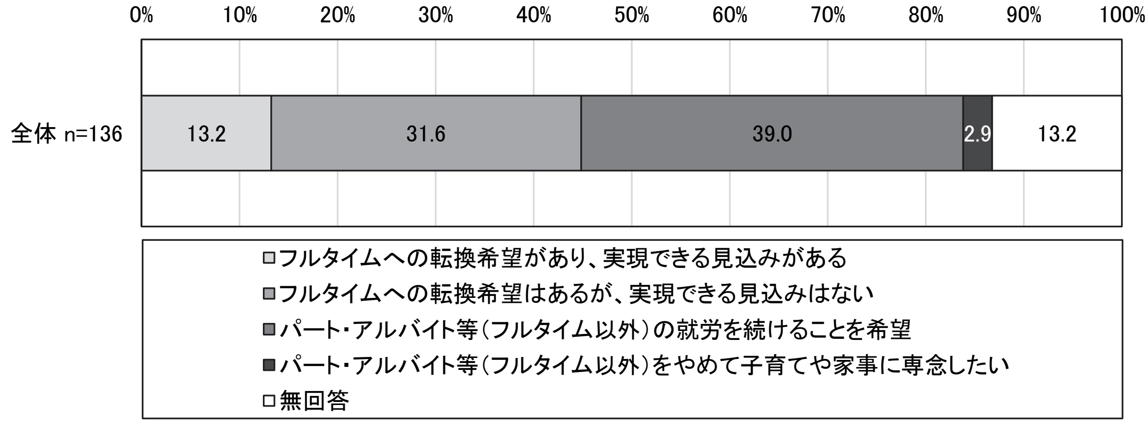
【帰宅時刻（パート・アルバイト等）】



問 12（１）で、「３」「４」（パート・アルバイト等で就労）に○をつけた方にうかがいます。

問 13　フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。
（１）母親

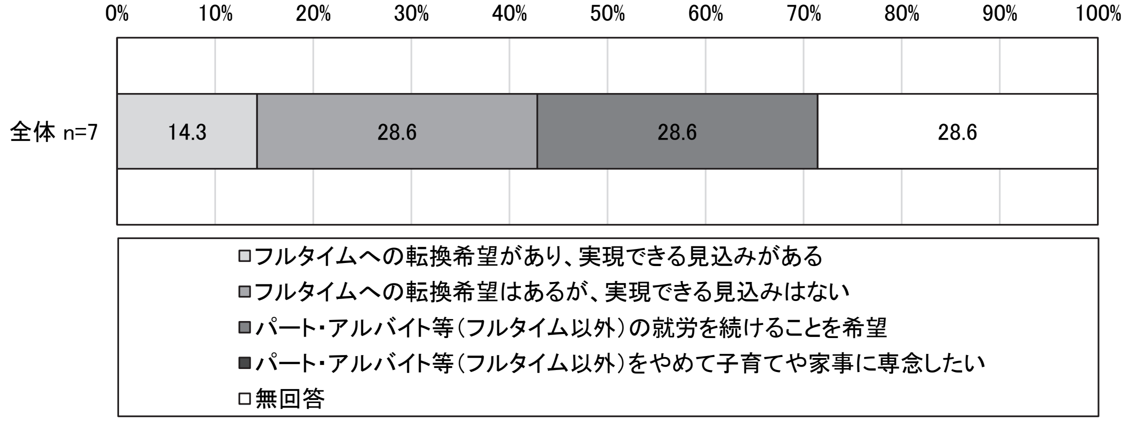
母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けることを希望」が 39.0％で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 31.6％、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 13.2％となっています。



問 12（２）で、「３」「４」（パート・アルバイト等で就労）に○をつけた方にうかがいます。

問 13　フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。
（２）父親

父親のフルタイムへの転換希望については、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けることを希望」がともに 28.6％で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 14.3％、「パート・アルバイト等（フルタイム以外）をやめて子育てや家事に専念したい」が 0.0％となっています。



問 12（1）で、「5．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問 14　就労したい希望はありますか。あてはまる番号に１つ、○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。（数字は１枠に１字）

（1）母親

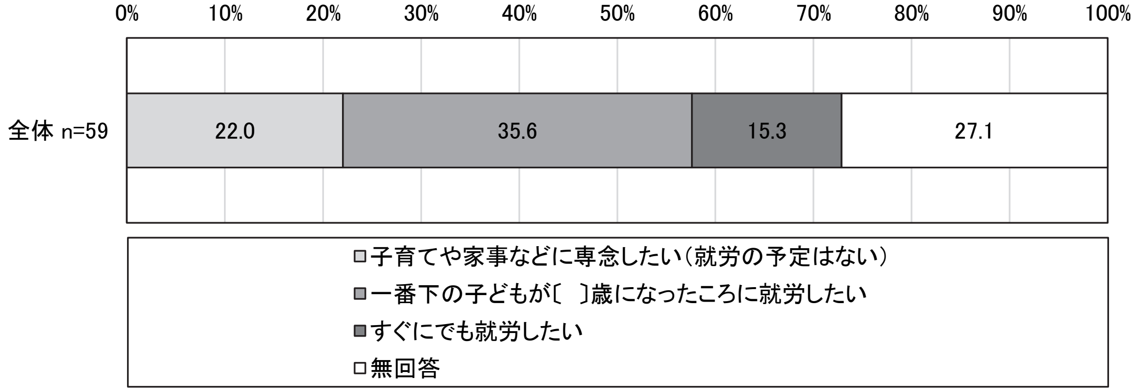
母親の就労希望については、「一番下の子どもが〔　〕歳になったころに就労したい」が 35.6%で最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 22.0%、「すぐにでも就労したい」が 15.3%となっています。

一番下の子どもが何歳になったころに就労したいかについては、「７歳以上」が 38.1%で最も高く、次いで「３歳」が 19.0%、「１歳」が 14.3%となっています。

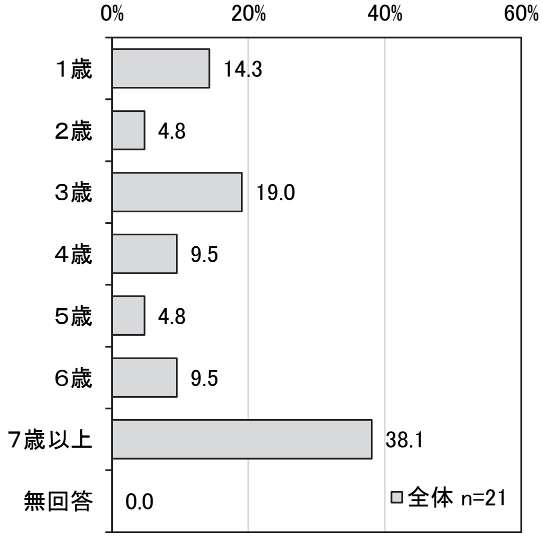
希望する就労形態については、「フルタイム」が 6.7%、「パート・アルバイト等」が 36.7%となっています。

パート・アルバイト等で就労を希望する方の１週あたりの就労日数については、「５日」が 45.5%で最も高く、次いで「３日」「４日」がともに 27.3%となっています。

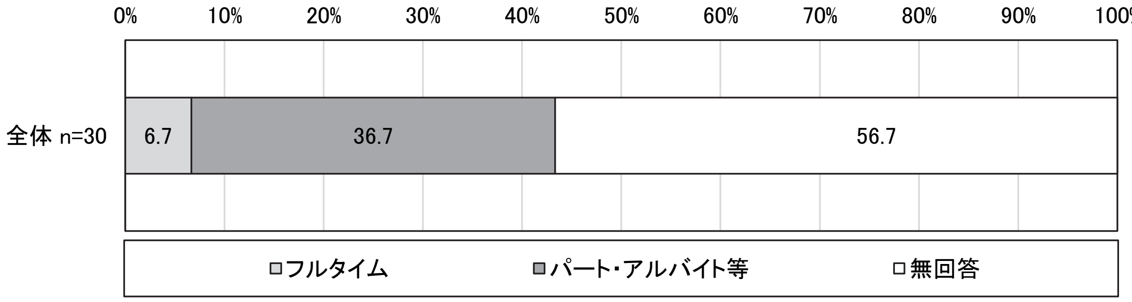
パート・アルバイト等で就労を希望する方の１日あたりの就労時間については、「５時間」が 63.6%で最も高く、次いで「４時間」が 27.3%、「６時間」が 9.1%となっています。



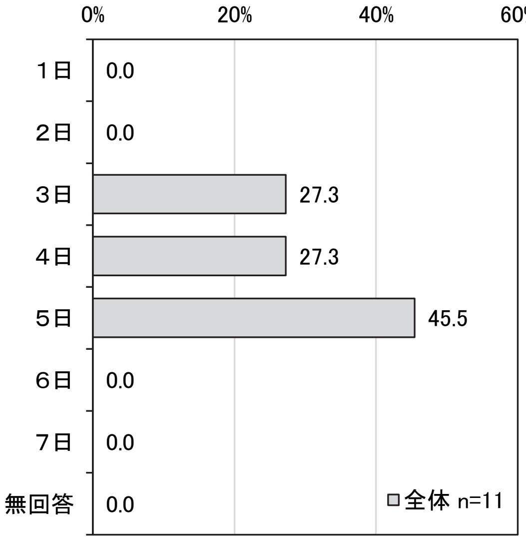
【一番下の子どもが〔　〕歳になったころに就労したい】

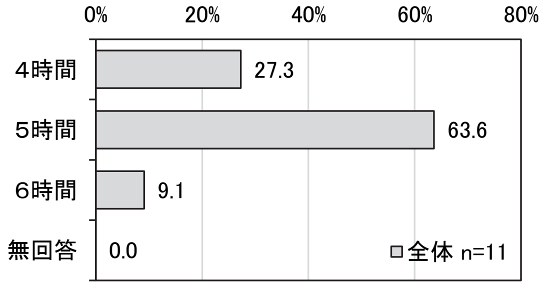


【希望する就労形態】



【１週あたりの就労日数（パート・アルバイト等）】【１日あたりの就労時間（パート・アルバイト等）】

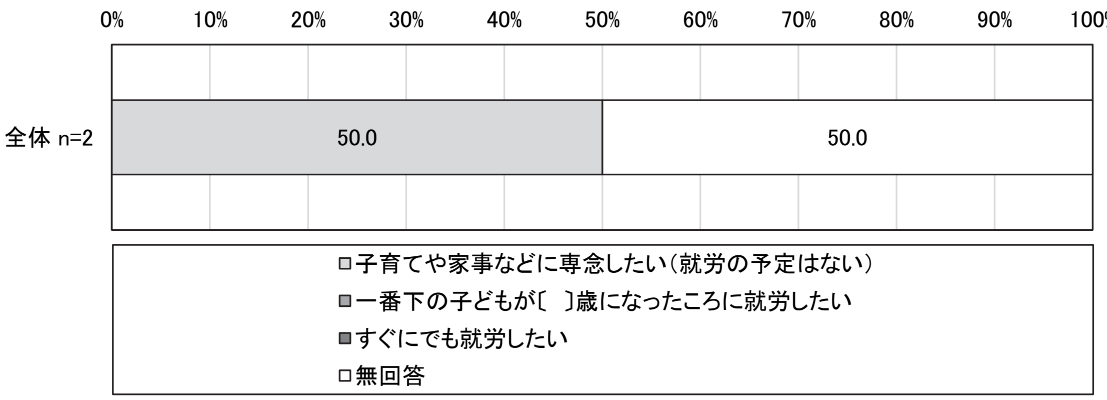




問 12（２）で、「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問 14　就労したい希望はありますか。あてはまる番号に１つ、○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。（数字は１枠に１字）
（２）父親

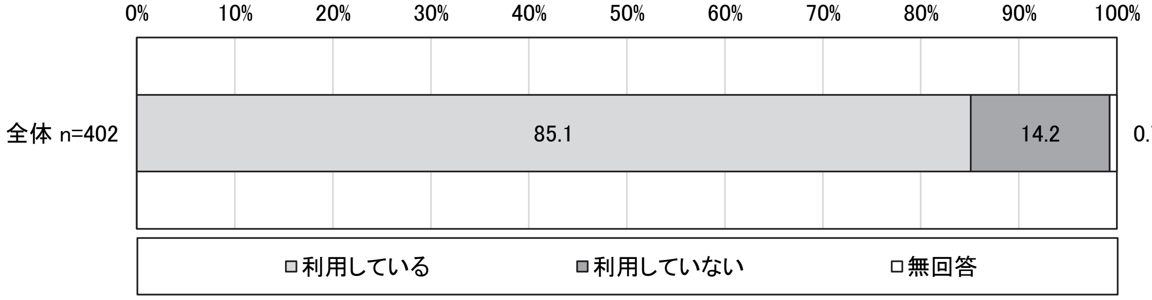
父親の就労希望については、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 50.0%で最も高くなっています。



５．平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 15　あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

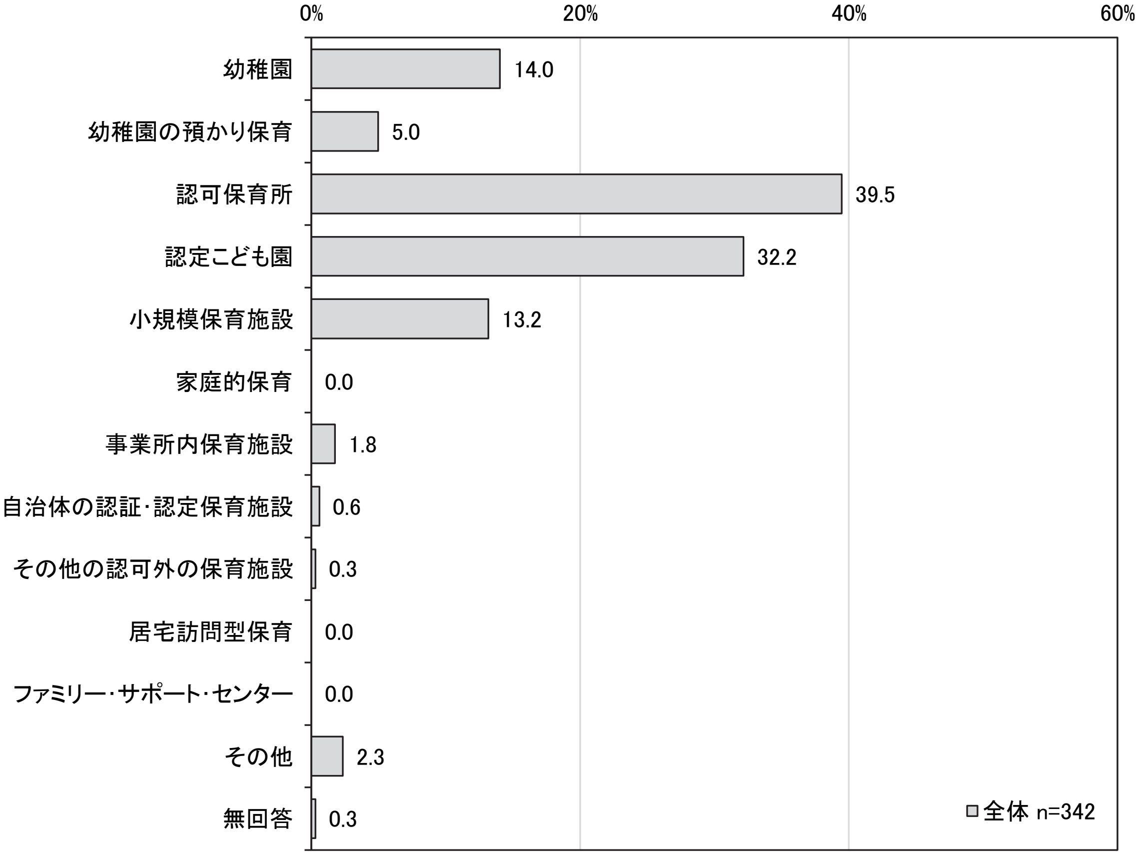
現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用しているかについては、「利用している」が 85.1％、「利用していない」が 14.2％となっています。



問 15 で「１．利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-1　あて名のお子さんは、“平日”どのような「教育・保育の事業」を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用しているものを選び順にその番号を記入してください。（３つまで）

平日どのような「教育・保育の事業」を利用しているかについては、「認可保育所」が 39.5％で最も高く、次いで「認定こども園」が 32.2％、「幼稚園」が 14.0％となっています。



問 15 で「1．利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-2　平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。１週あたり何日、１日あたり何時間か（何時から何時まで）を、具体的に記入してください。
（１）現在（２）希望

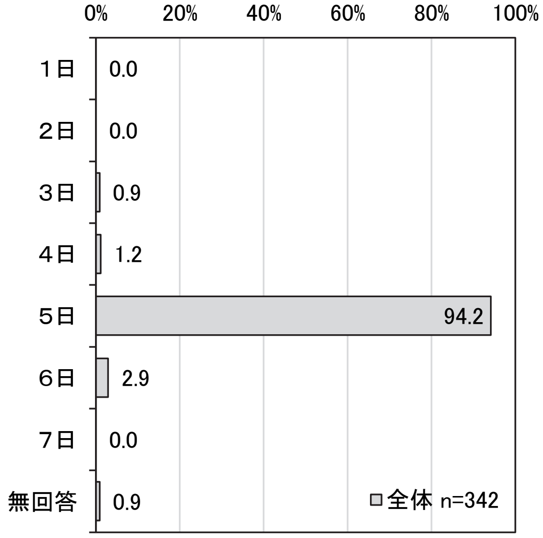
１週あたりの利用日数については、現在は「５日」が 94.2％で最も高く、次いで「６日」が 2.9％、「４日」が 1.2％となっています。希望は「５日」が 81.0％で最も高く、次いで「６日」が 6.1％、「４日」が 0.6％となっています。

１日あたりの利用時間については、現在は「９時間」が 22.2％で最も高く、次いで「８時間」が 18.7％、「10 時間」が 17.3％となっています。希望は「10 時間」が 19.6％で最も高く、次いで「９時間」が 18.7％、「８時間」が 14.3％となっています。

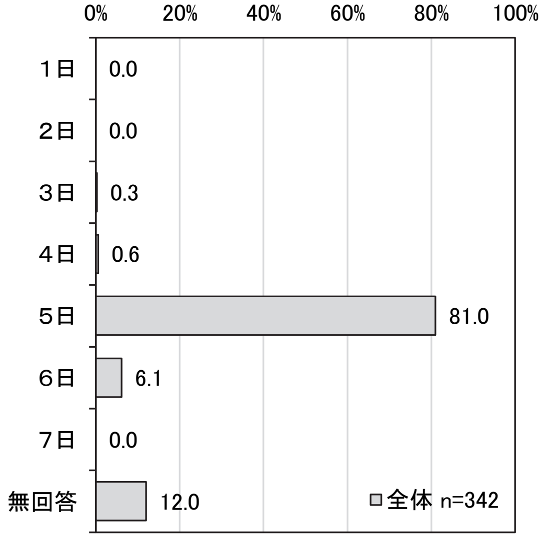
利用開始時刻については、現在は「８時」が 45.6％で最も高く、次いで「９時」が 38.3％、「７時」が 12.0％となっています。希望は「８時」が 39.8％で最も高く、次いで「９時」が 31.0％、「７時」が 14.0％となっています。

利用終了時刻については、現在は「17 時」が 29.2％で最も高く、次いで「16 時」が 27.5％、「18 時」が 23.1％となっています。希望は「17 時」が 25.4％で最も高く、次いで「18 時」が 24.0％、「16 時」が 19.3％となっています。

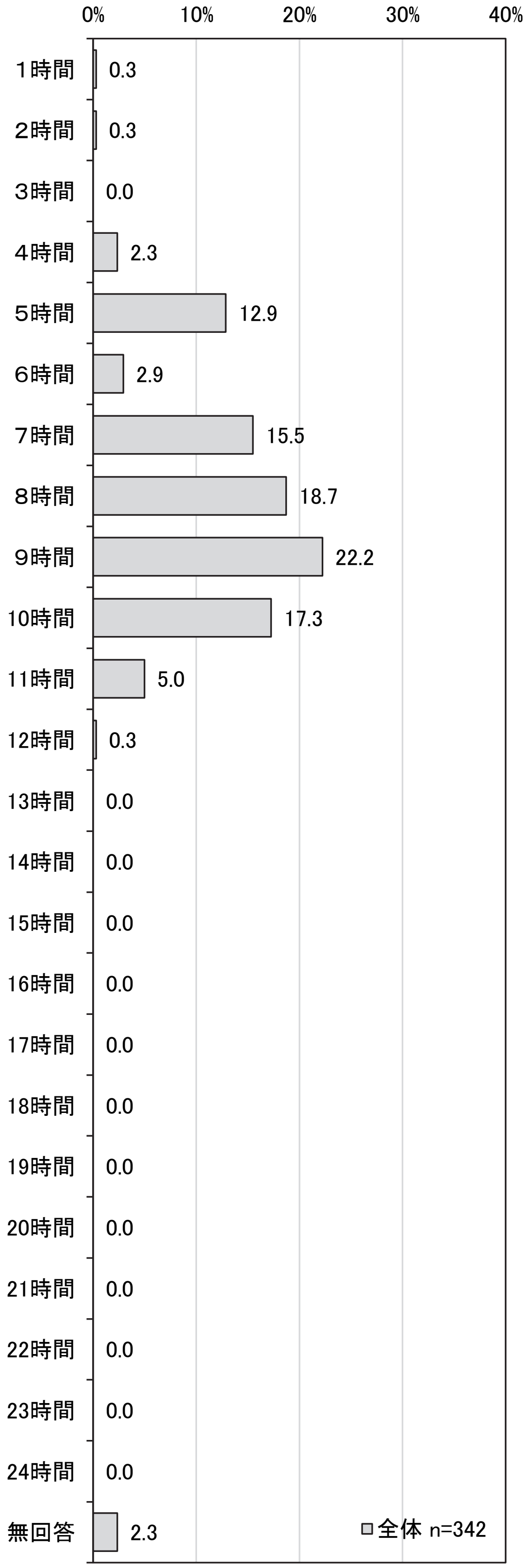
（１）現在の１週あたりの利用日数



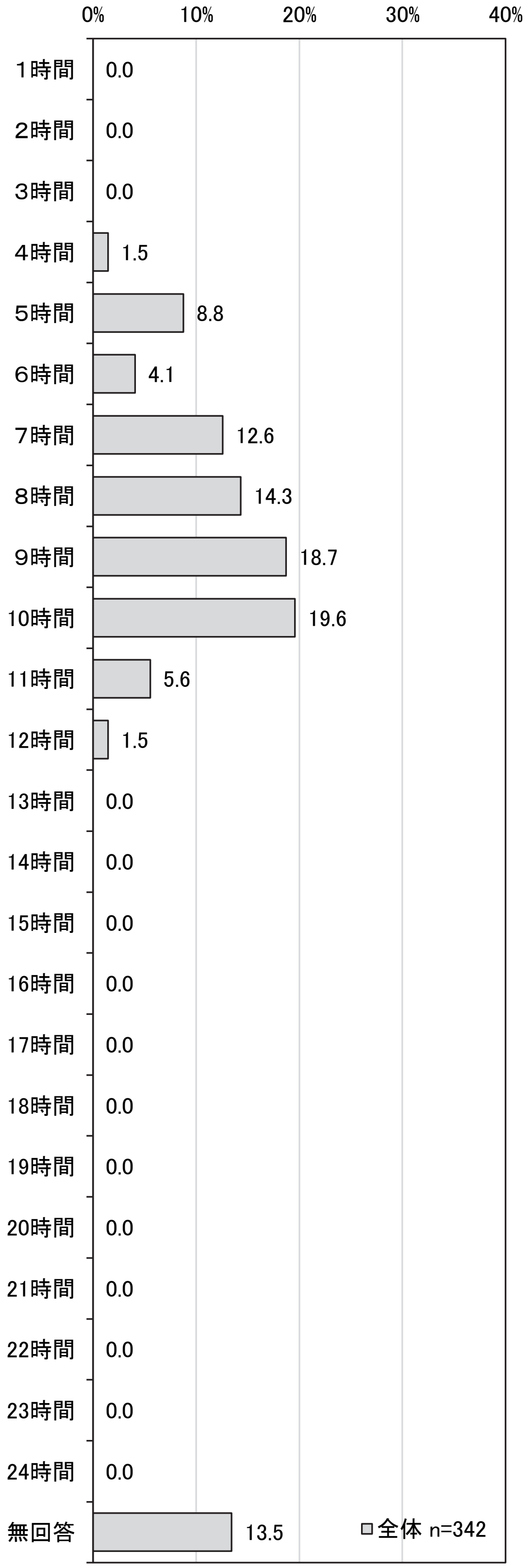
（２）希望の１週あたりの利用日数



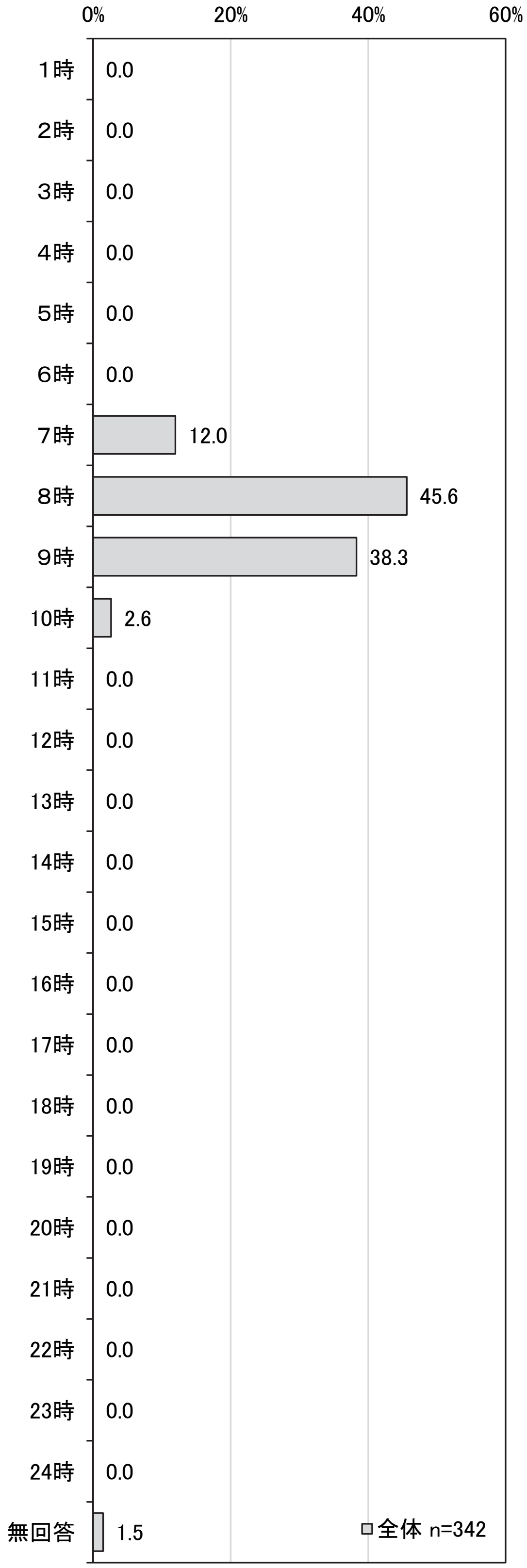
（１）現在の１日あたりの利用時間



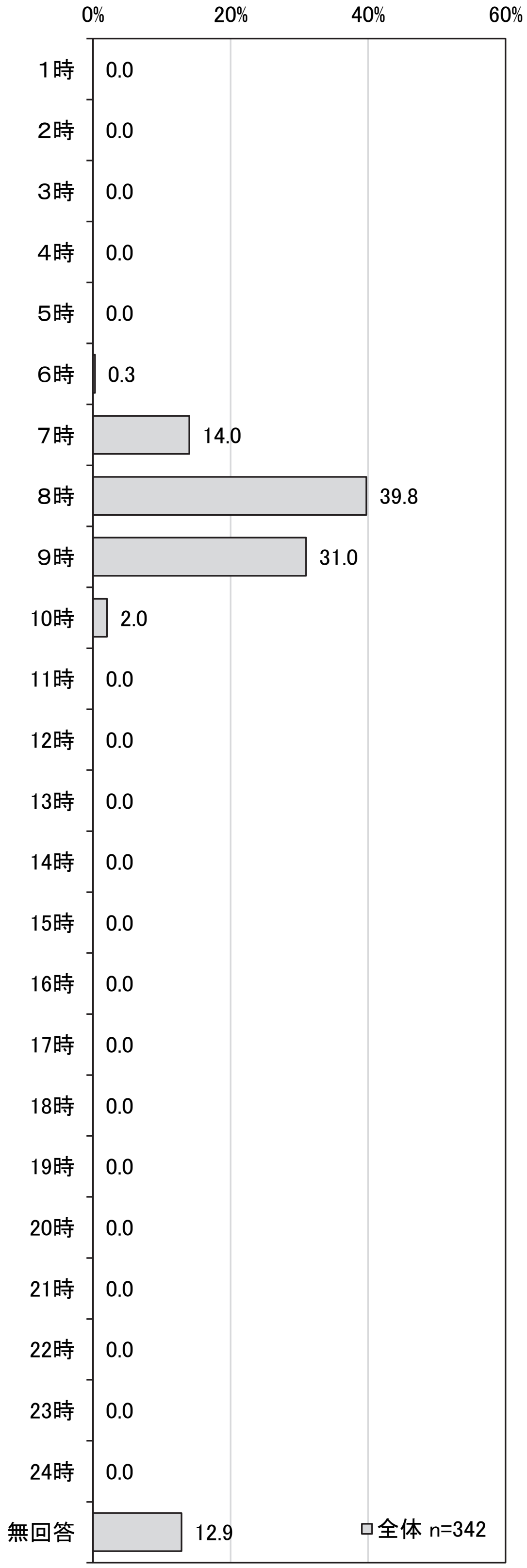
（２）希望の１日あたりの利用時間



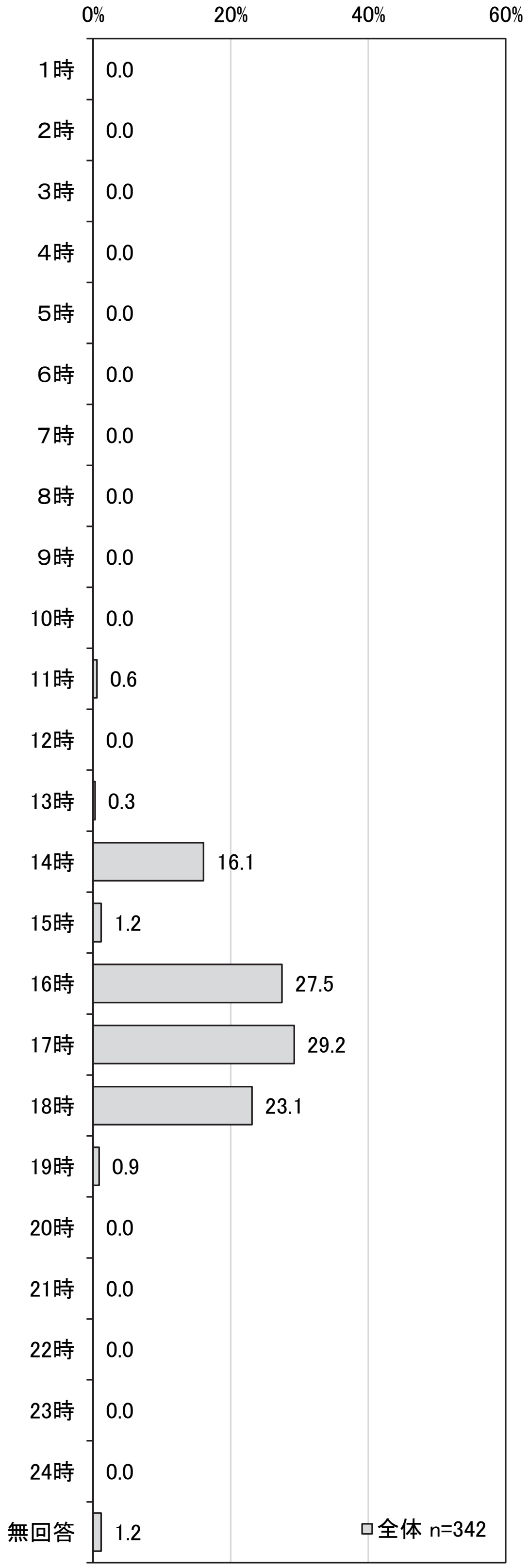
（１）現在の利用開始時刻



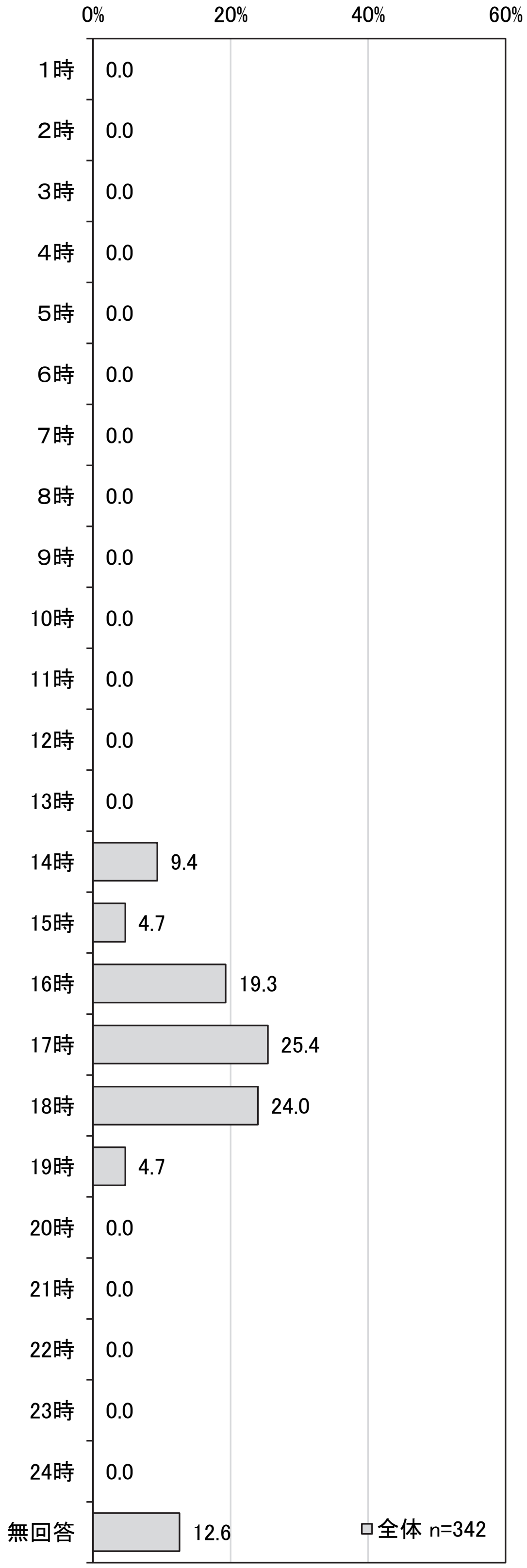
（２）希望の利用開始時刻



（１）現在の利用終了時刻



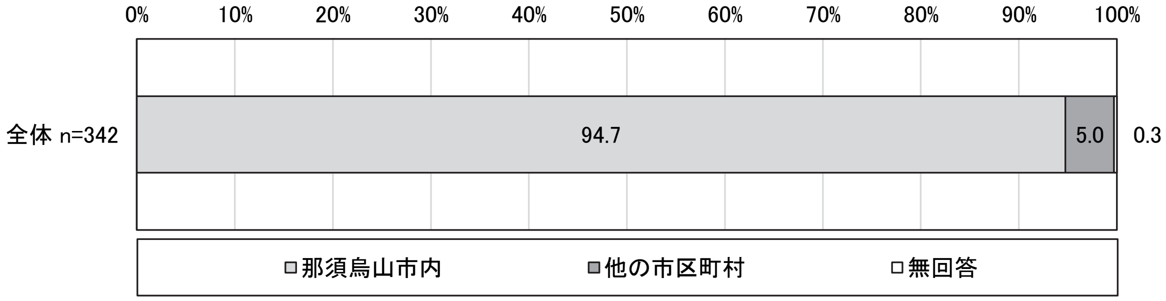
（２）希望の利用終了時刻



問 15 で「1．利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-3　現在利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1」または「2」のどちらかに、○をつけてください。

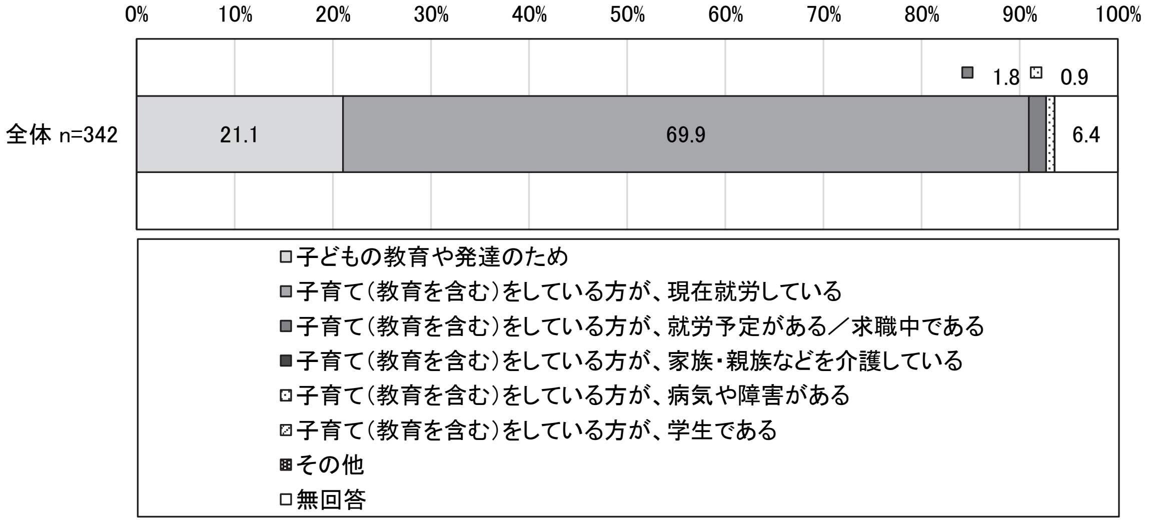
現在利用している教育・保育事業の実施場所については、「那須烏山市内」が 94.7%、「他の市区町村」が 5.0%となっています。



問 15 で「1．利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-4　平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由について、あてはまる番号1つに、○をつけてください。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由については、「子育て（教育を含む）をしている方が、現在就労している」が 69.9%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 21.1%、「子育て（教育を含む）をしている方が、就労予定がある／求職中である」が 1.8%となっています。

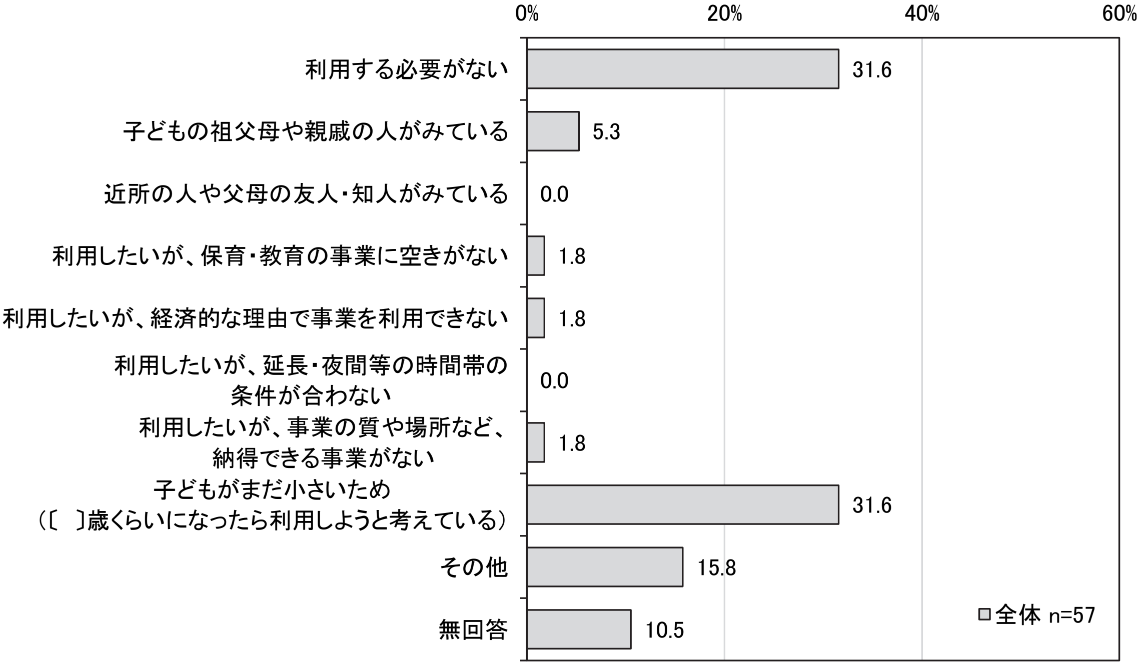


問 15 で、「2．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

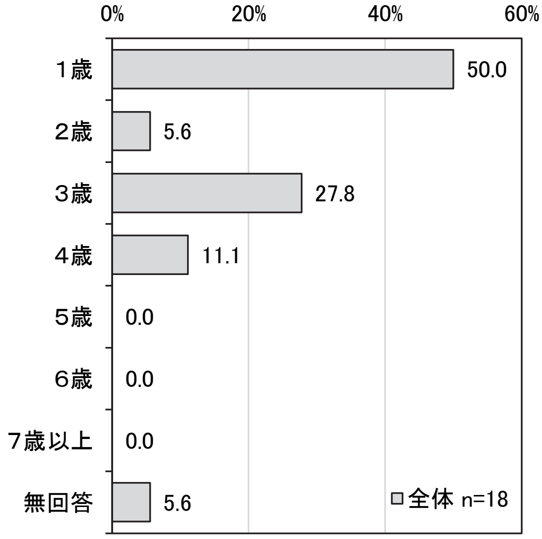
問 15-5　利用していない理由として、もっともあてはまる番号１つに、○をつけてください。

利用していない理由については、「利用する必要がない」「子どもがまだ小さいため（〔　〕歳くらいになったら利用しようと考えている)」がともに 31.6％で最も高く、次いで「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が 5.3%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」「利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない」がいずれも 1.8%となっています。

子どもがまだ小さいためと回答した方で何歳くらいになったら利用しようと考えているかについては、「１歳」が 50.0％で最も高く、次いで「３歳」が 27.8%、「４歳」が 11.1%となっています。

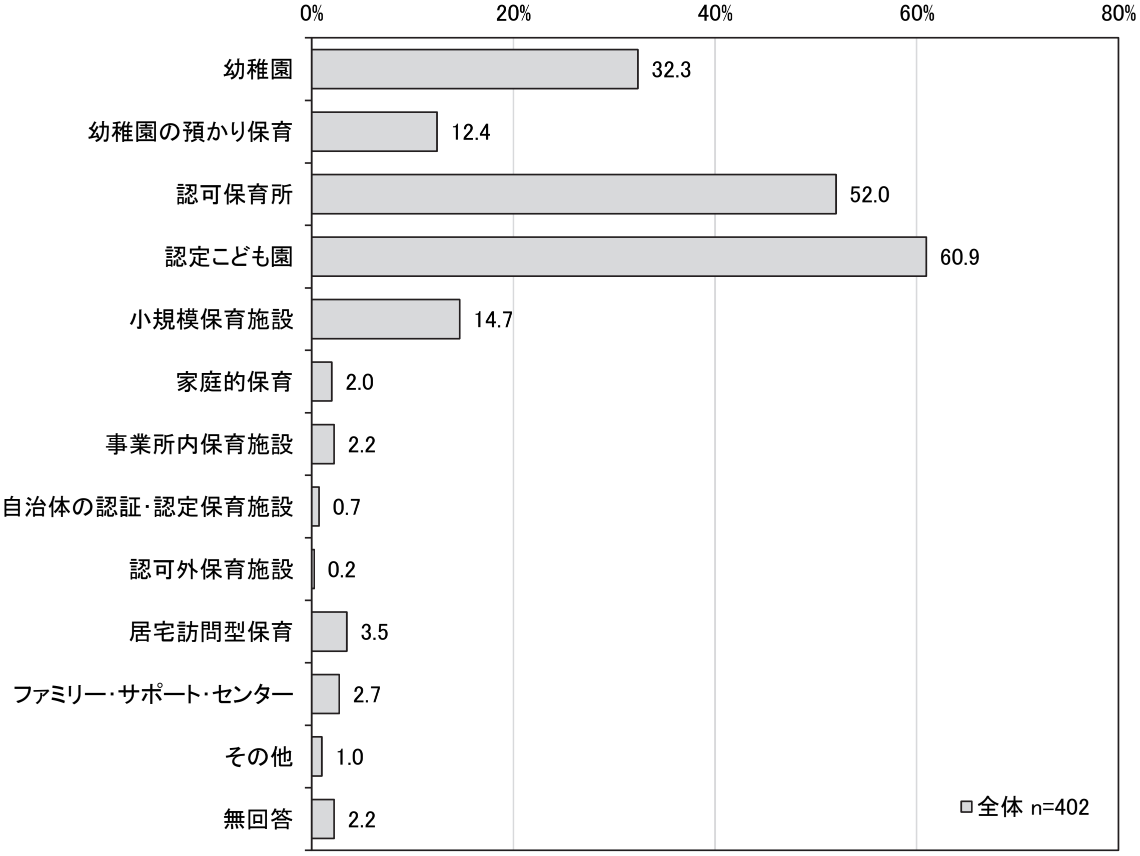


【子どもがまだ小さいため（〔　〕歳くらいになったら利用しようと考えている)】



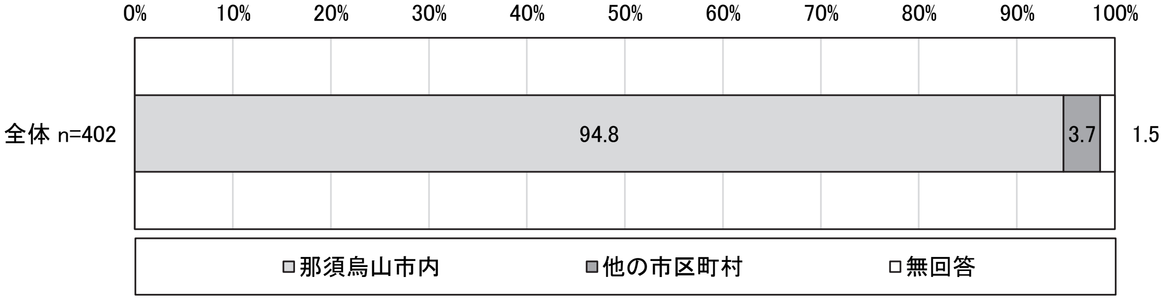
問 16　現在「利用している」「利用していない」にかかわらず、あて名のお子さんの“平日”の「教育・保育の事業」として、定期的に利用したいと考える事業をお答えください。

現在「利用している」「利用していない」にかかわらず、お子さんの平日の「教育・保育の事業」として、定期的に利用したいと考える事業については、「認定こども園」が 60.9％で最も高く、次いで「認可保育所」が 52.0％、「幼稚園」が 32.3％となっています。



問 16-1　教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1」または「2」に、○をつけてください。

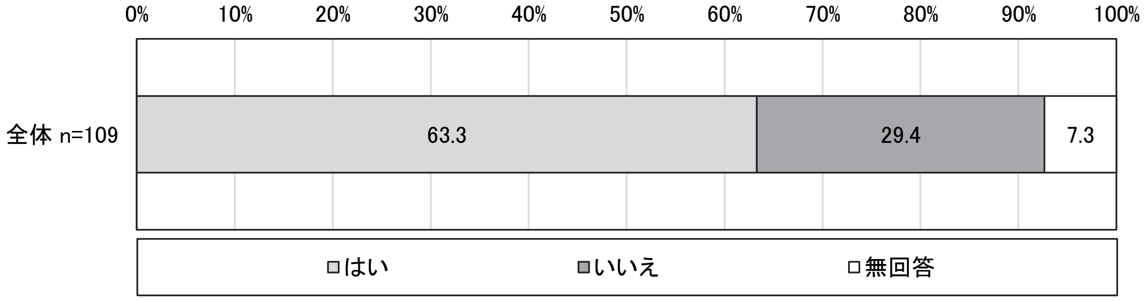
教育・保育事業を利用したい場所については、「那須烏山市内」が 94.8％、「他の市区町村」が 3.7％となっています。



問16で、「1．幼稚園」または「2．幼稚園の預かり保育」を選び、合わせて、「3」～「12」も選んだ方にうかがいます。

問16-2　幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号に1つ、○をつけてください。

幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望するかについては、「はい」が63.3%、「いいえ」が29.4%となっています。

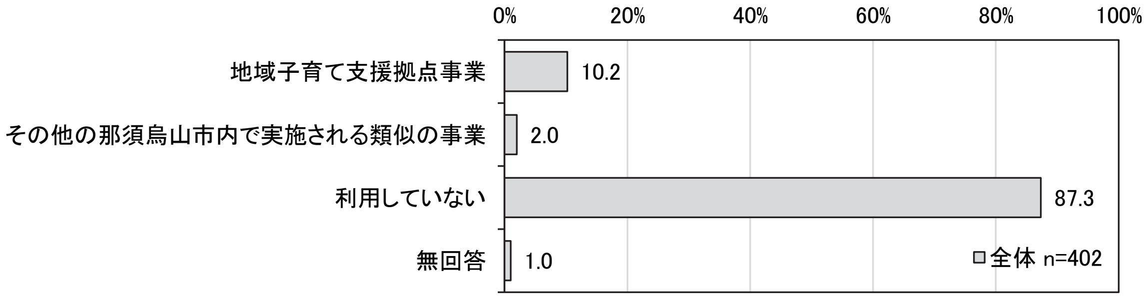


６．地域の子育て支援事業の利用状況について

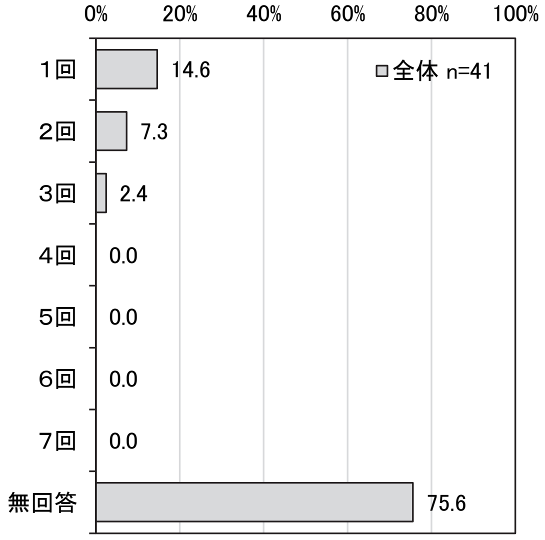
問 17　あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、那須烏山市ではこども館や子育て支援センターきらきらが該当）を利用していますか。次の中から、利用されているものの番号すべてに、○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を、□内に数字でご記入ください。（数字は１枠に１字）

現在、地域子育て支援拠点事業で利用している事業については、「地域子育て支援拠点事業」が 10.2%、「その他の那須烏山市内で実施されている類似の事業」が 2.0%となっています。また、「利用していない」が 87.3%となっています。１週あたりの利用回数については、地域子育て支援拠点事業では「１回」が 14.6%で最も高く、次いで「２回」が 7.3%、「３回」が 2.4%となっています。類似の事業では「２回」が 25.0%で最も高くなっています。

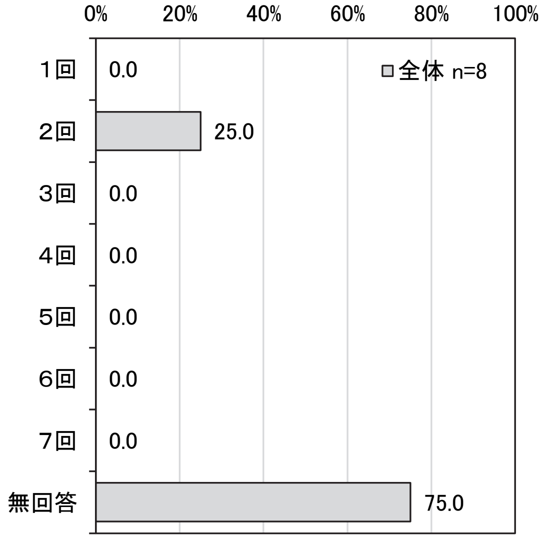
１か月あたりの利用回数については、地域子育て支援拠点事業では「１回」が 46.3%で最も高く、次いで「２回」が 9.8%、「８回」が 7.3%となっています。類似の事業では「１回」が 37.5%で最も高く、次いで「２回」「８回」がともに 12.5%となっています。



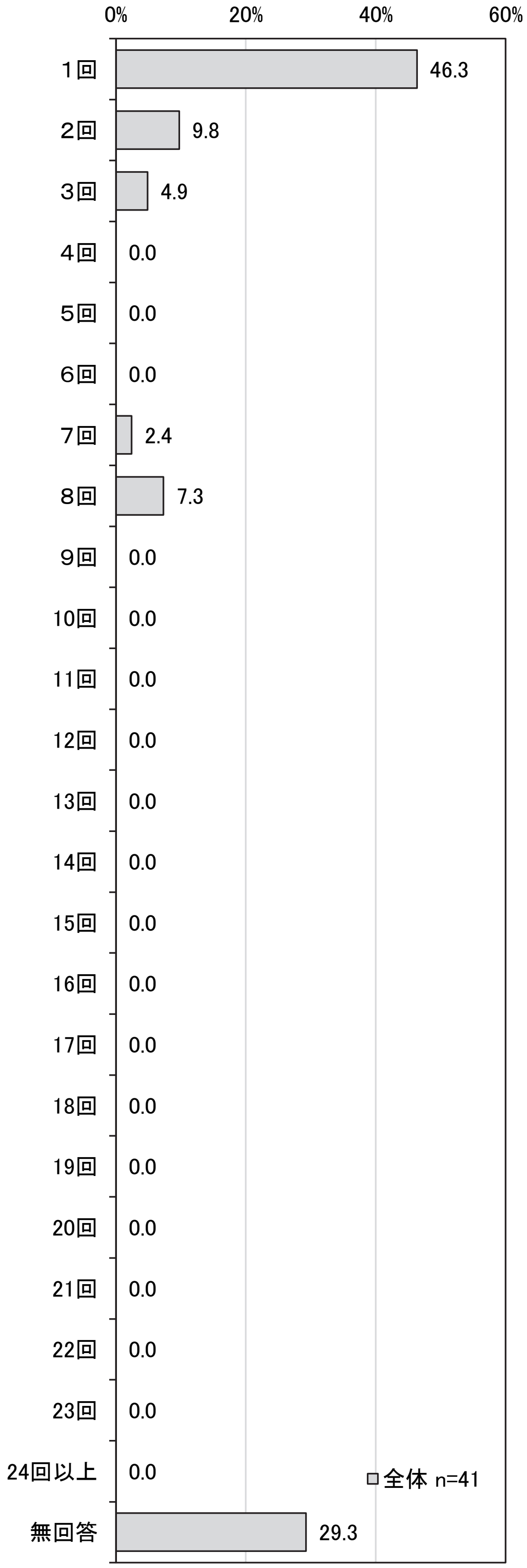
【地域子育て支援拠点事業の１週あたりの利用回数】

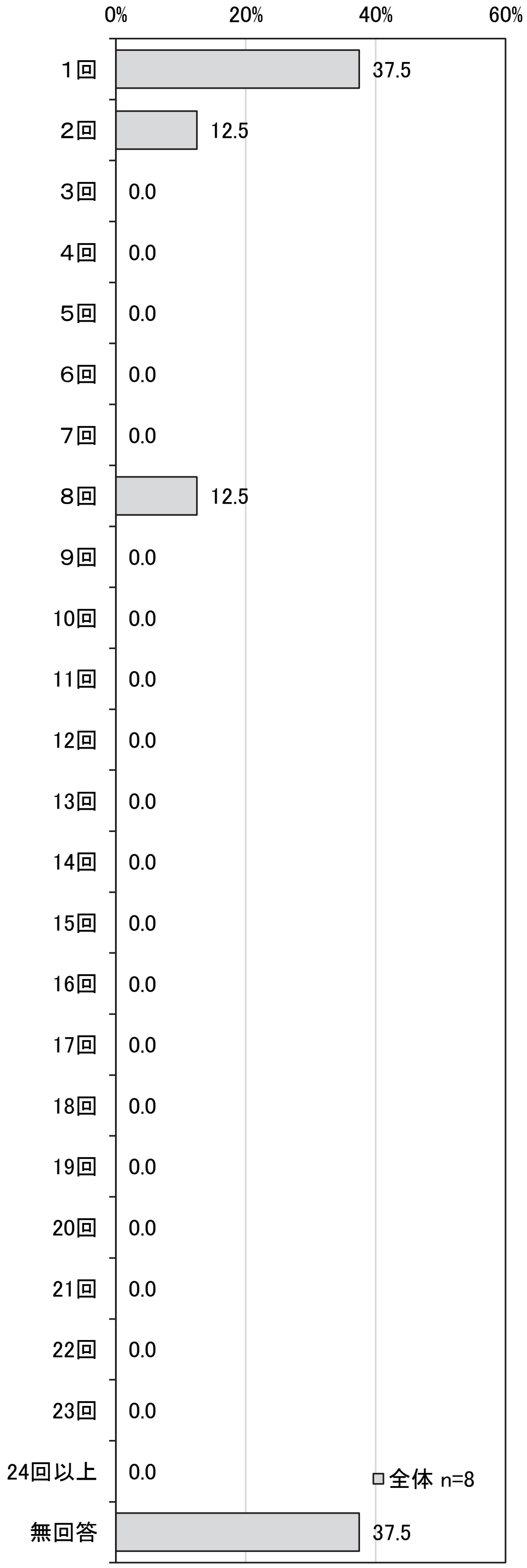


【類似の事業の１週あたりの利用回数】



【地域子育て支援拠点事業の１か月あたりの利用回数】【類似の事業の１か月あたりの利用回数】



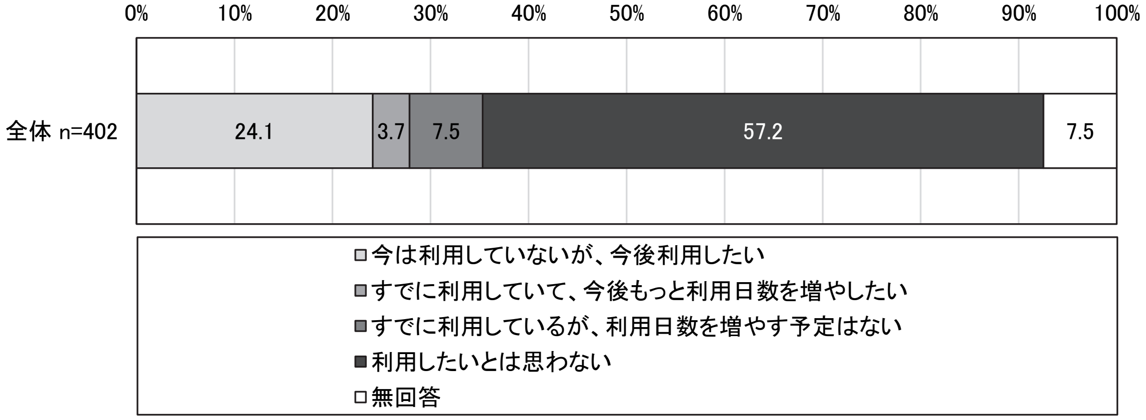


問 18　問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、「今は利用していないが、できれば今後利用したい」、あるいは、「利用日数を増やしたい」と思いますか。あてはまる番号に１つ、○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を、□内に数字でご記入ください。（数字は１枠に１字）

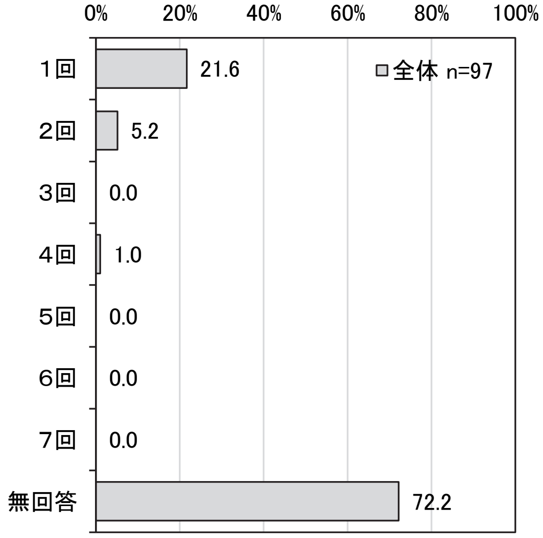
地域子育て支援拠点事業について、「今は利用していないが、できれば今後利用したい」、あるいは、「利用日数を増やしたい」と思うかについては、「利用したいとは思わない」が 57.2%で最も高く、次いで「今は利用していないが、今後利用したい」が 24.1%、「すでに利用しているが、利用日数を増やす予定はない」が 7.5%となっています。

１週あたりの利用回数については、新規利用の希望では「１回」が 21.6%で最も高く、次いで「２回」が 5.2%、「４回」が 1.0%となっています。利用頻度増加の希望では「１回」が 20.0%で最も高くなっています。

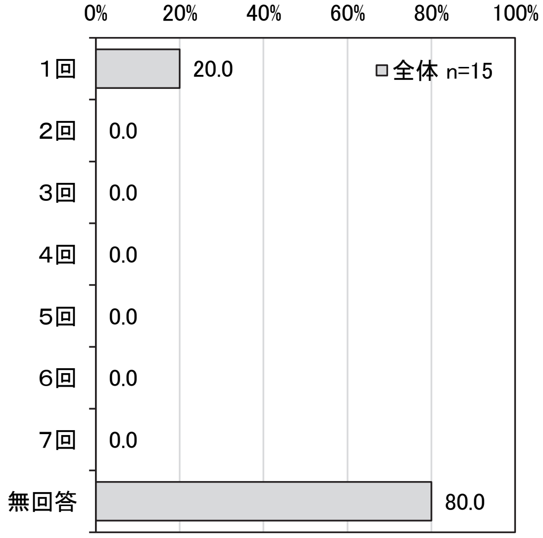
１か月あたりの利用回数については、新規利用の希望では「１回」が 36.1%で最も高く、次いで「２回」が 15.5%、「４回」が 3.1%となっています。利用頻度増加の希望では「２回」が 33.3%で最も高く、次いで「３回」が 13.3%、「１回」「４回」「12 回」がいずれも 6.7%となっています。



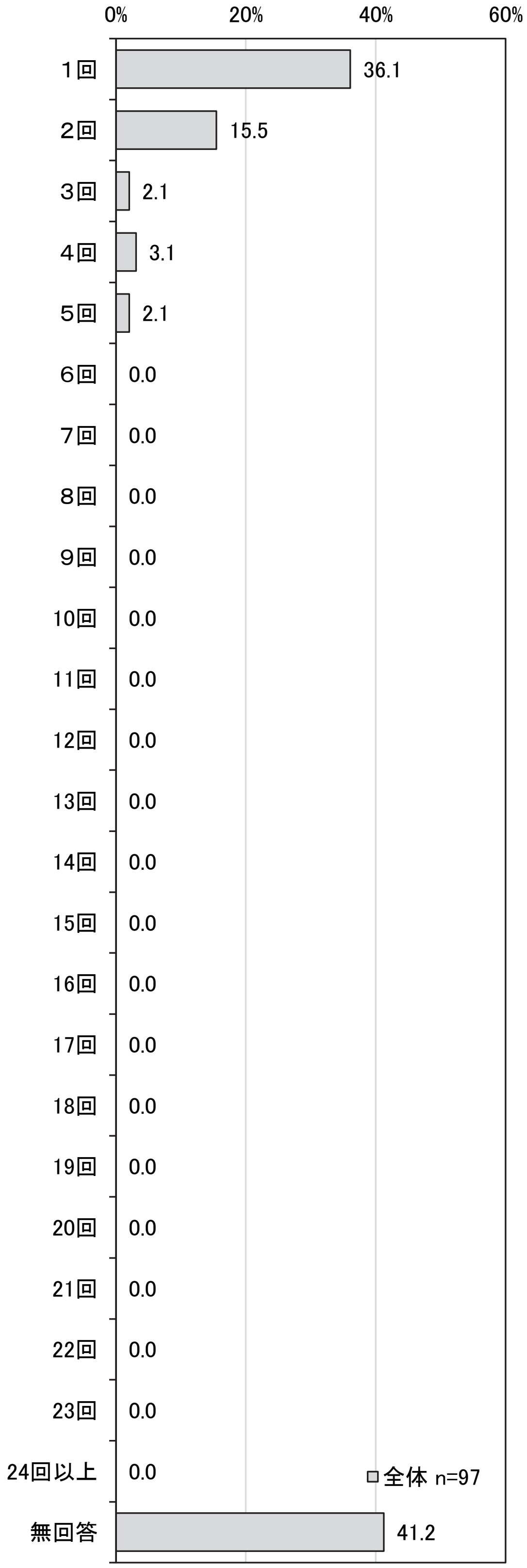
【新規利用の希望：１週あたりの利用回数】



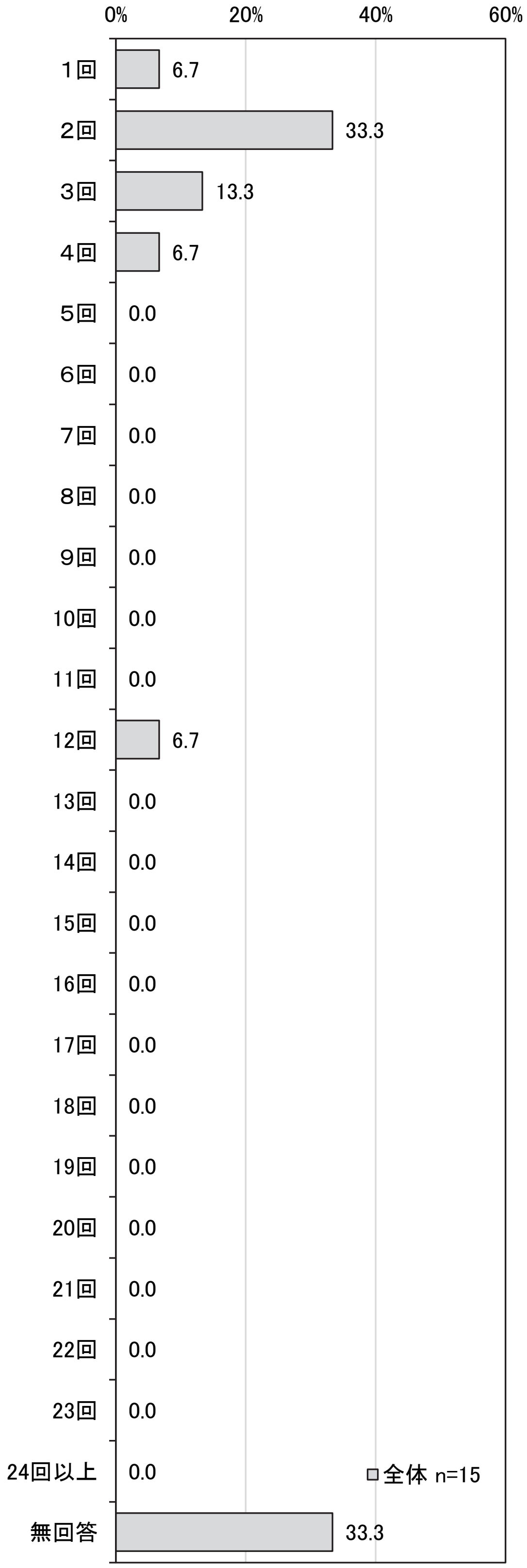
【利用頻度増加の希望：１週あたりの利用回数】



【新規利用の希望：１か月あたりの利用回数】

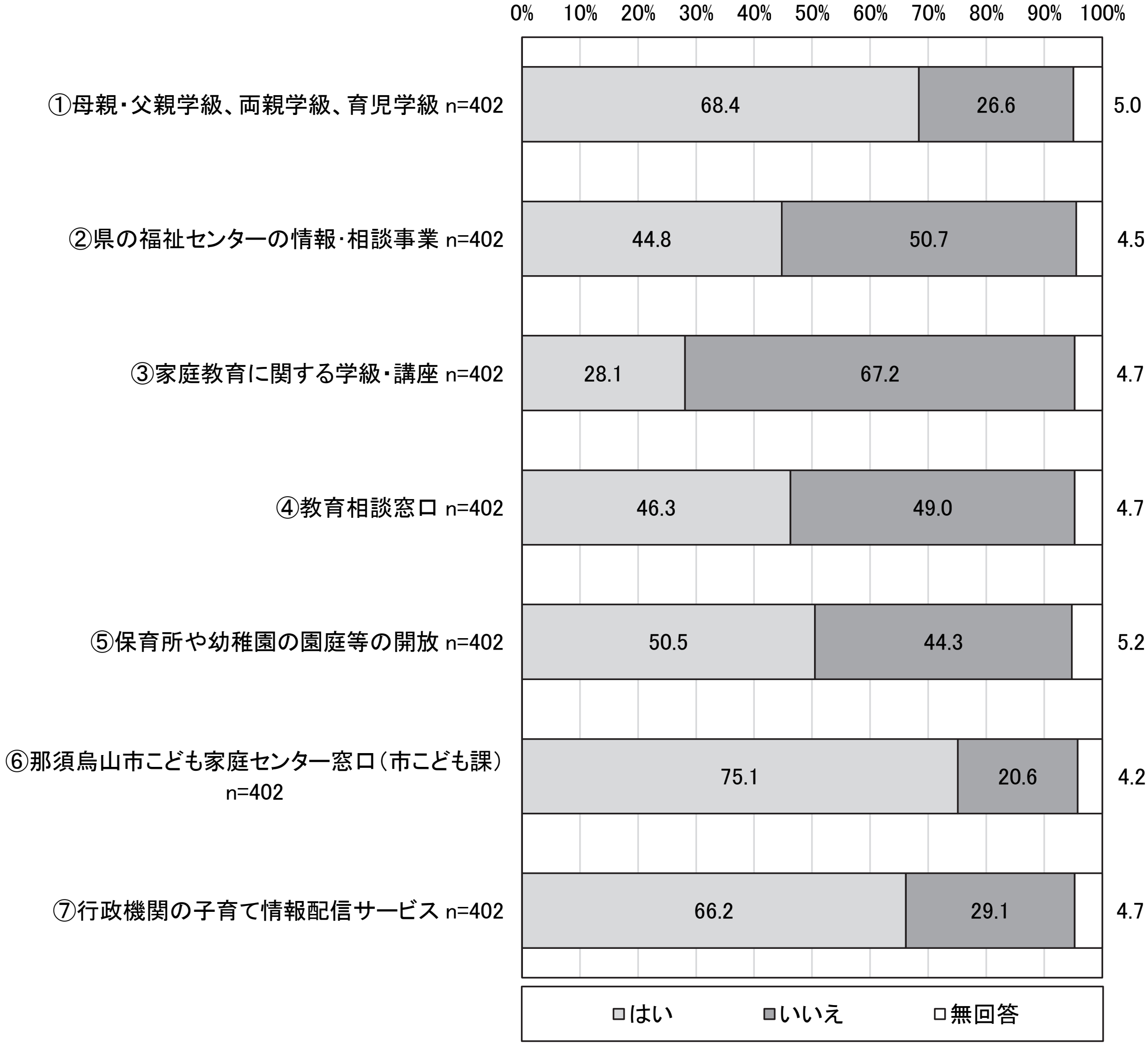


【利用頻度増加の希望：１か月あたりの利用回数】



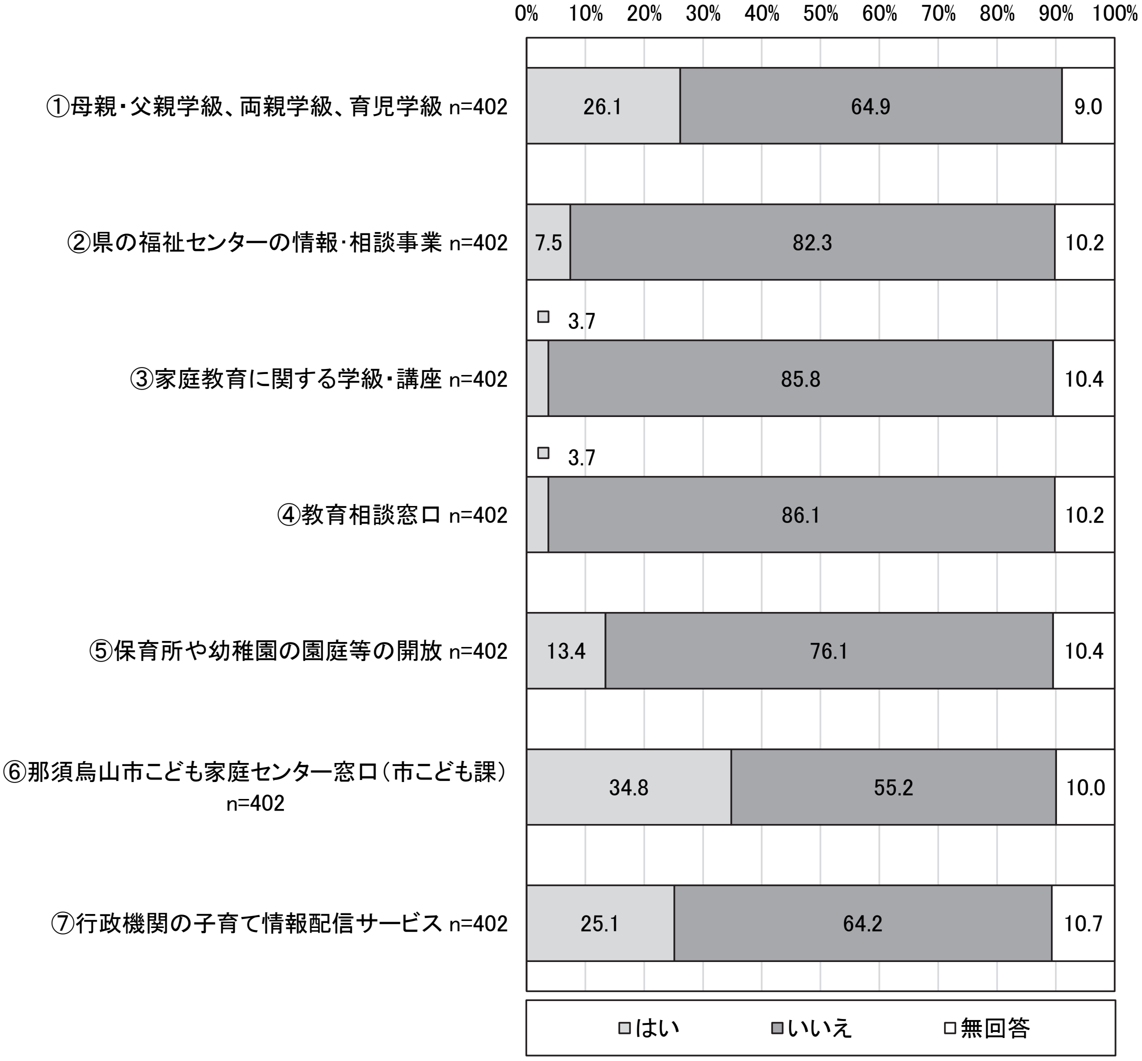
問19　下記の事業で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものについて、①～⑦の事業ごとA～Cの選択肢ごとに、「はい」・「いいえ」に、○をつけてください。（事業によっては、那須烏山市で実施していないものがあります。）
A　知っている

事業を知っているかについては、「はい」は「⑥那須烏山市こども家庭センター窓口（市こども課）」が75.1％で最も高く、次いで「①母親・父親学級、両親学級、育児学級」が68.4％、「⑦行政機関の子育て情報配信サービス」が66.2％となっています。



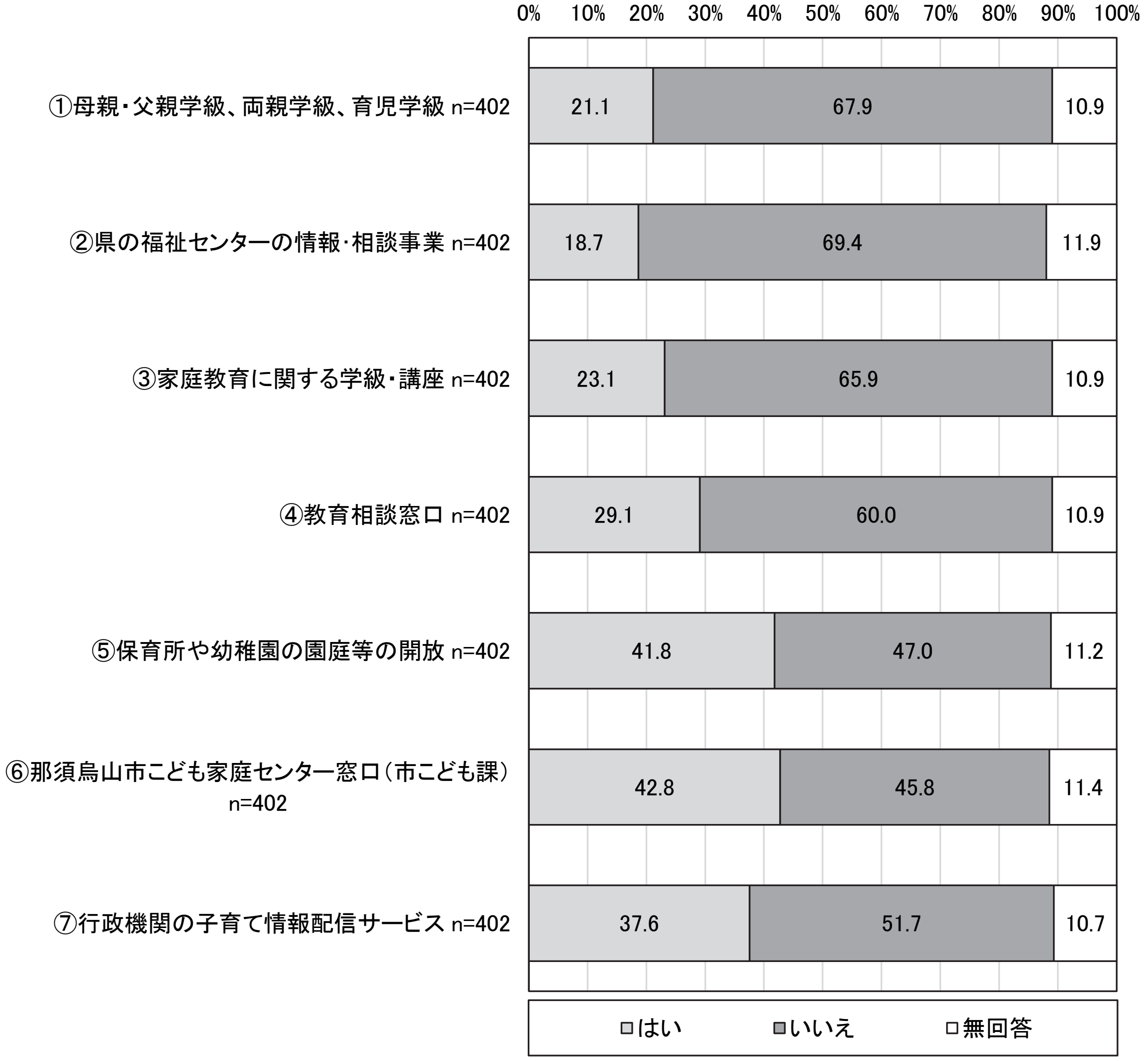
問 19　下記の事業で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものについて、①～⑦の事業ごとＡ～Ｃの選択肢ごとに、「はい」・「いいえ」に、○をつけてください。（事業によっては、那須烏山市で実施していないものがあります。）
Ｂ　これまでに利用したことがある

事業をこれまでに利用したことがあるかについては、「はい」は「⑥那須烏山市こども家庭センター窓口（市こども課）」が 34.8％で最も高く、次いで「①母親・父親学級、両親学級、育児学級」が 26.1％、「⑦行政機関の子育て情報配信サービス」が 25.1％となっています。



問 19　下記の事業で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものについて、①～⑦の事業ごとＡ～Ｃの選択肢ごとに、「はい」・「いいえ」に、○をつけてください。（事業によっては、那須烏山市で実施していないものがあります。）
Ｃ　今後利用したい

事業を今後利用したいかについては、「はい」は「⑥那須烏山市こども家庭センター窓口（市こども課）」が 42.8％で最も高く、次いで「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」が 41.8％、「⑦行政機関の子育て情報配信サービス」が 37.6％となっています。



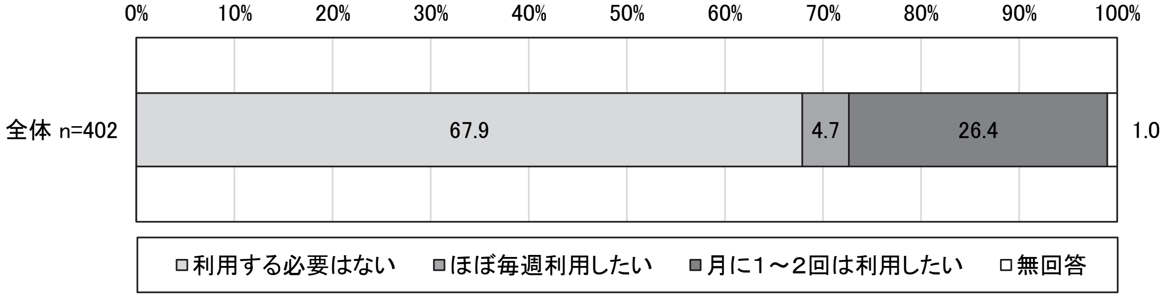
７．土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

問 20　あて名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望（一時的な利用は除く）はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。）
（1）土曜日

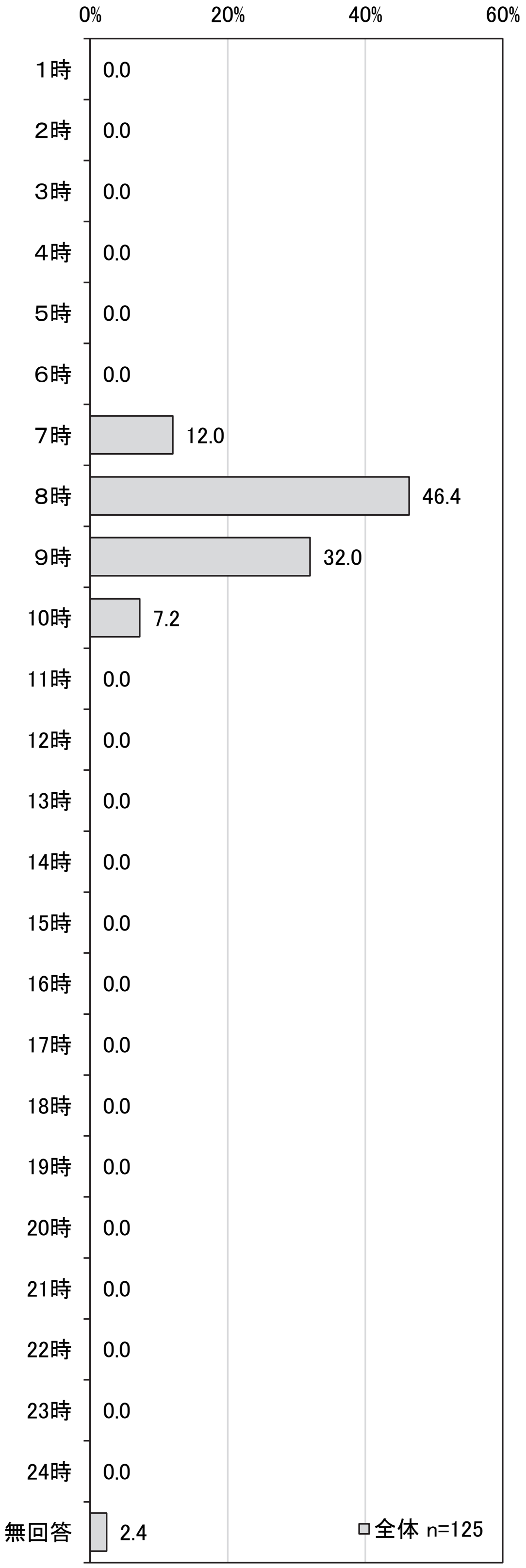
土曜日に定期的な教育・保育の事業の利用希望があるかについては、「利用する必要はない」が 67.9％で最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」が 26.4％、「ほぼ毎週利用したい」が 4.7％となっています。

土曜日の希望利用開始時刻については、「８時」が 46.4％で最も高く、次いで「９時」が 32.0％、「７時」が 12.0％となっています。

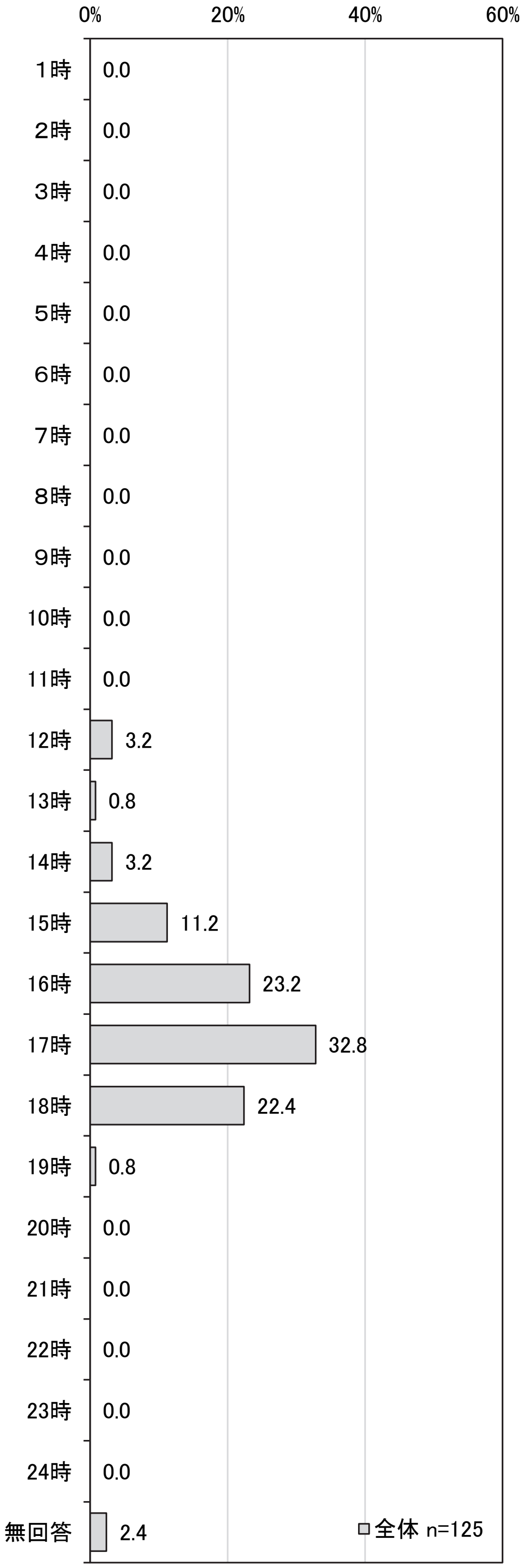
土曜日の希望利用終了時刻については、「17 時」が 32.8％で最も高く、次いで「16 時」が 23.2％、「18 時」が 22.4％となっています。



【土曜日の希望利用開始時刻】



【土曜日の希望利用終了時刻】

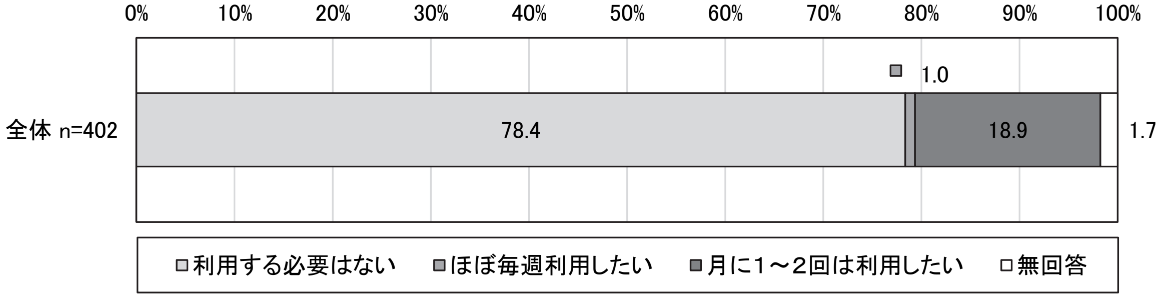


問 20　あて名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望（一時的な利用は除く）はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。）
（２）日曜・祝日

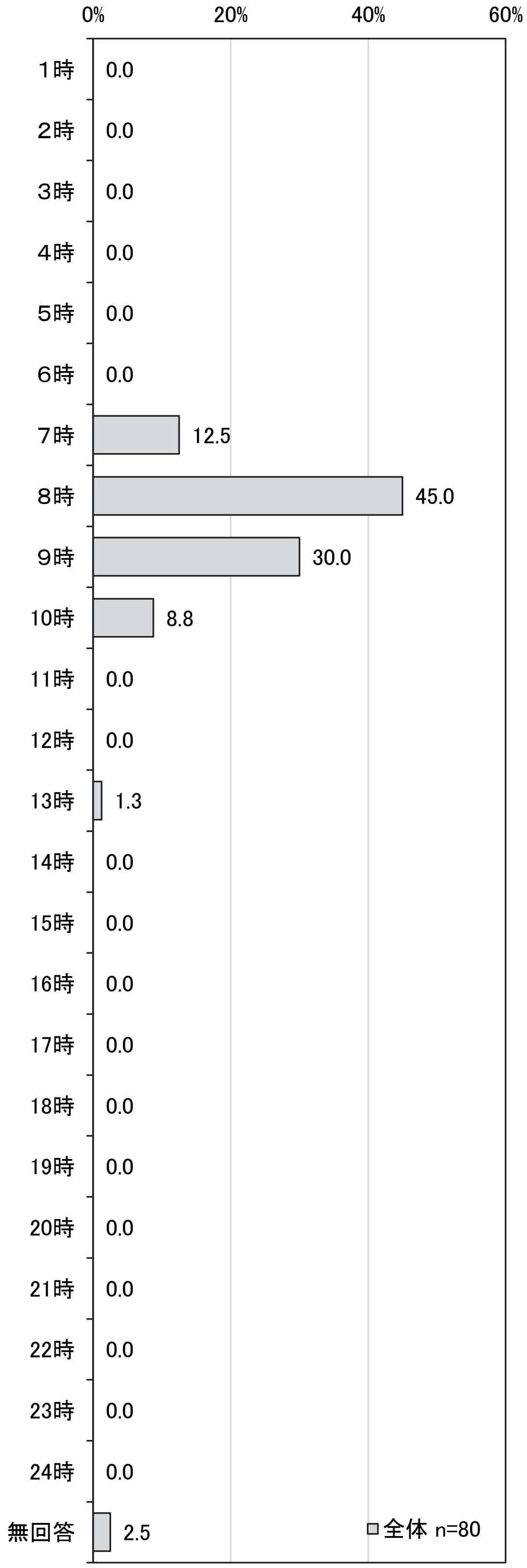
日曜・祝日に定期的な教育・保育の事業の利用希望があるかについては、「利用する必要はない」が 78.4％で最も高く、次いで「月に１～２回は利用したい」が 18.9％、「ほぼ毎週利用したい」が 1.0％となっています。

日曜・祝日の希望利用開始時刻については、「８時」が 45.0％で最も高く、次いで「９時」が 30.0％、「７時」が 12.5％となっています。

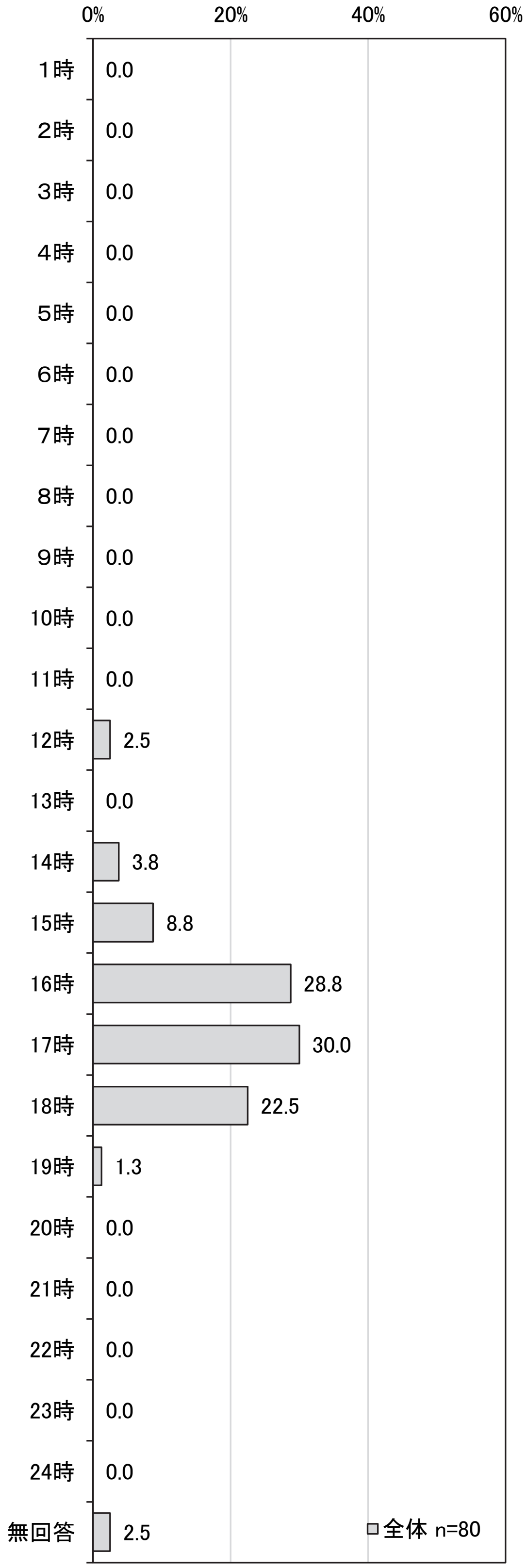
日曜・祝日の希望利用終了時刻については、「17 時」が 30.0％で最も高く、次いで「16 時」が 28.8％、「18 時」が 22.5％となっています。



【日曜・祝日の希望利用開始時刻】



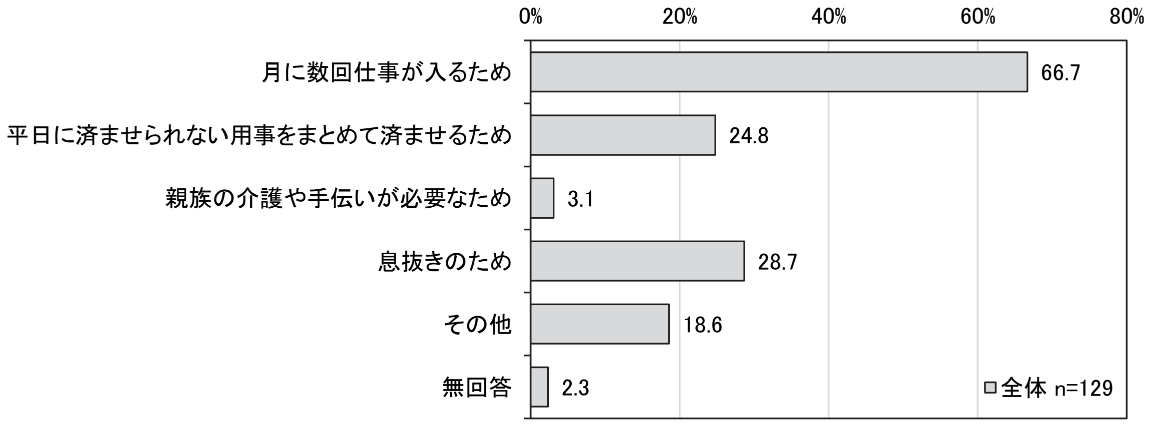
【日曜・祝日の希望利用終了時刻】



問 20（１）または（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1　毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。【複数選択可】

毎週ではなく、たまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が 66.7%で最も高く、次いで「息抜きのため」が 28.7%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 24.8%となっています。



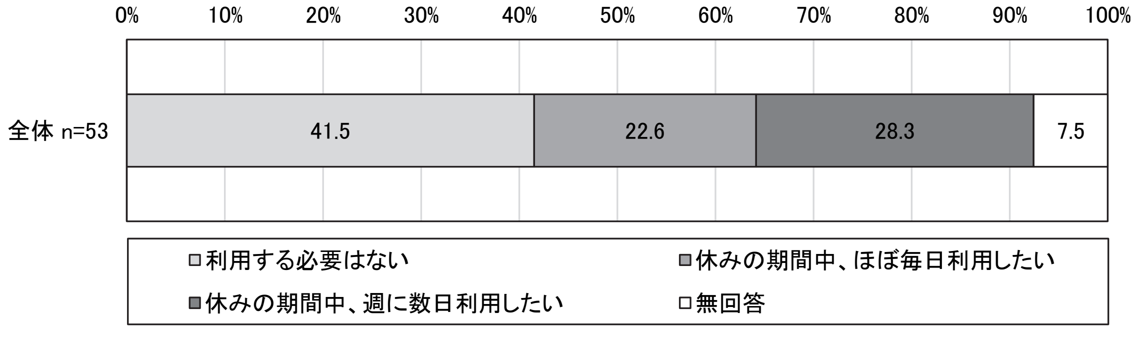
「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 21　あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。（これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。）

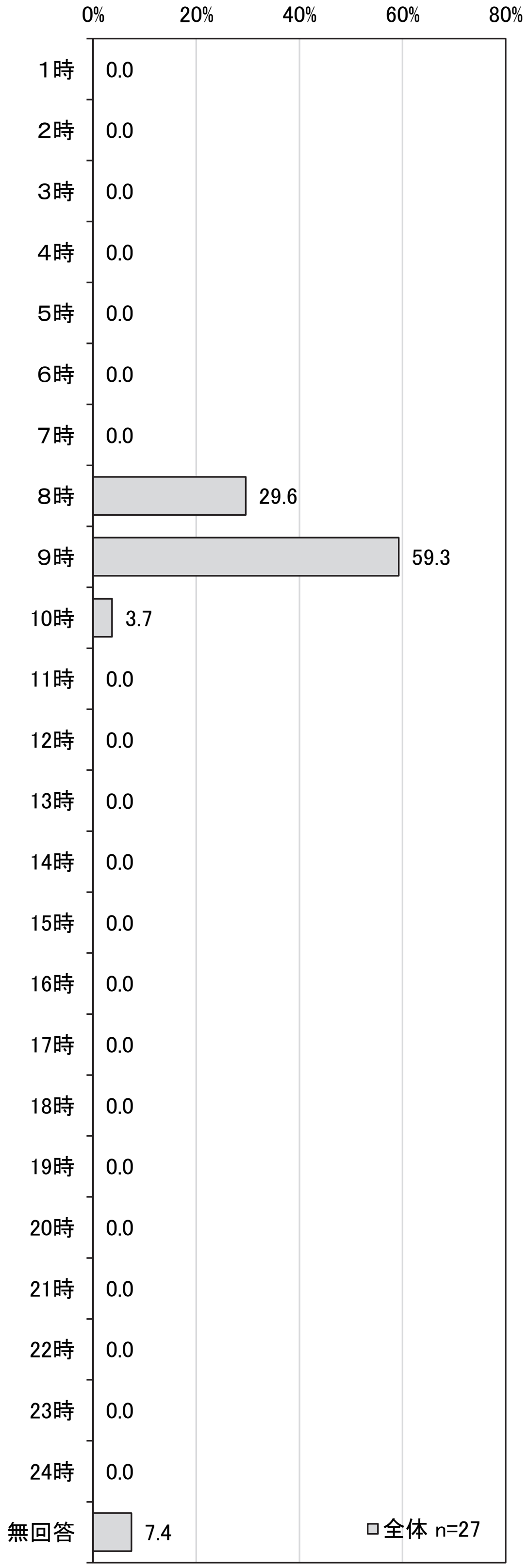
夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望があるかについては、「利用する必要はない」が 41.5%で最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が 28.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 22.6%となっています。

長期休暇期間中の希望利用開始時刻については、「９時」が 59.3%で最も高く、次いで「８時」が 29.6%、「10 時」が 3.7%となっています。

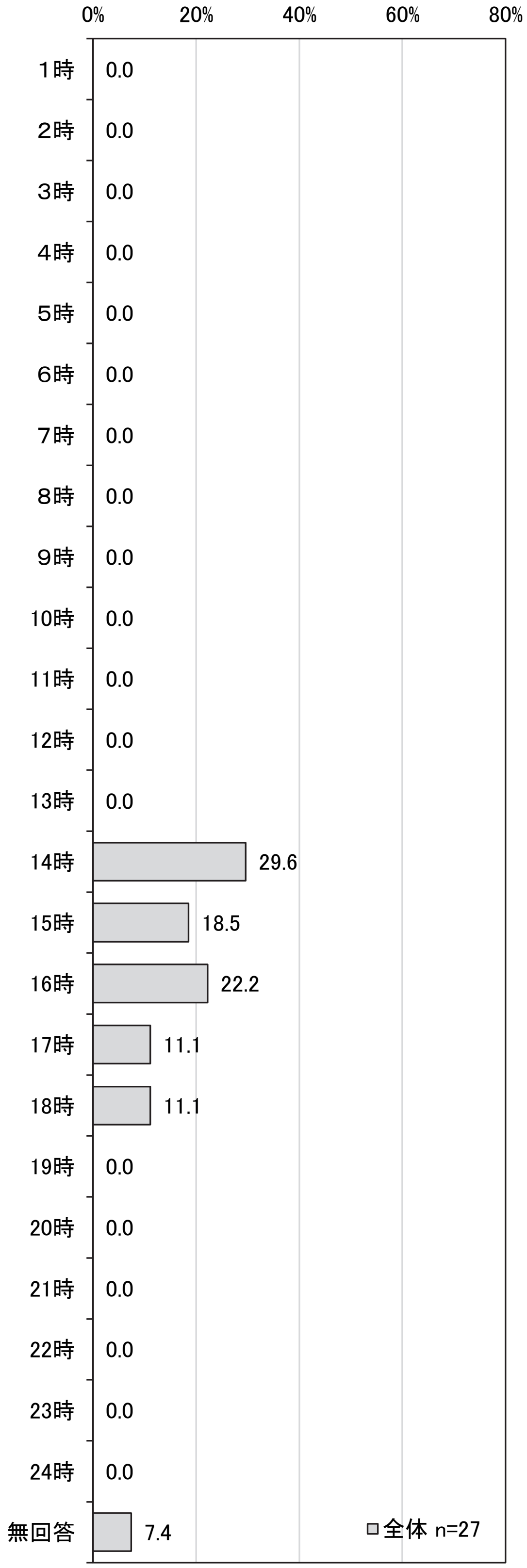
長期休暇期間中の希望利用終了時刻については、「14 時」が 29.6%で最も高く、次いで「16 時」が 22.2%、「15 時」が 18.5%となっています。



【長期休暇期間中の希望利用開始時刻】



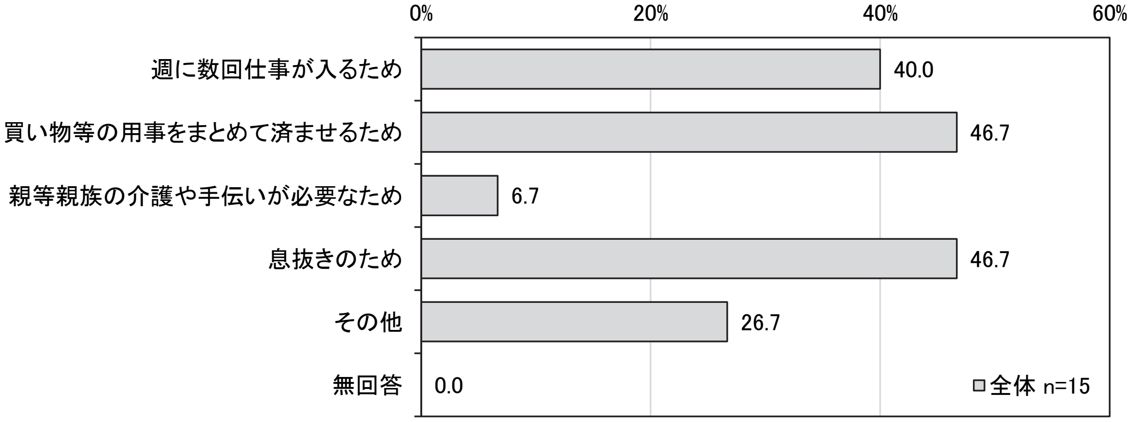
【長期休暇期間中の希望利用終了時刻】



問21で、「3．週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問21-1　週に数日利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

週に数日利用したい理由については、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」がともに46.7%で最も高く、次いで「週に数回仕事が入るため」が40.0%、「親等親族の介護や手伝いが必要なため」が6.7%となっています。

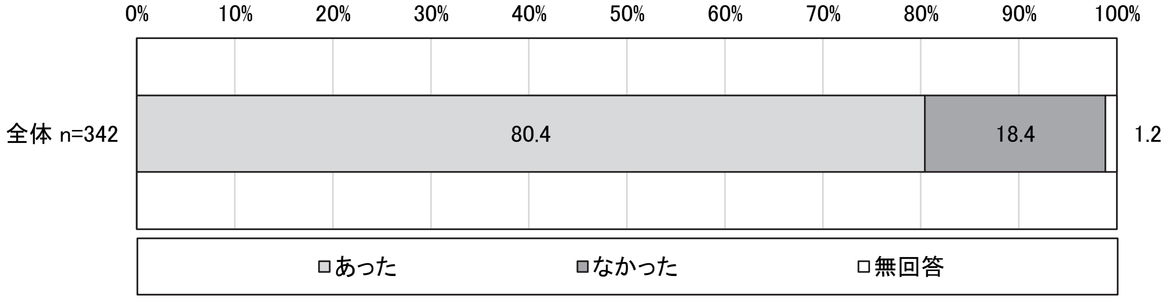


８．お子さんの病気の際の対応について

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で「１」に○をつけた方）にうかがいます。

問 22　この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで日常的に利用されている事業が利用できなかったことはありますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

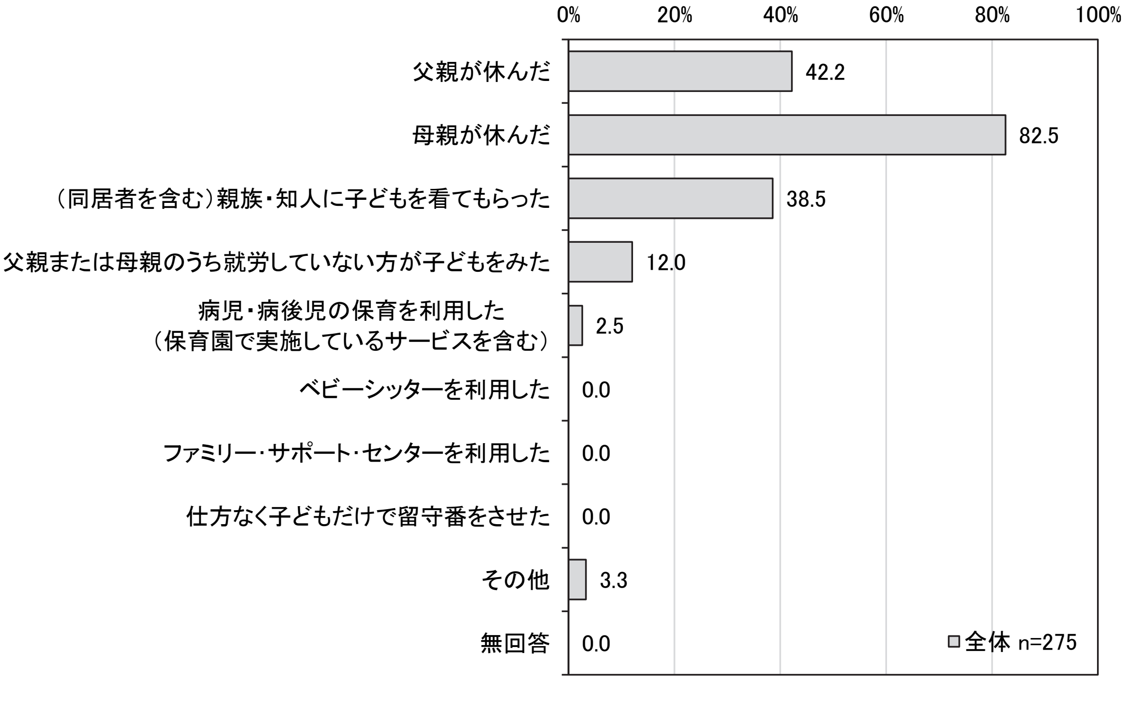
この 1 年間に、お子さんが病気やケガで日常的に利用されている事業が利用できなかったことがあったかについては、「あった」が 80.4%、「なかった」が 18.4%となっています。



問 22-1　あて名のお子さんが、病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったときに、この１年間で実際に行った対処方法として、あてはまる番号に○をつけ、その日数を□内に数字でご記入ください。【複数選択可】

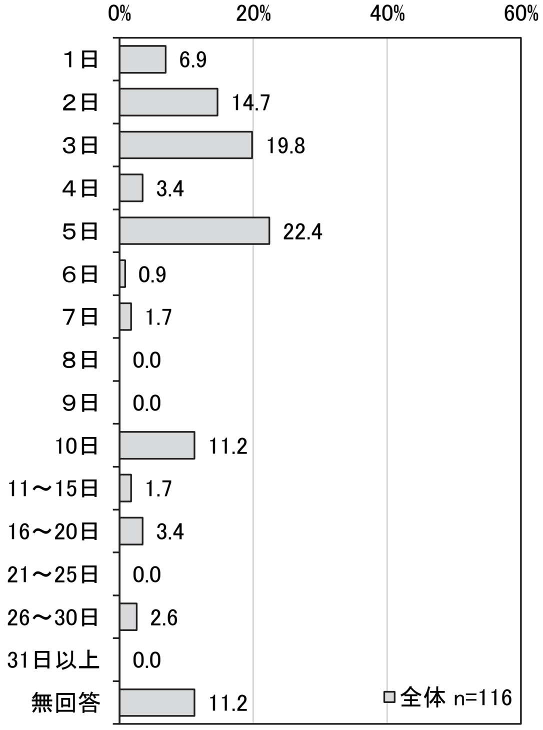
病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったときに、この１年間で実際に行った対処方法については、「母親が休んだ」が 82.5%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が 42.2%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」が 38.5%となっています。

１年間の対応日数については、「父親が休んだ」では「５日」が 22.4%で最も高く、次いで「３日」が 19.8%となっています。「母親が休んだ」では「10 日」が 18.5%で最も高く、次いで「５日」が 12.3%となっています。

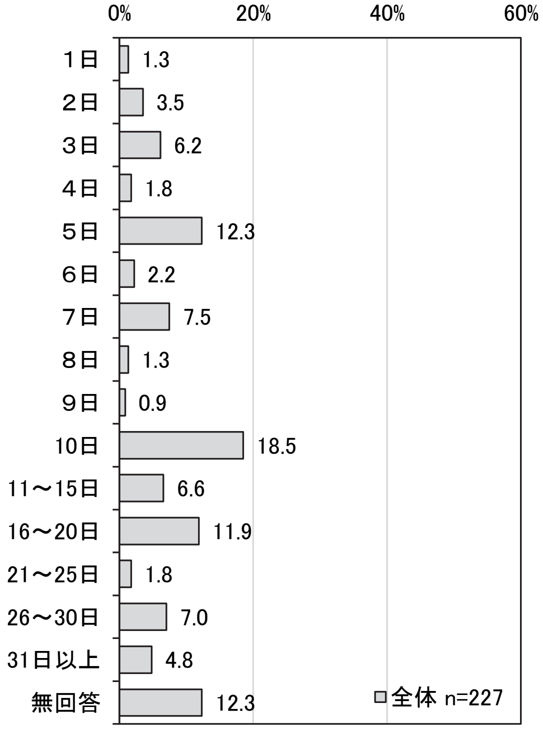


１年間の対応日数

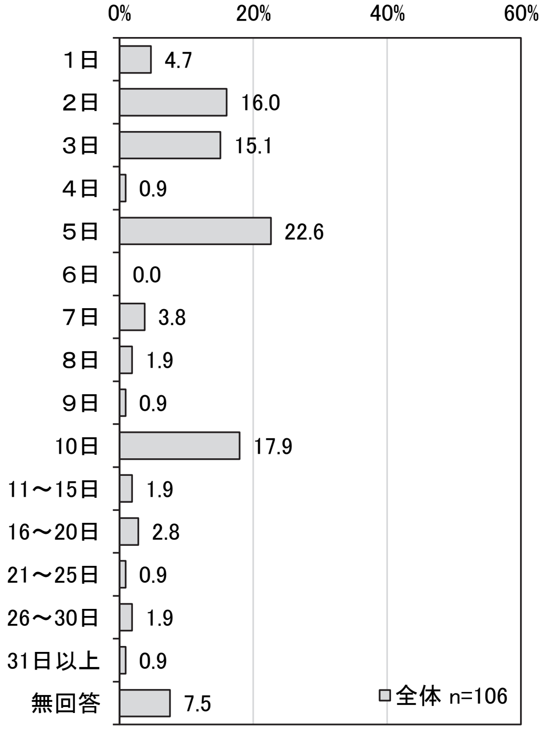
【父親が休んだ】



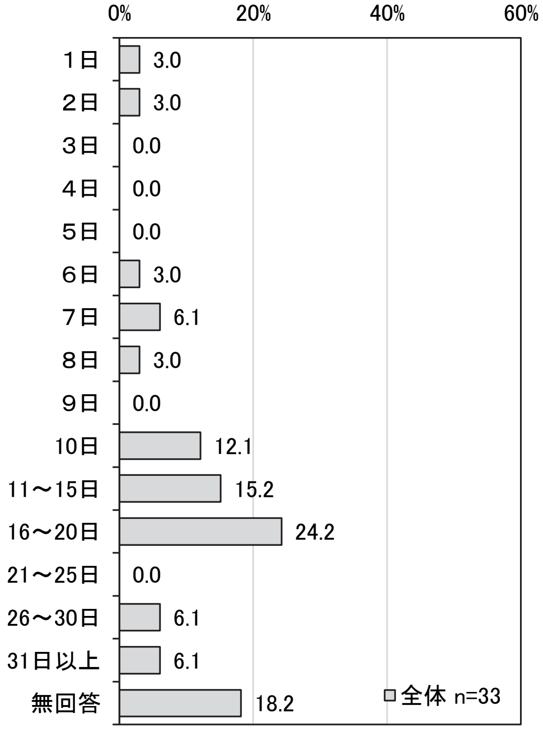
【母親が休んだ】



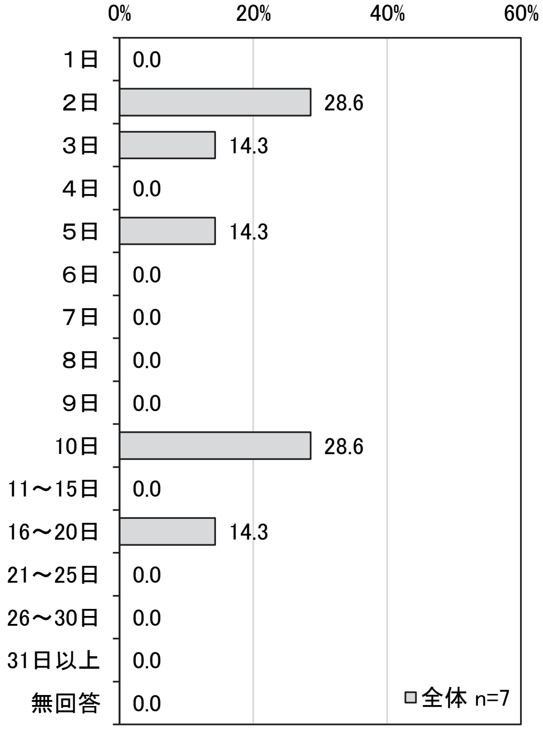
【親族・知人に子どもを看てもらった】



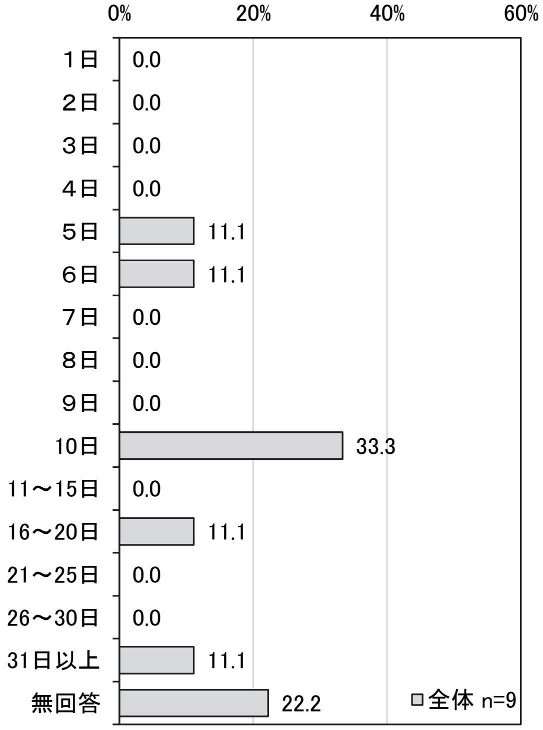
【父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた】



【病児・病後児の保育を利用した】



【その他】

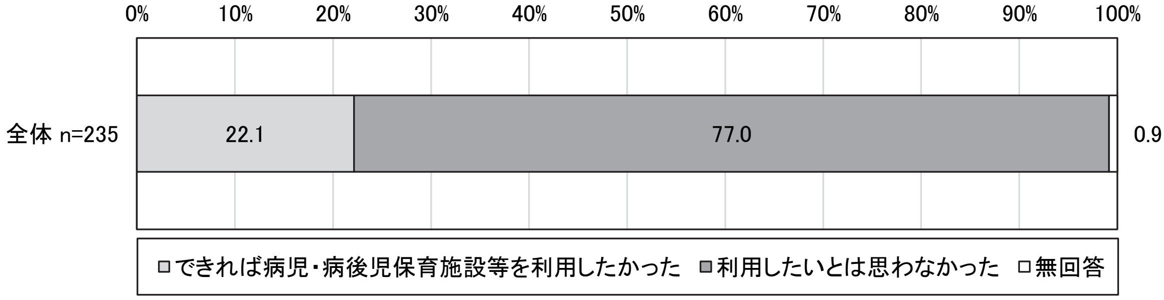


「ベビーシッターを利用した」「ファミリー・サポート・センターを利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は該当がいませんでした。

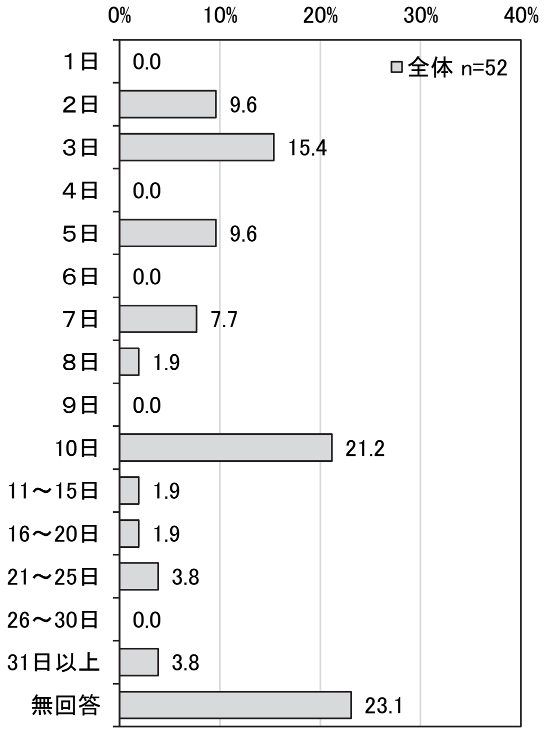
問 22-１で、「１」「２」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 22-２　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に１つ、○をつけ、日数を□内に数字でご記入ください。（数字は１枠に１字）

病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったときにできれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったかについては、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が22.1％、「利用したいとは思わなかった」が 77.0％となっています。



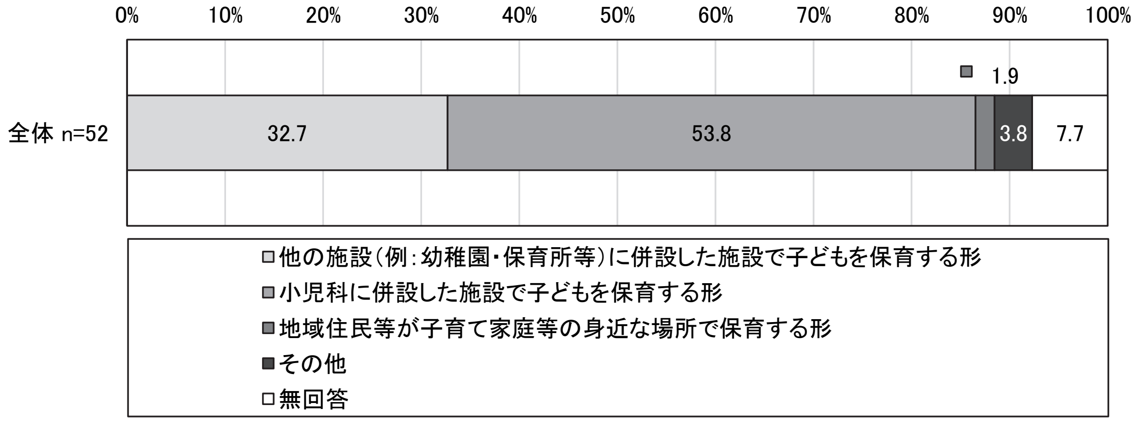
【１年間の利用希望日数】



問 22-2で、「1.できれば病児･病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-3　病児または病後児保育を行う施設等にお子さんを預ける場合、望ましい事業形態として、次の中から１つに、○をつけてください。

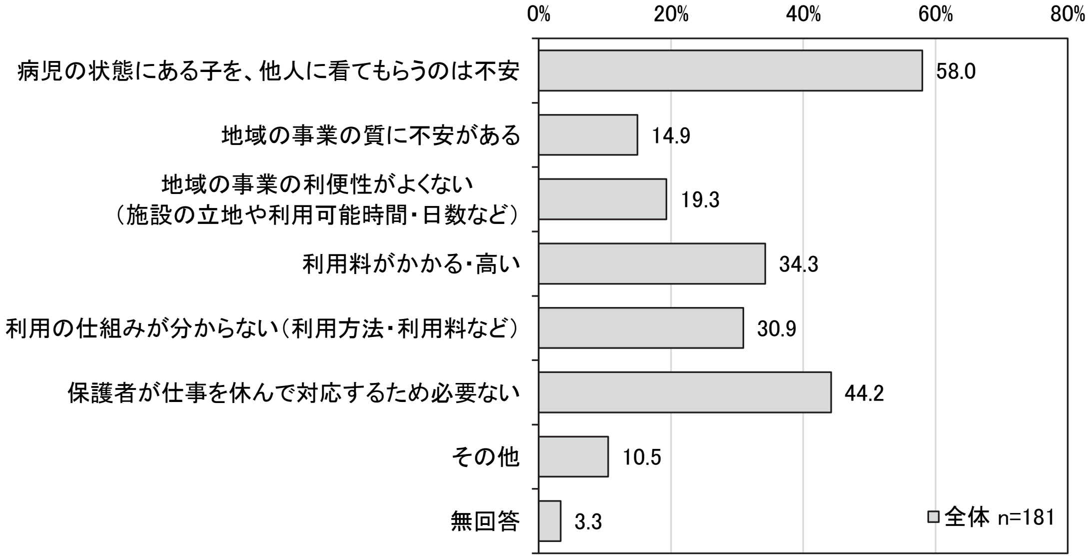
病児または病後児保育を行う施設等にお子さんを預ける場合、望ましい事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する形」が 53.8％で最も高く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する形」が 32.7％、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する形」が 1.9％となっています。



問 22-2で、「2．利用したいと思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-4　そう思われる理由について、主なものを選び、順にその番号を記入してください。（３つまで）

そう思われる理由については、「病児の状態にある子を、他人に看てもらうのは不安」が 58.0％で最も高く、次いで「保護者が仕事を休んで対応するため必要ない」が 44.2％、「利用料がかかる・高い」が 34.3％となっています。

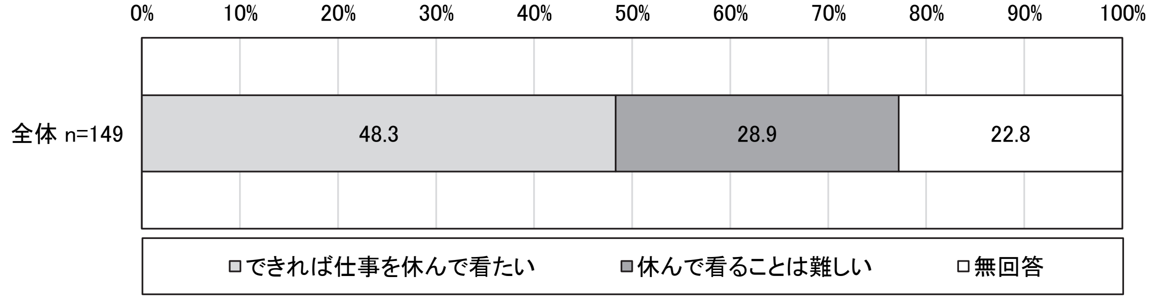


問 22-1 で、「３」～「９」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

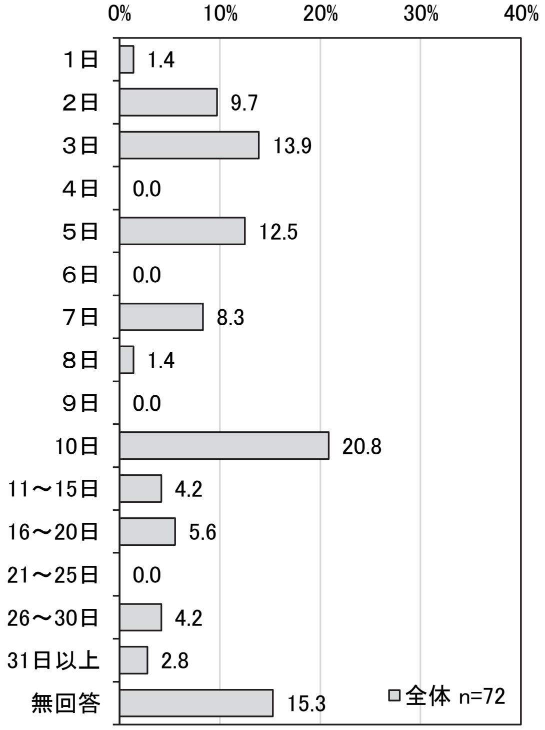
問 22-5　その際、「できれば仕事を休んで看たかった」と思われましたか。どちらか１つに○をつけ、仕事を休んで看たいを選んだ場合は、その日数を□内に数字でご記入ください。（数字は１枠に１字）

病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったときにできれば仕事を休んで看たかったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」が 48.3%、「休んで看ることは難しい」が 28.9%となっています。

１年間の希望日数については、「10 日」が 20.8%で最も高く、次いで「３日」が 13.9%、「５日」が 12.5%となっています。



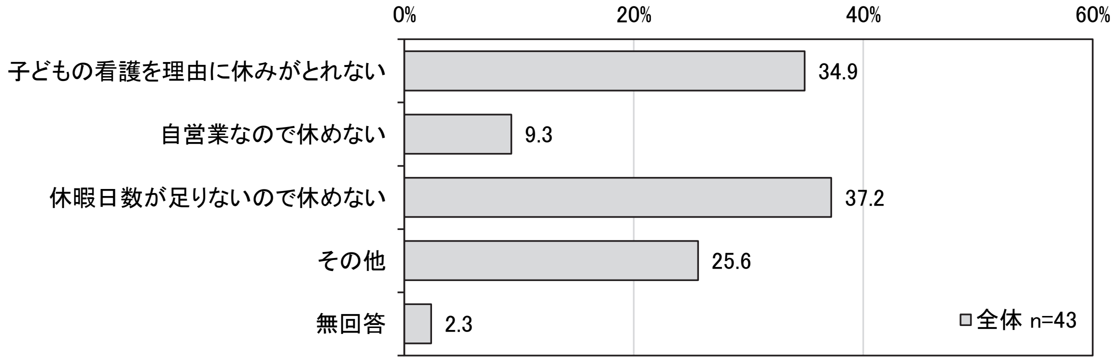
【１年間の希望日数】



問 22-5で、「2．休んで看ることは難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-6　そう思われる理由について、あてはまる番号すべてに、○をつけてください。【複数選択可】

そう思われる理由については、「休暇日数が足りないので休めない」が 37.2％で最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 34.9％、「自営業なので休めない」が 9.3％となっています。

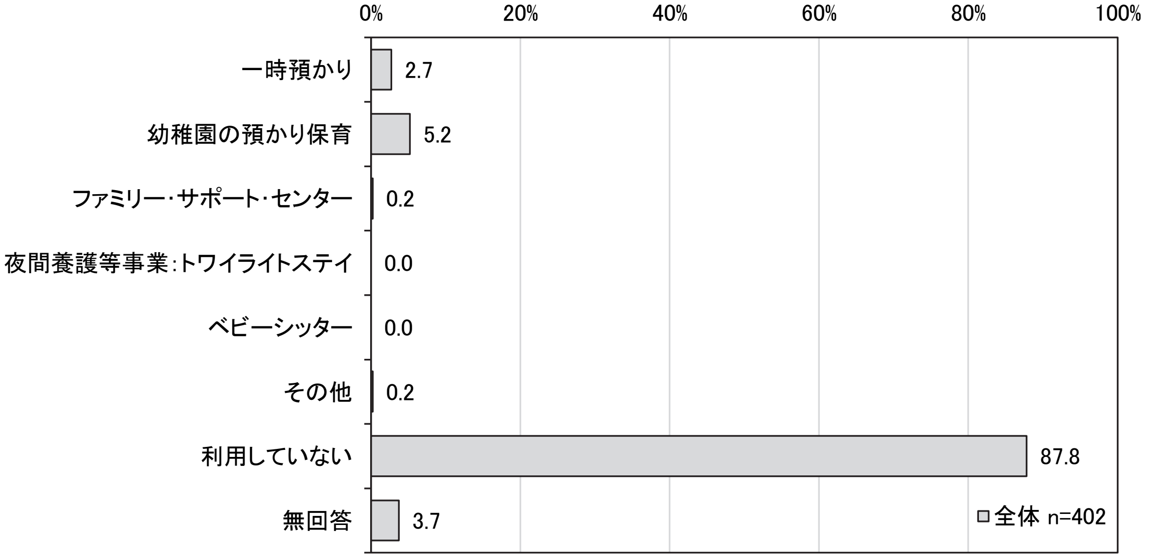


９．不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用について

問 23　あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気の際の対応以外に、私用・保護者の通院・就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、１年間のおおよその利用日数を□内に数字でご記入ください。【複数選択可／数字は１枠に１字】

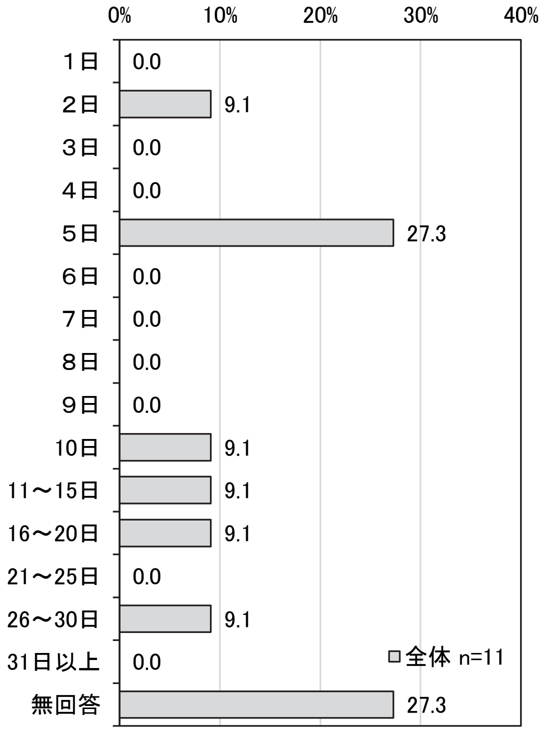
私用・保護者の通院・就労等の目的で、不定期に利用している事業については、「幼稚園の預かり保育」が 5.2％で最も高く、次いで「一時預かり」が 2.7％、「ファミリー・サポート・センター」が 0.2％となっています。また、「利用していない」が 87.8％となっています。

１年間の利用日数については、「一時預かり」では「５日」が 27.3％で最も高く、次いで「２日」「10 日」「11～15 日」「16～20 日」「26～30 日」がいずれも 9.1％となっています。「幼稚園の預かり保育」では「２日」「３日」がともに 19.0％で最も高く、次いで「５日」「31 日以上」がともに 14.3％となっています。

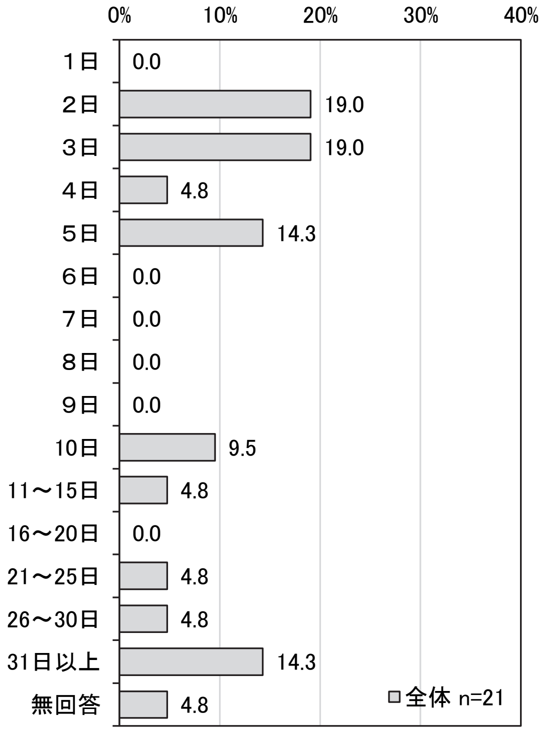


１年間の利用日数

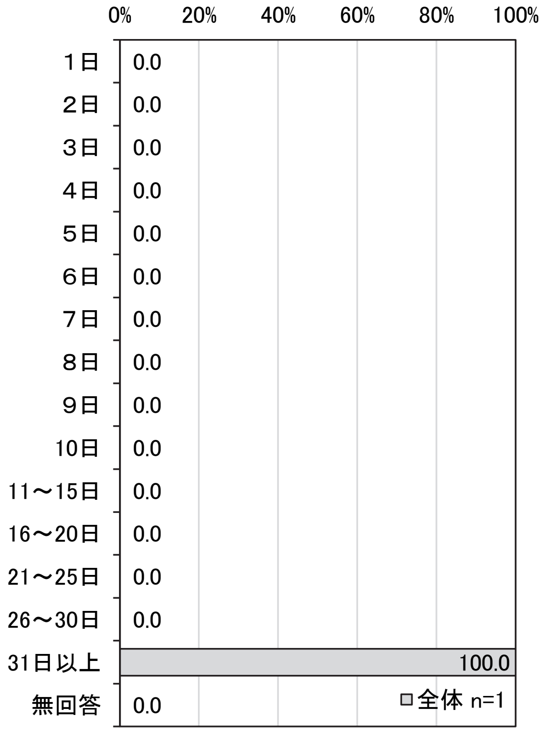
【一時預かり】



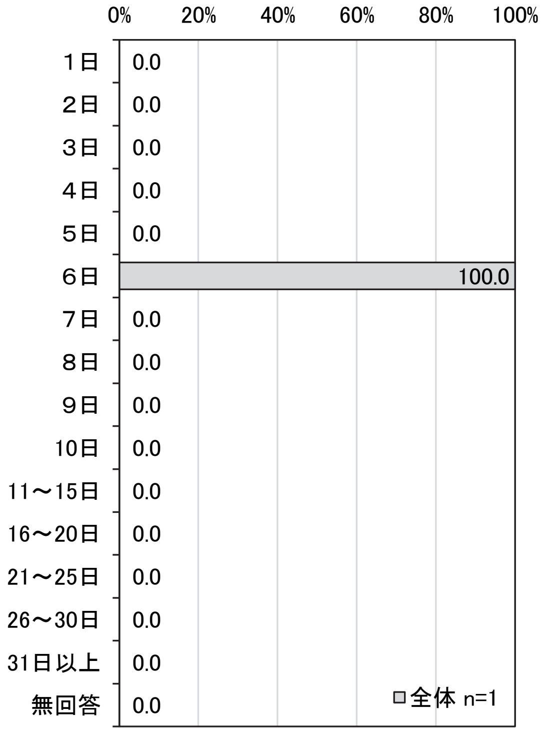
【幼稚園の預かり保育】



【ファミリー・サポート・センター】



【その他】

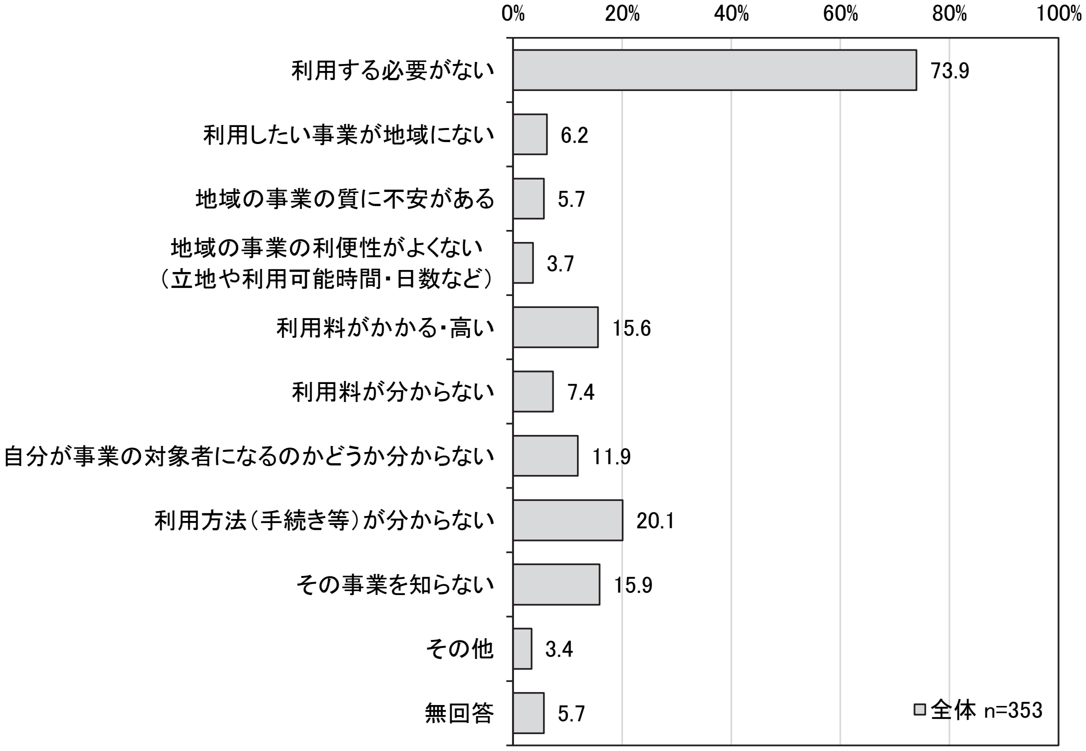


「夜間養護等事業：トワイライトステイ」「ベビーシッター」は該当がいませんでした。

問23で、「7．利用していない.」に○をつけた方にうかがいます。

問 23-1　現在利用していない理由について、あてはまるものを選び、順にその番号を記入してください。（3つまで）

現在利用していない理由については、「利用する必要がない」が 73.9％で最も高く、次いで「利用方法（手続き等）が分からない」が 20.1％、「その事業を知らない」が 15.9％となっています。

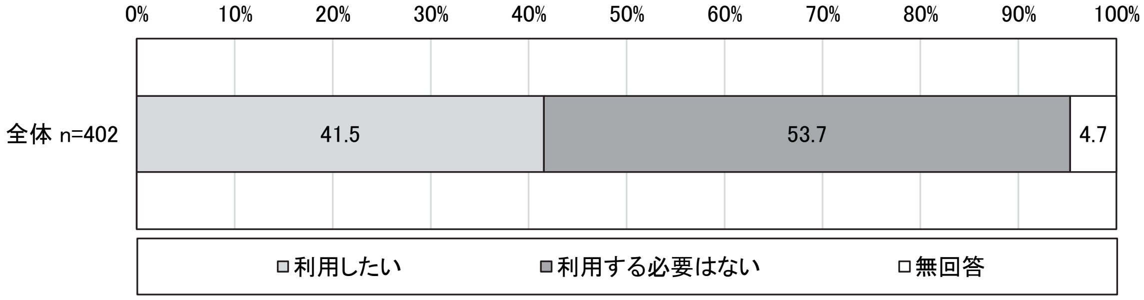


問 24　あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気の際の対応以外に、私用・保護者の通院・就労等の目的で問 23 の各事業を利用したい場合、年間で何日くらい必要だと思いますか。これからの希望の有無を選び、利用したい場合の理由としてあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数を□内に数字でご記入ください。（数字は１枠に１字）

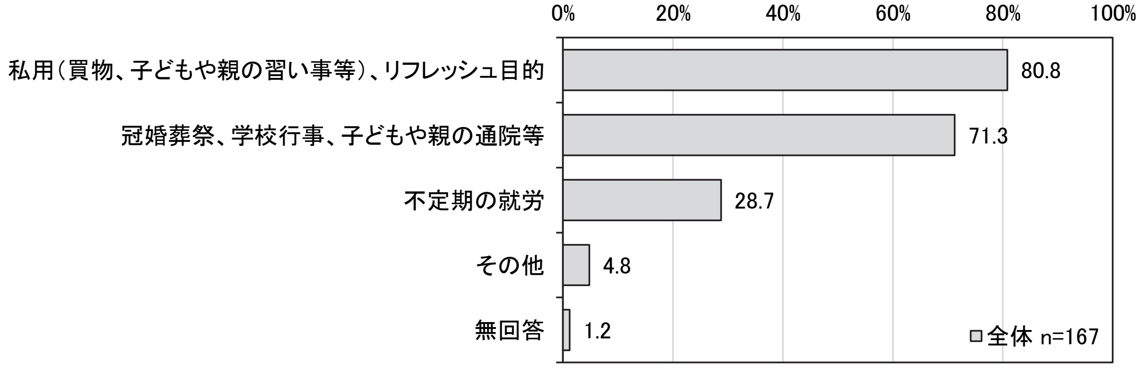
日中の定期的な保育や病気の際の対応以外に、私用・保護者の通院・就労等の目的で問 23 の各事業を利用したいかについては、「利用したい」が 41.5%、「利用する必要はない」が 53.7%となっています。

利用したい場合の理由については、「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 80.8%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 71.3%、「不定期の就労」が 28.7%となっています。

１年間の必要日数については、「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」では「５日」が 23.0%で最も高く、次いで「10 日」が 21.5%となっています。「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」では「５日」が 34.5%で最も高く、次いで「10 日」が 20.2%となっています。

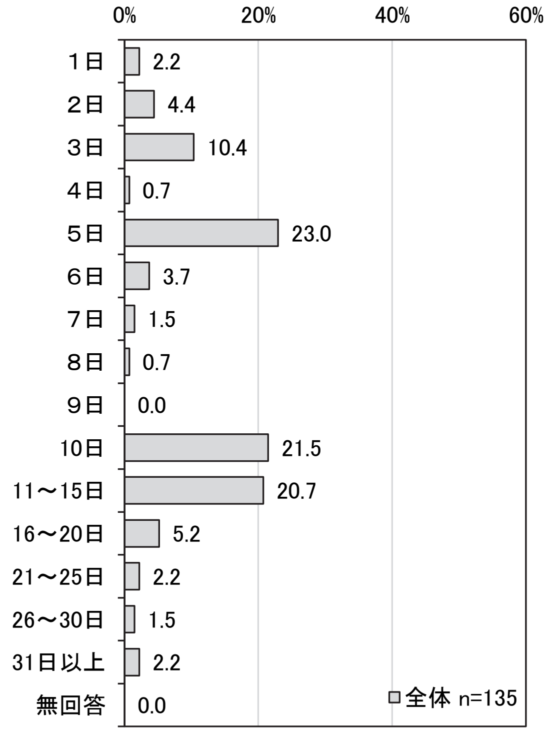


【利用したい場合の理由】

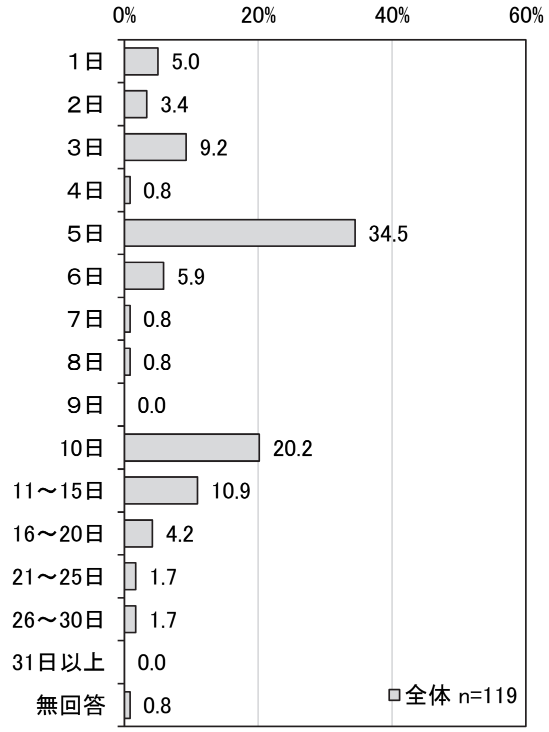


１年間の必要日数

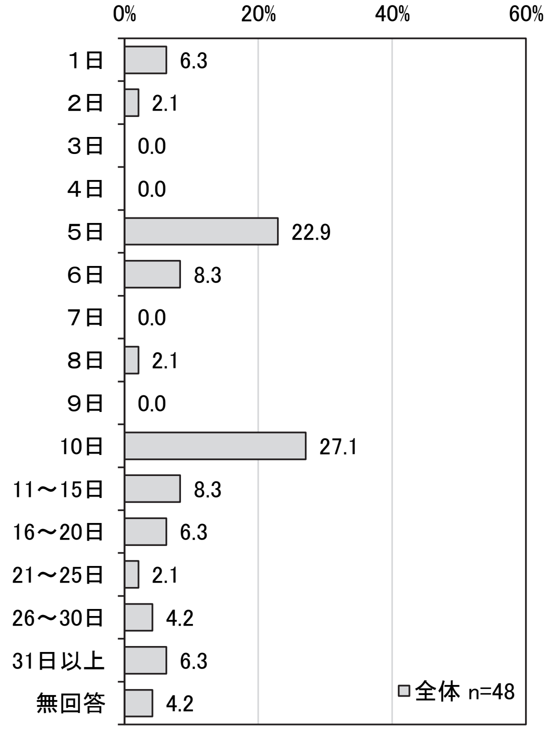
【私用、リフレッシュ目的】



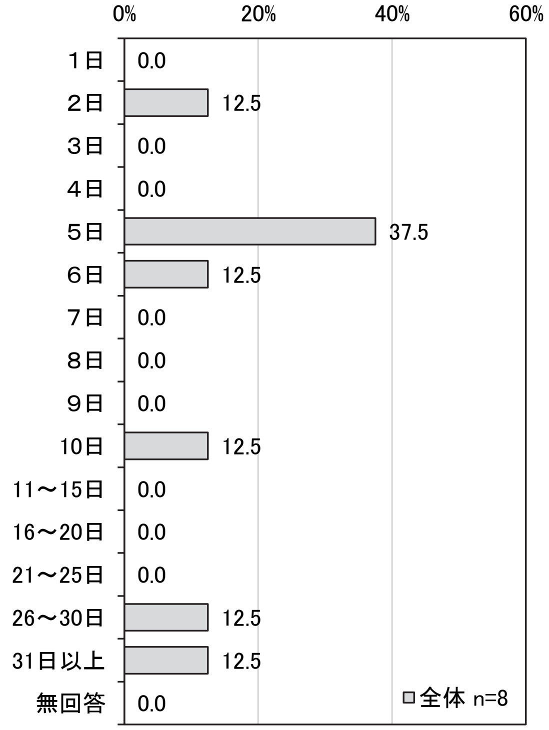
【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等】



【不定期の就労】



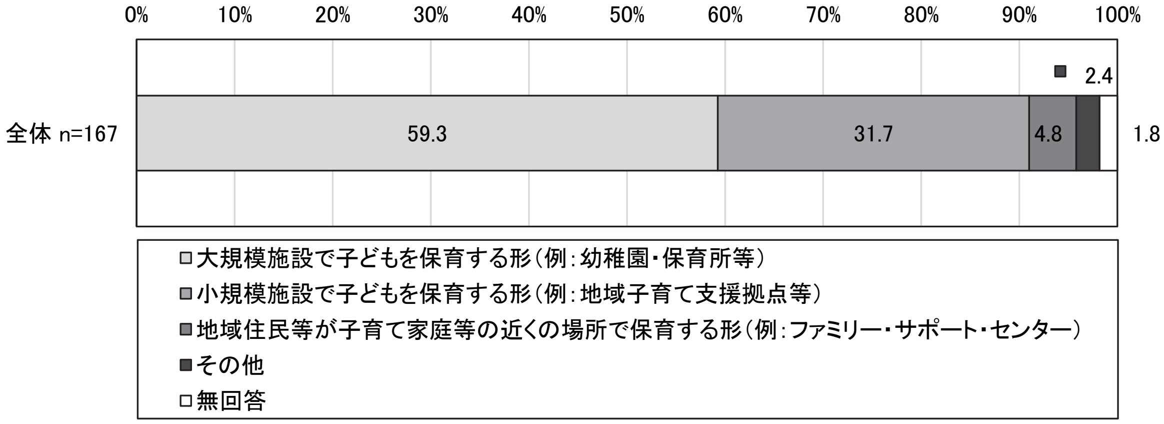
【その他】



問 24 で「1．利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 24-1　上記の目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

問 24 の理由でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいかについては、「大規模施設で子どもを保育する形（例：幼稚園・保育所等）」が 59.3％で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する形（例：地域子育て支援拠点等）」が 31.7％、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する形（例：ファミリー・サポート・センター）」が 4.8％となっています。

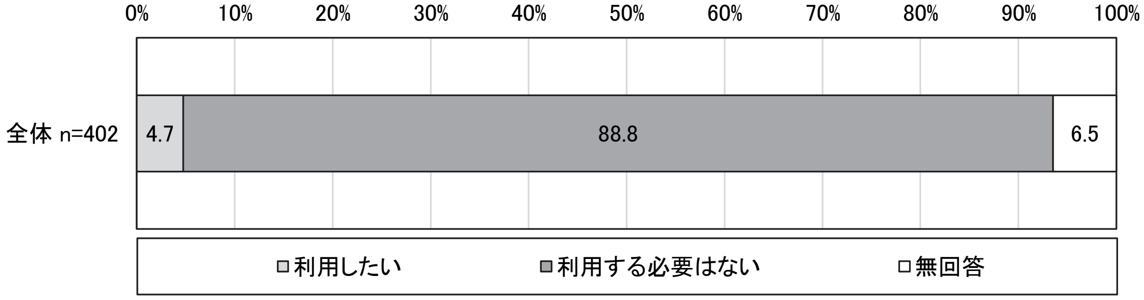


問25　保護者の用事等（冠婚葬祭、家族の病気、保護者の育児疲れや育児不安など）で、あて名のお子さんを泊りがけで年間で何日くらい家族以外に預ける必要があるかうかがいます。短期入所生活援助事業を「1．利用したい」または「2．利用する必要はない」どちらかに○をつけてください。また、「1．利用したい」場合は、その理由としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を□内に数字でご記入ください。【「1」を選択した場合　複数選択可／数字は1枠に1字】

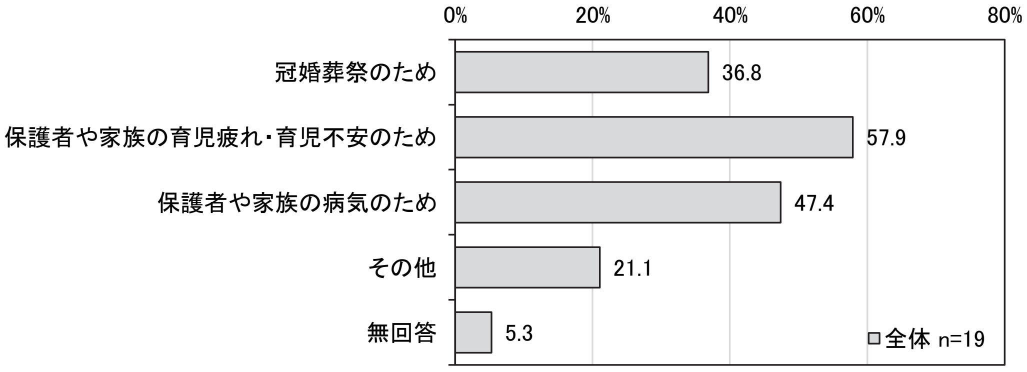
保護者の用事等（冠婚葬祭、家族の病気、保護者の育児疲れや育児不安など）で、短期入所生活援助事業を利用したいかについては、「利用したい」が4.7%、「利用する必要はない」が88.8%となっています。

利用したい場合の理由については、「保護者や家族の育児疲れ・育児不安のため」が 57.9%で最も高く、次いで「保護者や家族の病気のため」が47.4%、「冠婚葬祭のため」が36.8%となっています。

1年間の利用希望泊数については、「保護者や家族の育児疲れ・育児不安のため」では「1泊」「4泊」がともに18.2%で最も高く、次いで「2泊」「3泊」「5泊」「6泊」「7泊」「10泊」「26～30泊」がいずれも9.1%となっています。「保護者や家族の病気のため」では「2泊」が33.3%で最も高く、次いで「1泊」「5泊」がともに22.2%となっています。

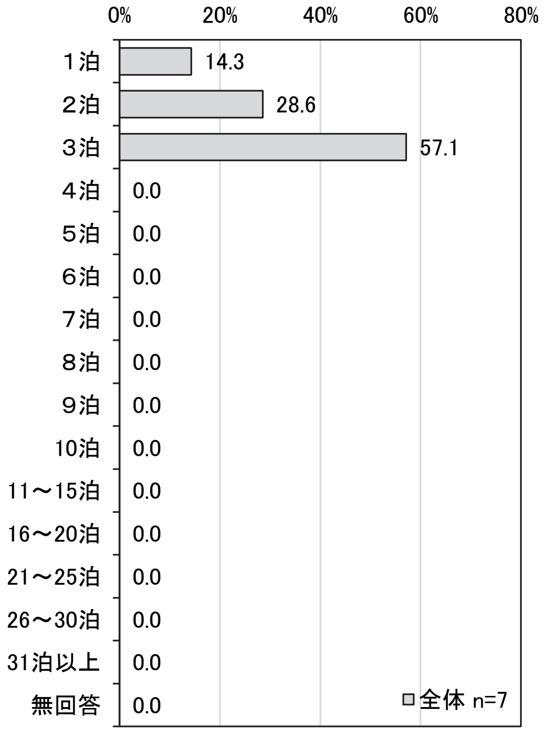


【利用したい場合の理由】

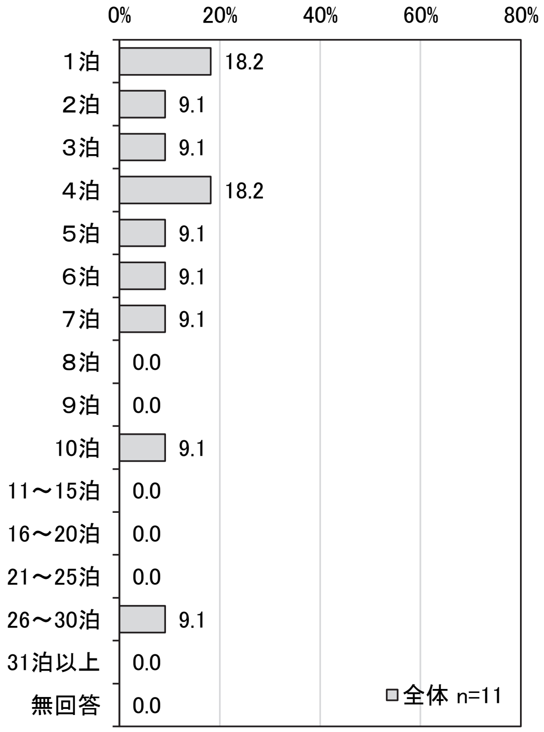


１年間の利用希望泊数

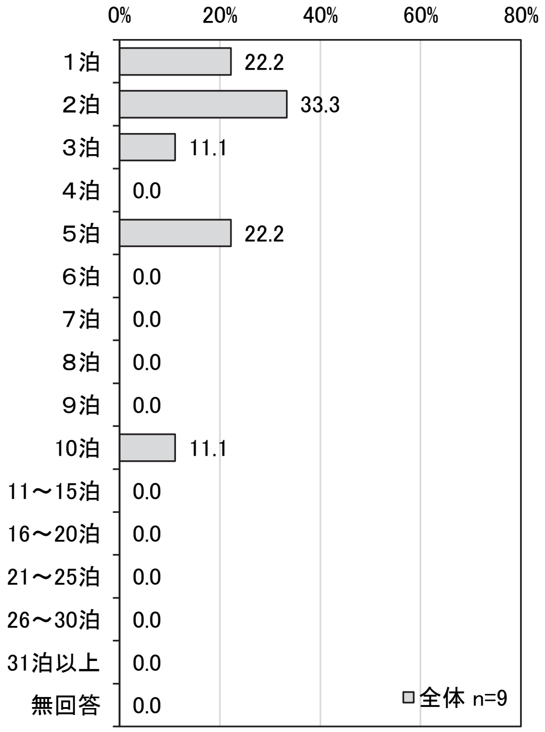
【冠婚葬祭のため】



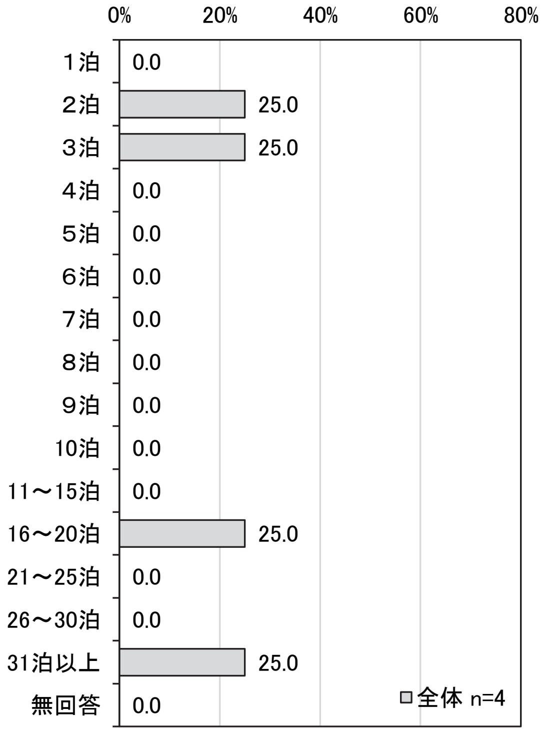
【保護者や家族の育児疲れ・育児不安のため】



【保護者や家族の病気のため】



【その他】



10. 小学校入学後の放課後の過ごし方について

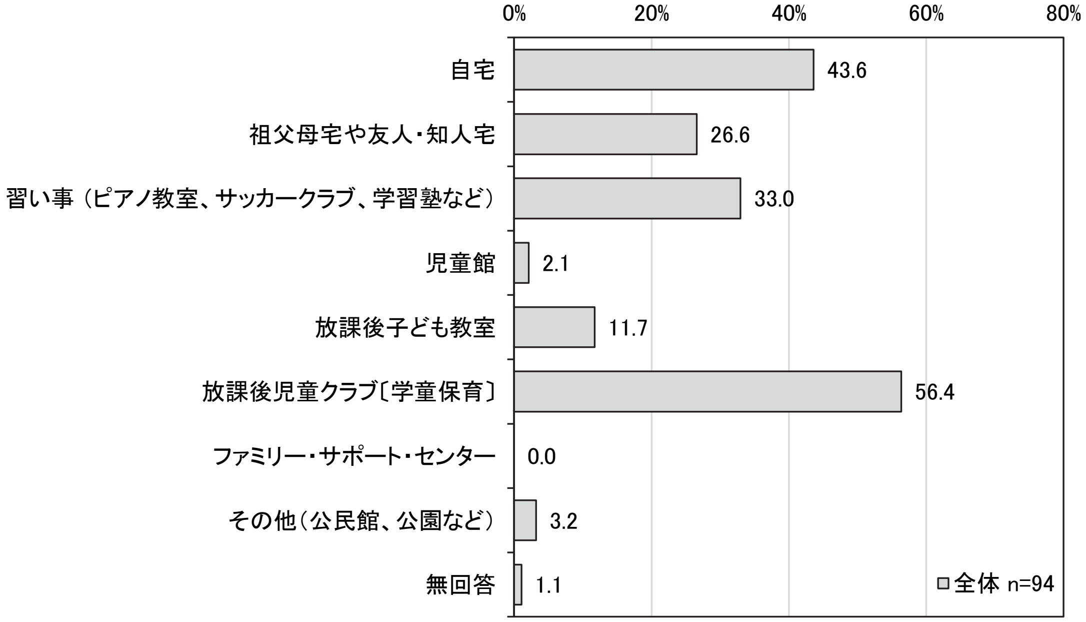
あて名のお子さんが年中児の方にうかがいます。

問26　あて名のお子さんについて、小学校１～３年生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに、○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を□内に数字でご記入ください。

小学校１～３年生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うかについては、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が 56.4％で最も高く、次いで「自宅」が43.6％、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が33.0％となっています。

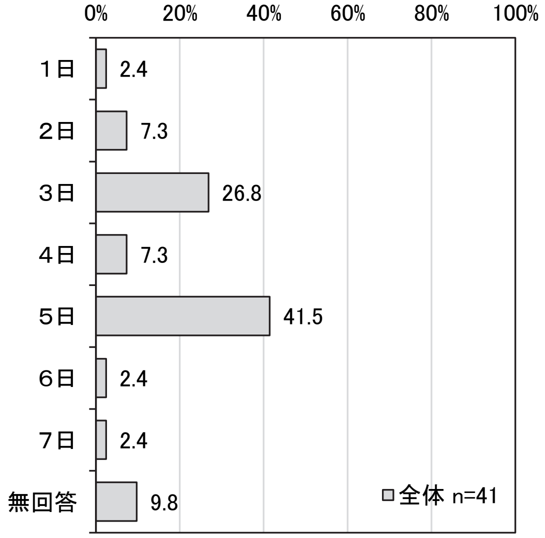
１週あたりの希望日数については、「自宅」では「５日」が41.5％で最も高く、次いで「３日」が26.8％となっています。「放課後児童クラブ〔学童保育〕」では「５日」が77.4％で最も高く、次いで「４日」が9.4％となっています。

「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の終了希望時刻については、「18時」が56.6％で最も高く、次いで「17時」が30.2％、「19時」が7.5％となっています。

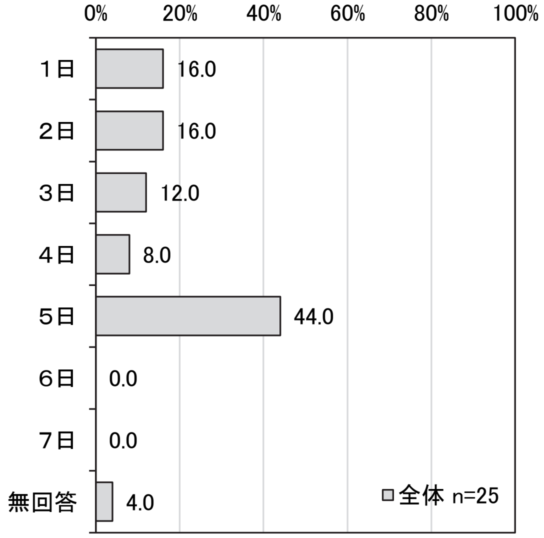


１週あたりの希望日数

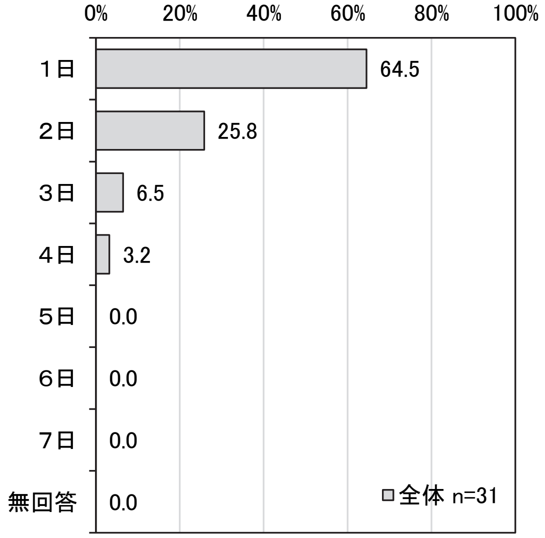
【自宅】



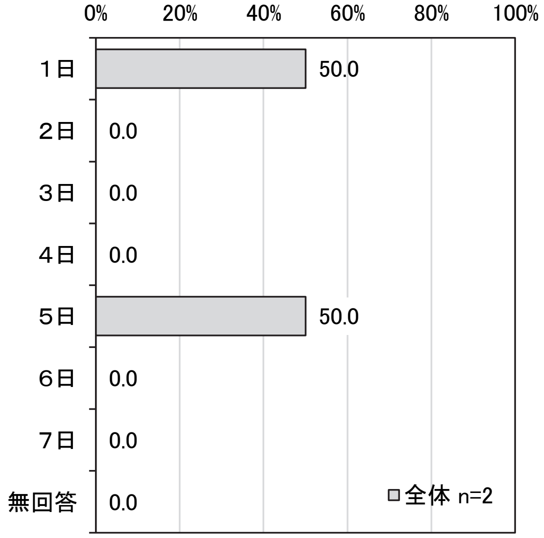
【祖父母宅や友人・知人宅】



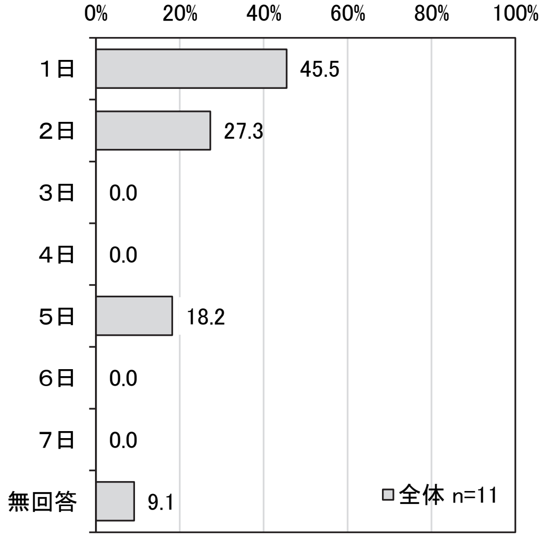
【習い事】



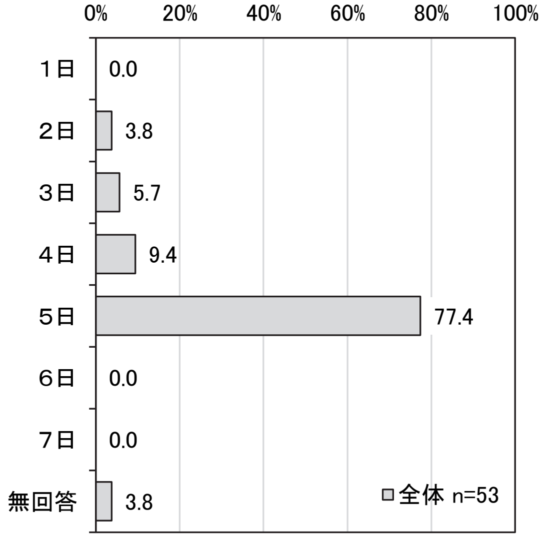
【児童館】



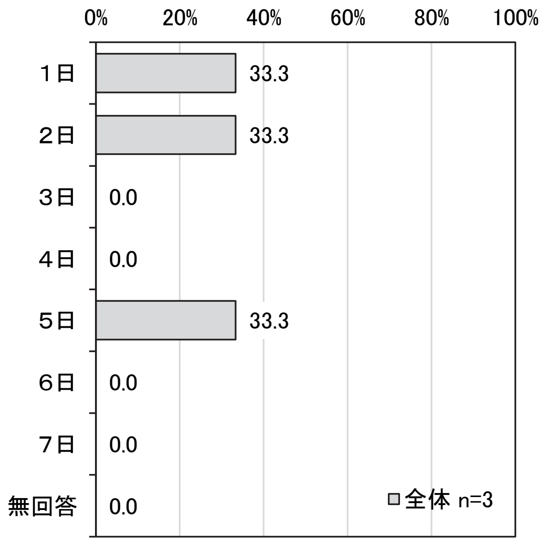
【放課後子ども教室】



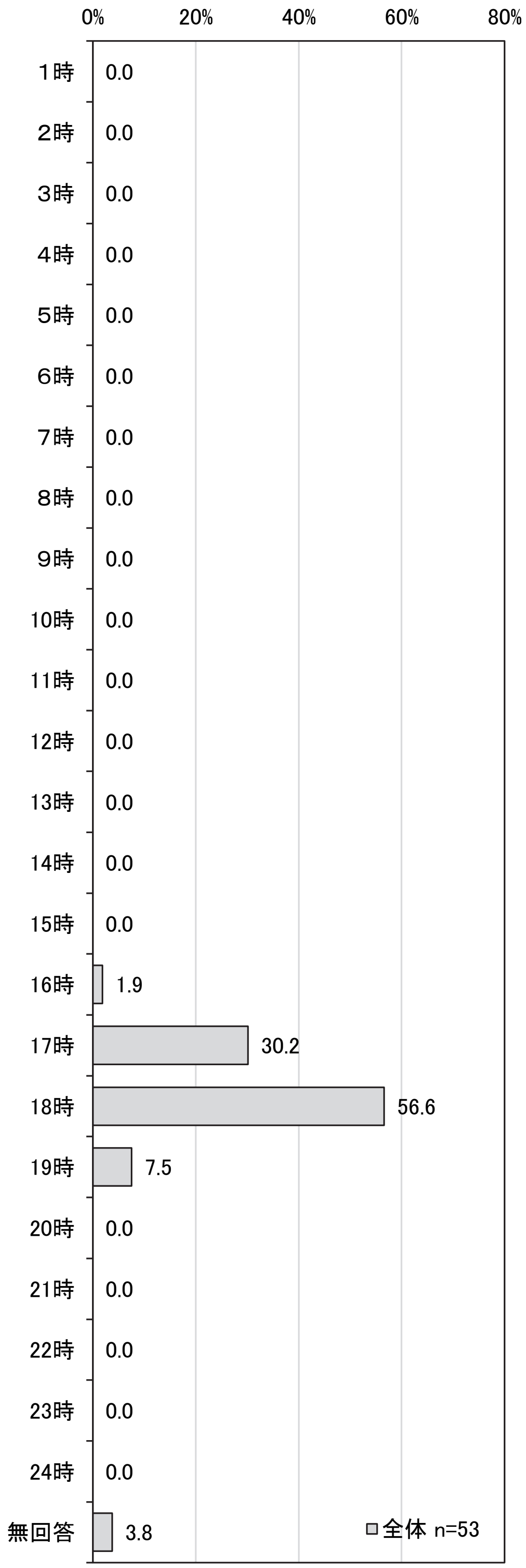
【放課後児童クラブ〔学童保育〕】



【その他（公民館、公園など）】



【放課後児童クラブの終了希望時刻】



「ファミリー・サポート・センター」は該当がいませんでした。

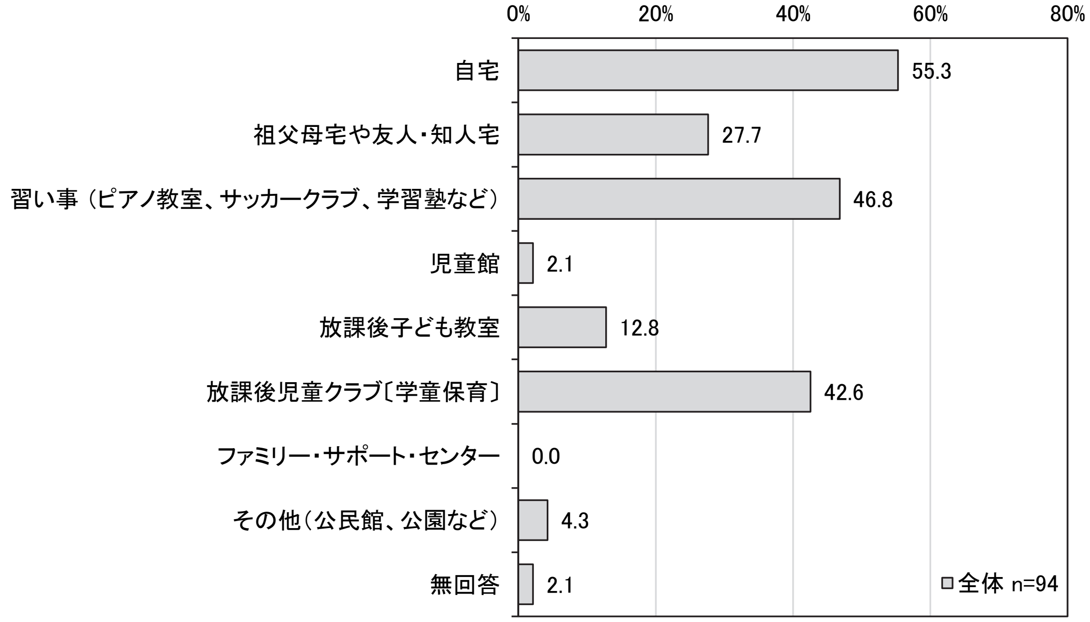
あて名のお子さんが年中児の方にうかがいます。

問27　あて名のお子さんについて、小学校４～６年生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに、○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を□内に数字でご記入ください。（現在お持ちのイメージで結構です。）

小学校４～６年生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うかについては、「自宅」が55.3％で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が46.8％、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が42.6％となっています。

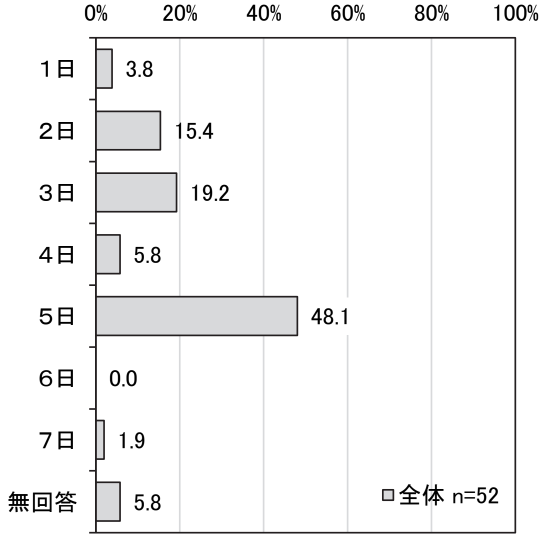
１週あたりの希望日数については、「自宅」では「５日」が48.1％で最も高く、次いで「３日」が19.2％となっています。「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」では「１日」「２日」がともに38.6％で最も高く、次いで「３日」が11.4％となっています。

「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の終了希望時刻については、「18時」が60.0％で最も高く、次いで「17時」が25.0％、「19時」が10.0％となっています。

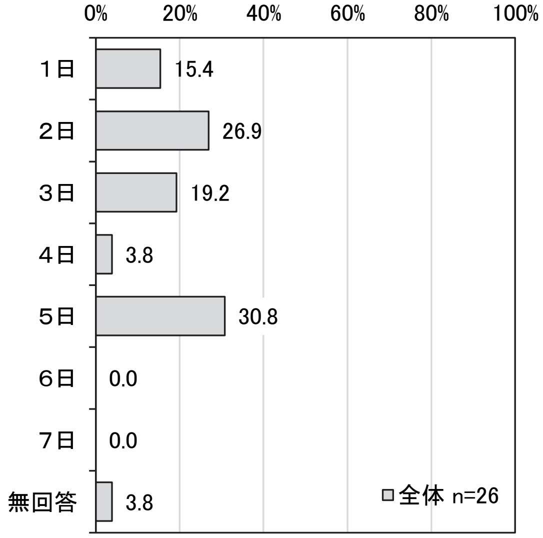


１週あたりの希望日数

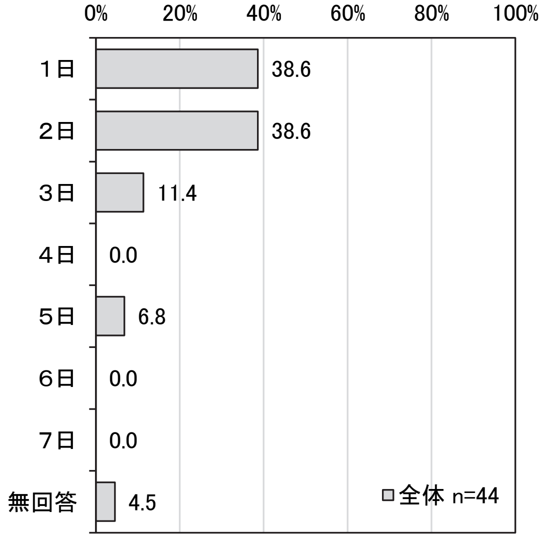
【自宅】



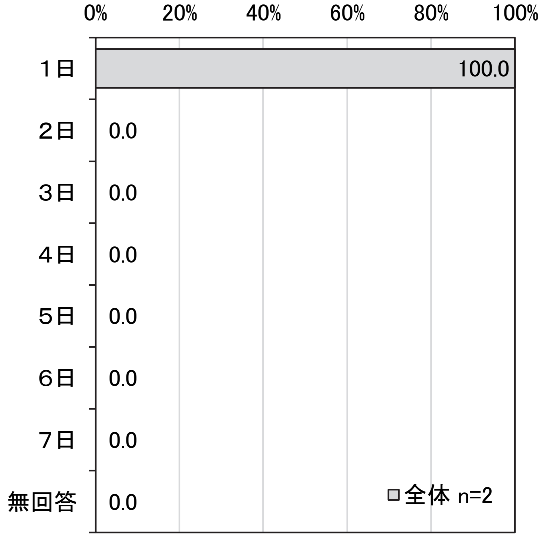
【祖父母宅や友人・知人宅】



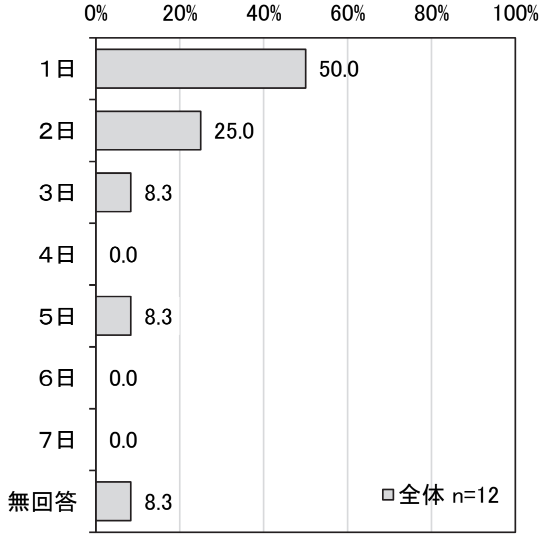
【習い事】



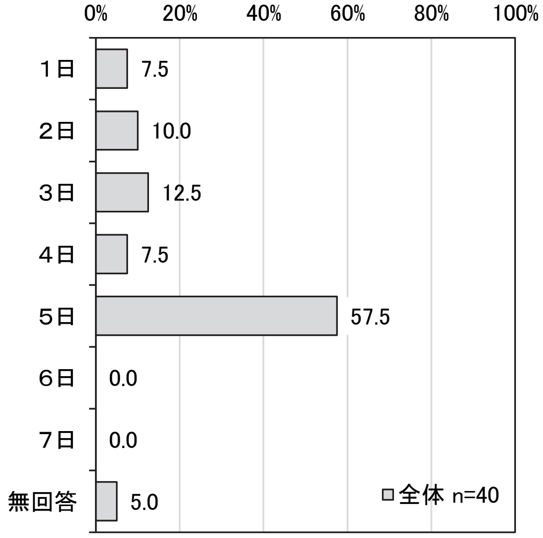
【児童館】



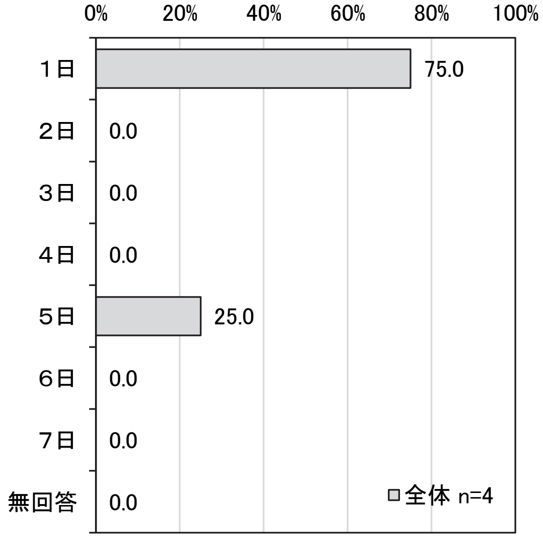
【放課後子ども教室】



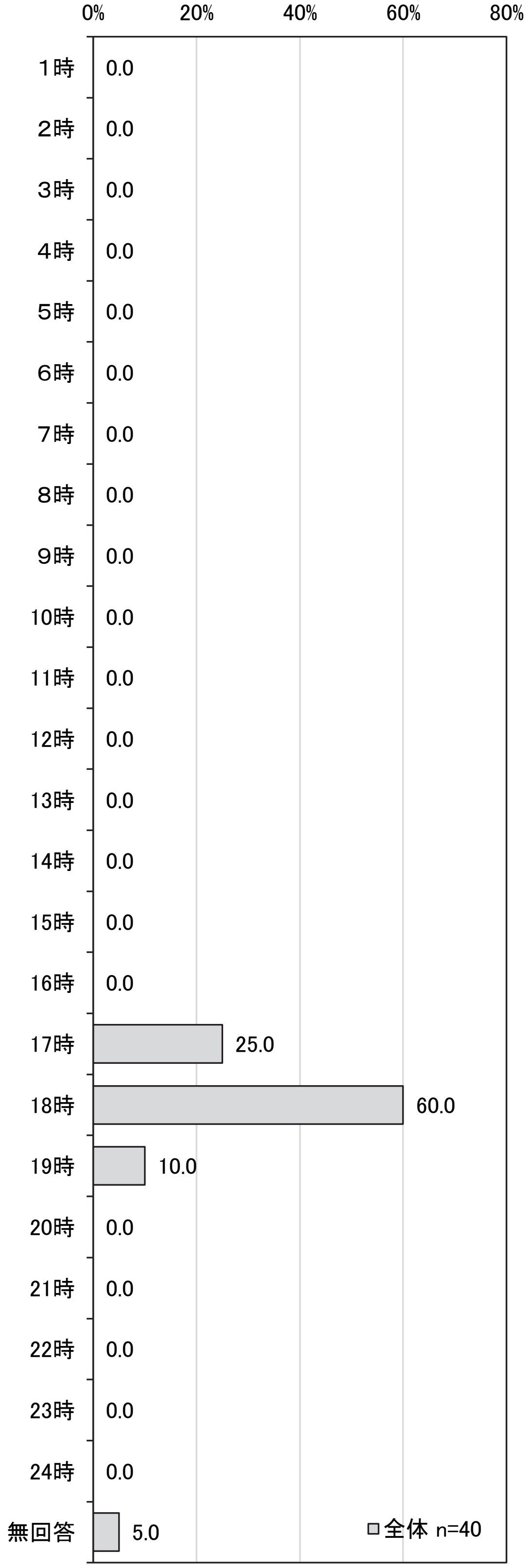
【放課後児童クラブ〔学童保育〕】



【その他（公民館、公園など）】



【放課後児童クラブの終了希望時刻】



「ファミリー・サポート・センター」は該当がいませんでした。

問26または問27で、「6．放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

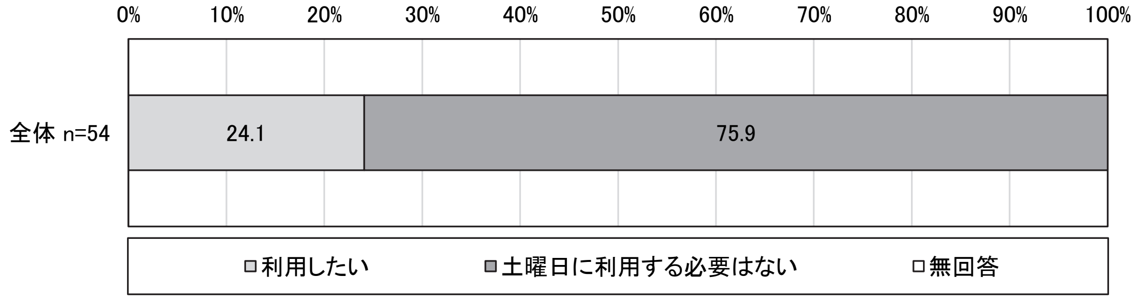
問28　あて名のお子さんについて、（1）土曜日、（2）日曜日・祝日ごとの利用希望をうかがいます。それぞれ利用希望の有無について、あてはまる番号どちらか１つに、○をつけてください。また、「1．利用したい」場合に、何年生まで利用したいか、その学年の番号に１つ○をつけてください。（事業の利用には、一定の利用料がかかります。）
（1）土曜日

土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望については、「利用したい」が24.1%、「土曜日に利用する必要はない」が75.9%となっています。

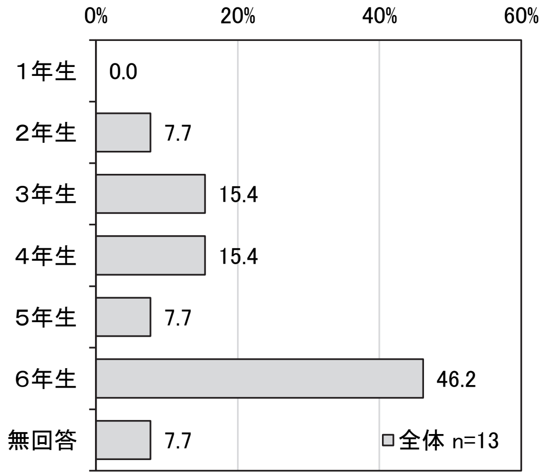
何年生まで利用したいかについては、「６年生」が46.2%で最も高く、次いで「３年生」「４年生」がともに15.4%となっています。

土曜日の希望利用開始時刻については、「７時」が46.2%で最も高く、次いで「８時」が30.8%、「９時」が23.1%となっています。

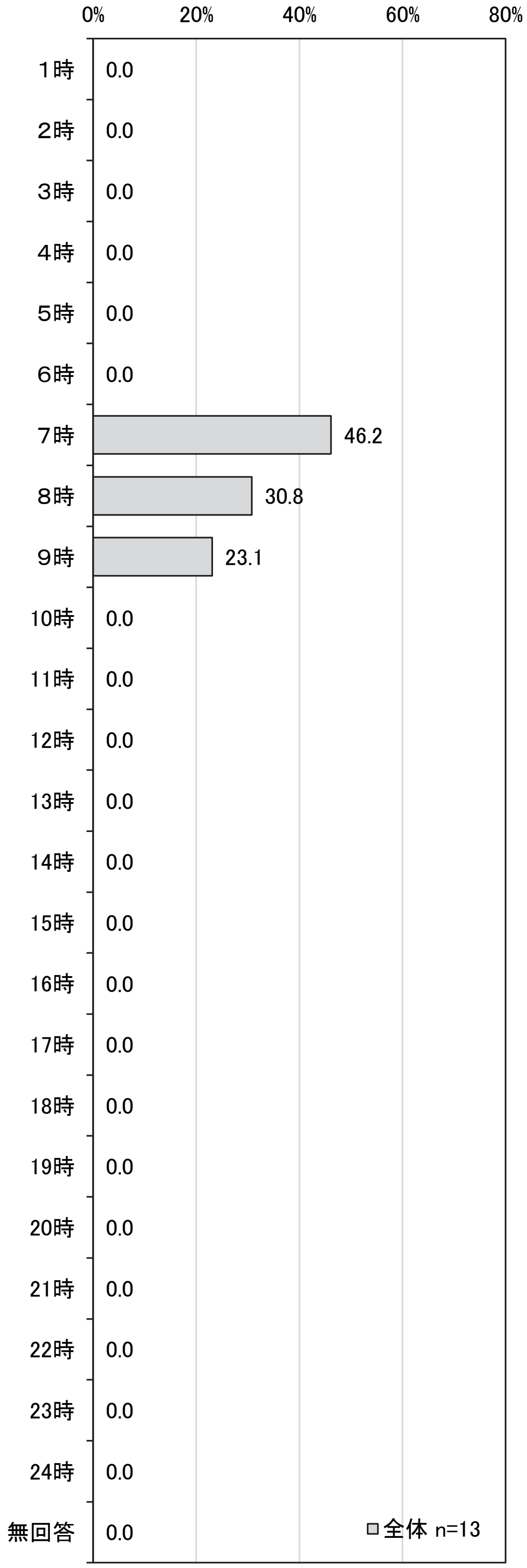
土曜日の希望利用終了時刻については、「18時」が61.5%で最も高く、次いで「16時」が15.4%、「12時」「17時」「19時」がいずれも7.7%となっています。



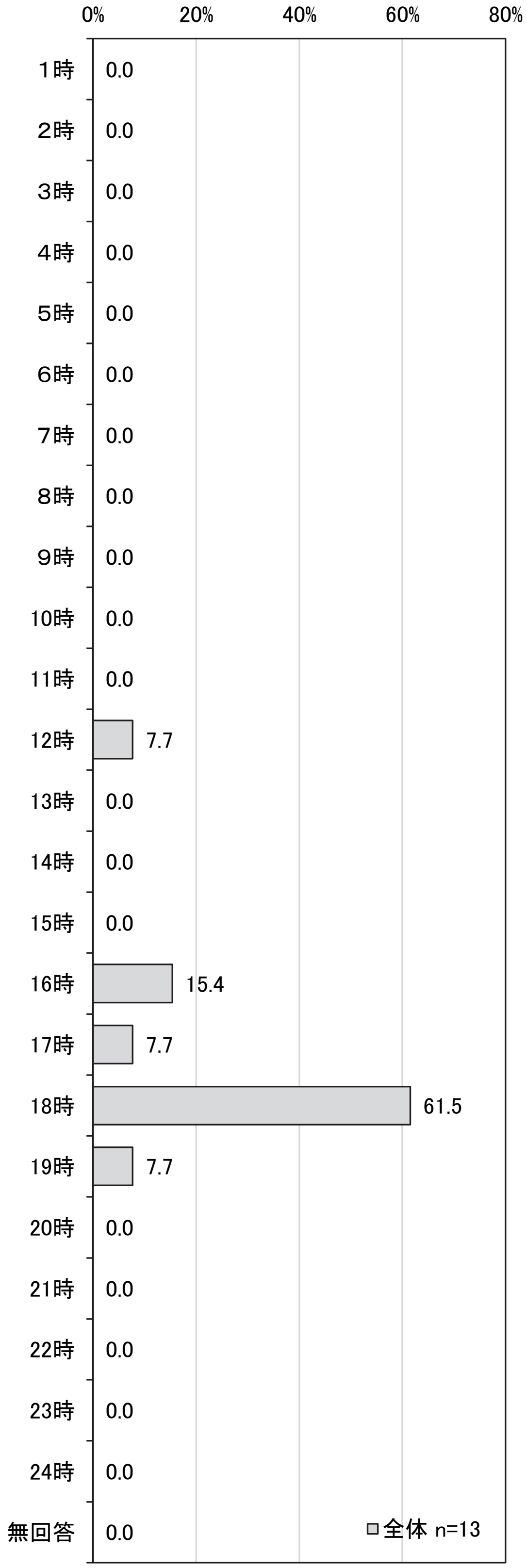
【何年生まで利用したいか】



【土曜日の希望利用開始時刻】



【土曜日の希望利用終了時刻】



問26または問27で、「6．放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

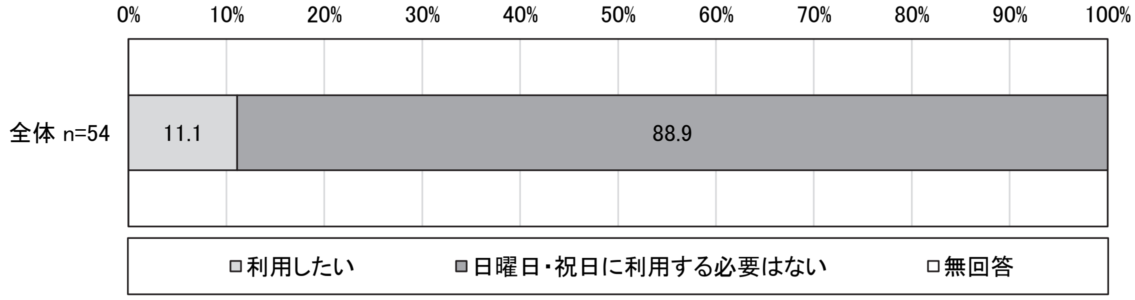
問28　あて名のお子さんについて、（1）土曜日、（2）日曜日・祝日ごとの利用希望をうかがいます。それぞれ利用希望の有無について、あてはまる番号どちらか１つに、○をつけてください。また、「1．利用したい」場合に、何年生まで利用したいか、その学年の番号に１つ○をつけてください。（事業の利用には、一定の利用料がかかります。）
（2）日曜日・祝日

日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望については、「利用したい」が11.1%、「日曜日・祝日に利用する必要はない」が88.9%となっています。

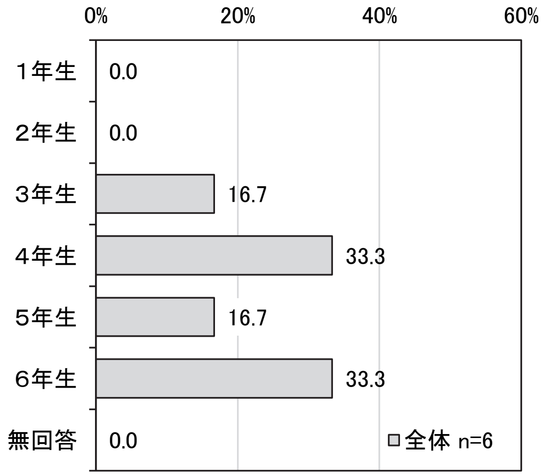
何年生まで利用したいかについては、「４年生」「６年生」がともに33.3%で最も高く、次いで「３年生」「５年生」が16.7%となっています。

日曜日・祝日の希望利用開始時刻については、「８時」が 50.0%で最も高く、次いで「７時」が33.3%、「９時」が16.7%となっています。

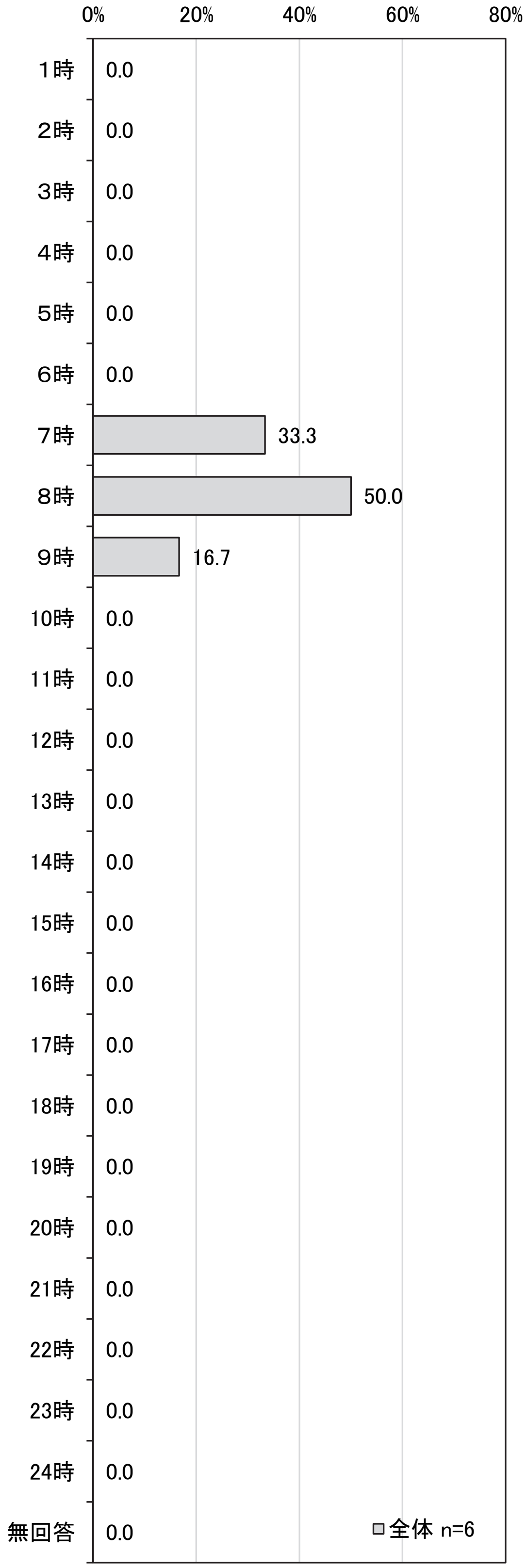
日曜日・祝日の希望利用終了時刻については、「18時」が50.0%で最も高く、次いで「19時」が33.3%、「17時」が16.7%となっています。



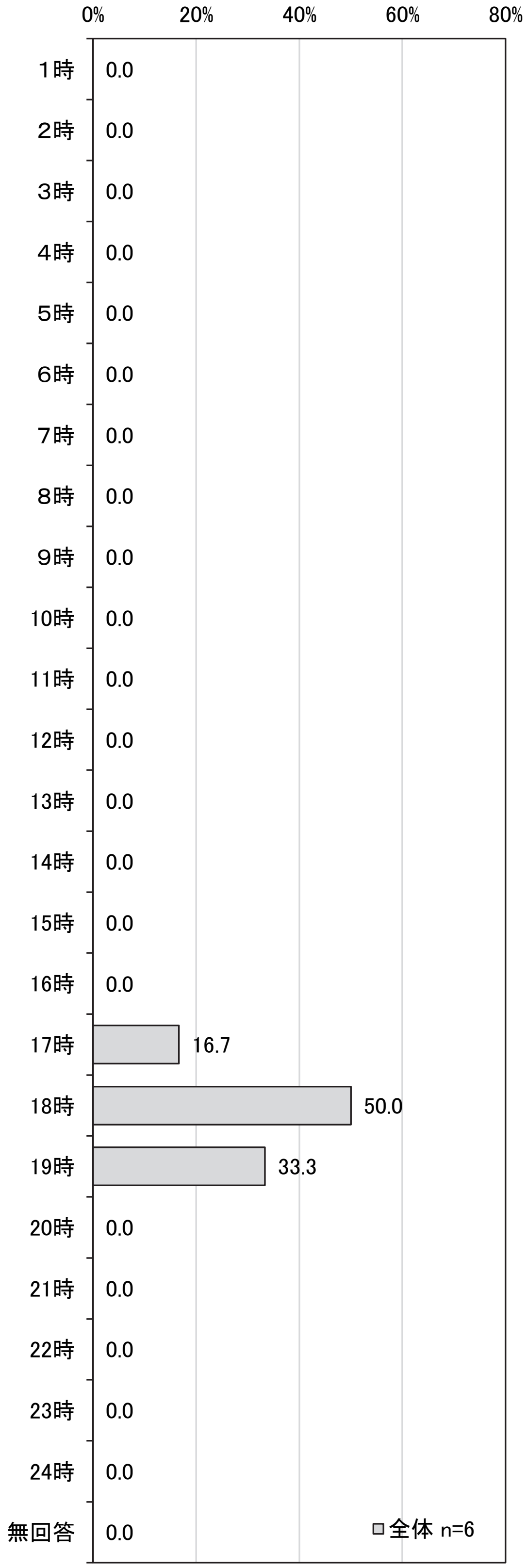
【何年生まで利用したいか】



【日曜日・祝日の希望利用開始時刻】



【日曜日・祝日の希望利用終了時刻】



あて名のお子さんが年中児の方にうかがいます。

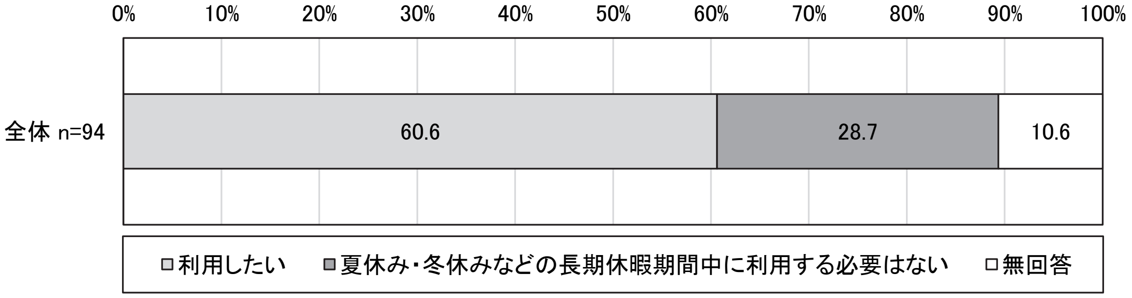
問 29　あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み･冬休みなどの長期休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。（事業の利用には、一定の利用料がかかります。）

長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望については、「利用したい」が 60.6%、「夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に利用する必要はない」が 28.7%となっています。

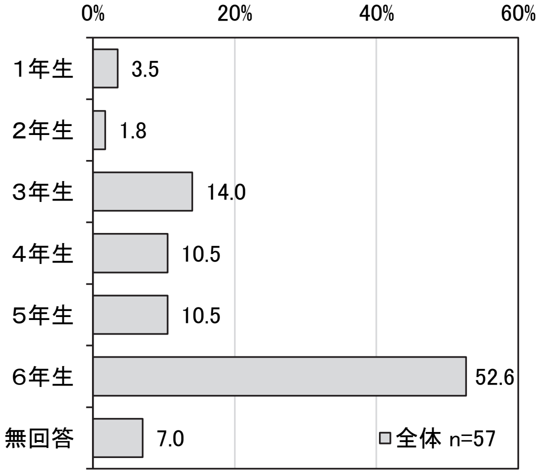
何年生まで利用したいかについては、「６年生」が 52.6%で最も高く、次いで「３年生」が 14.0%となっています。

長期休暇期間中の希望利用開始時刻については、「８時」が 52.6%で最も高く、次いで「７時」が 26.3%、「９時」が 14.0%となっています。

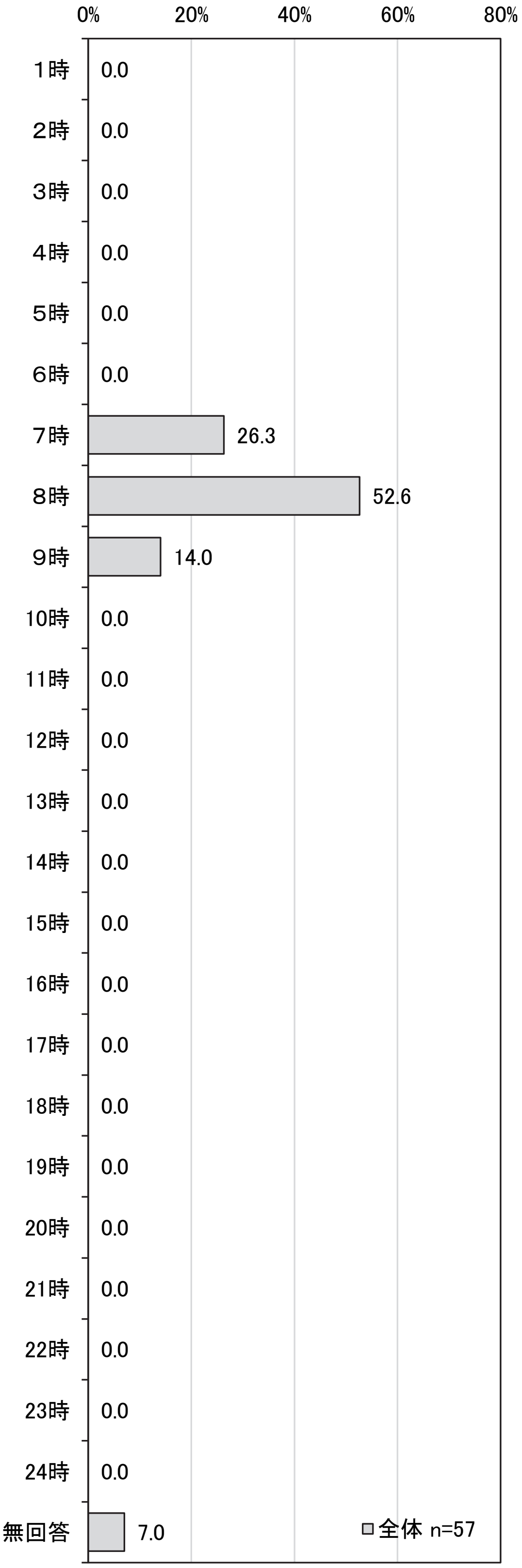
長期休暇期間中の希望利用終了時刻については、「18 時」が 52.6%で最も高く、次いで「17 時」が 29.8%、「19 時」が 5.3%となっています。



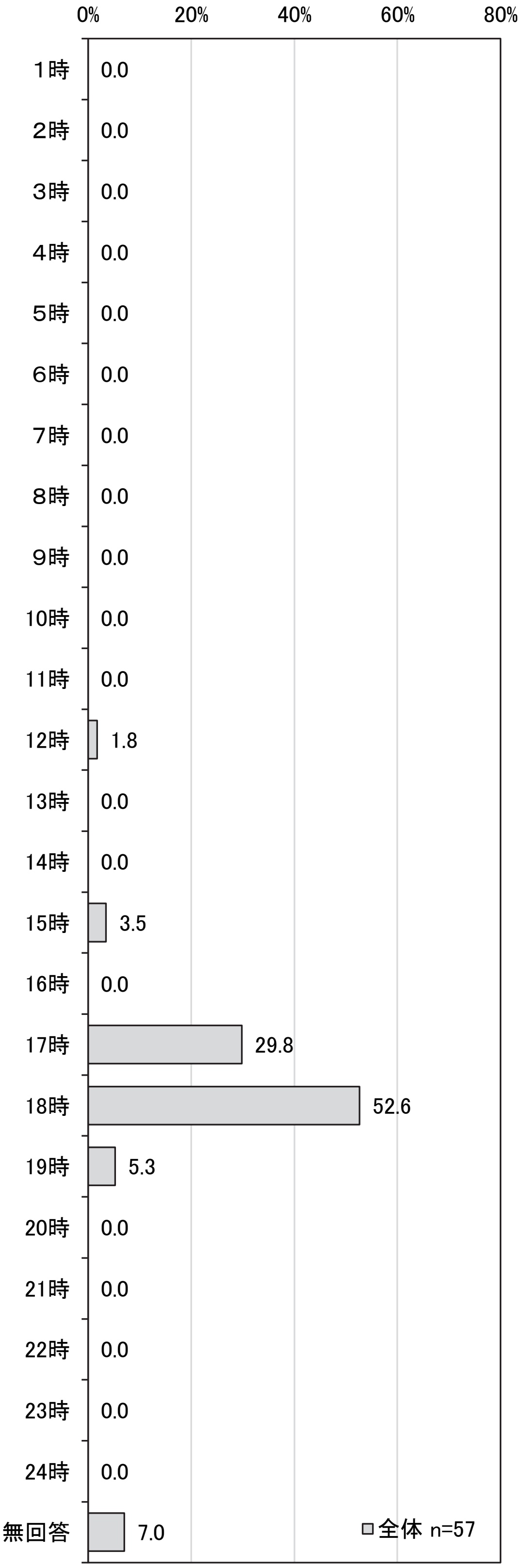
【何年生まで利用したいか】



【長期休暇期間中の希望利用開始時刻】



【長期休暇期間中の希望利用終了時刻】



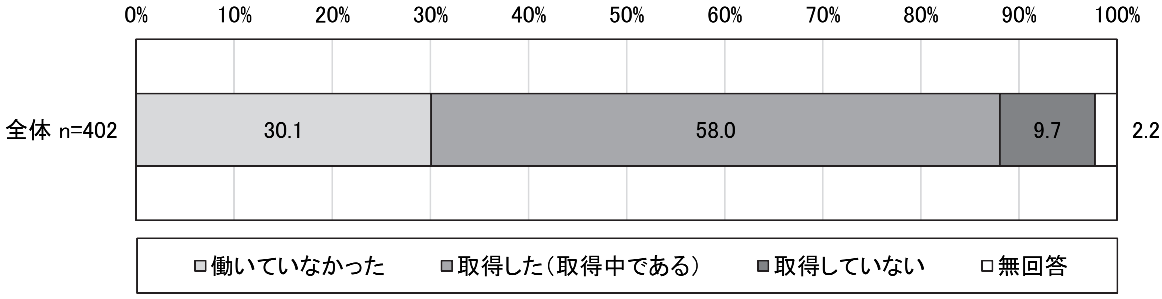
11．育児休業や短時間勤務など職場の両立支援制度について

問 30　あて名のお子さんが生まれた時、父・母のいずれか、または双方が「育児休業」を取得しましたか。母親・父親それぞれについて、あてはまる番号に１つ、○をつけてください。また、取得していない場合は、その理由にあたる番号すべてに、○をつけてください。

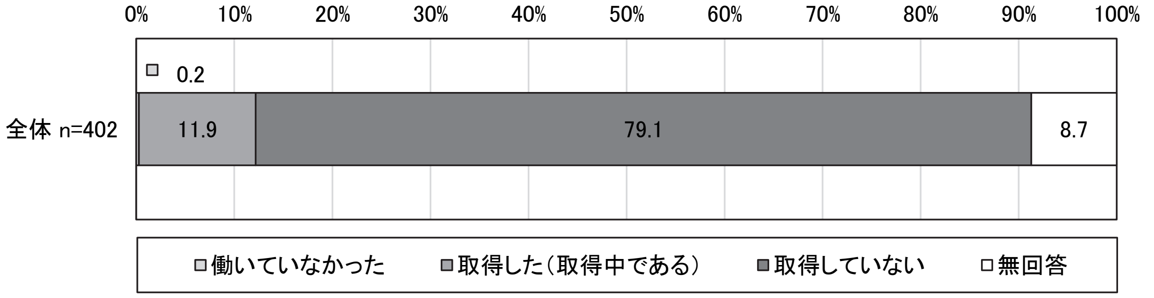
お子さんが生まれた時の育児休業の取得状況については、母親では「取得した（取得中である）」が 58.0％で最も高く、次いで「働いていなかった」が 30.1％、「取得していない」が 9.7％となっています。父親では「取得していない」が 79.1％で最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が 11.9％、「働いていなかった」が 0.2％となっています。

育児休業を取得しない理由については、母親では「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 33.3％で最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が 28.2％、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」がともに 12.8％となっています。父親では「仕事が忙しかった」が 35.5％で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 33.6％、「配偶者が育児休業制度を利用した」が 31.8％となっています。

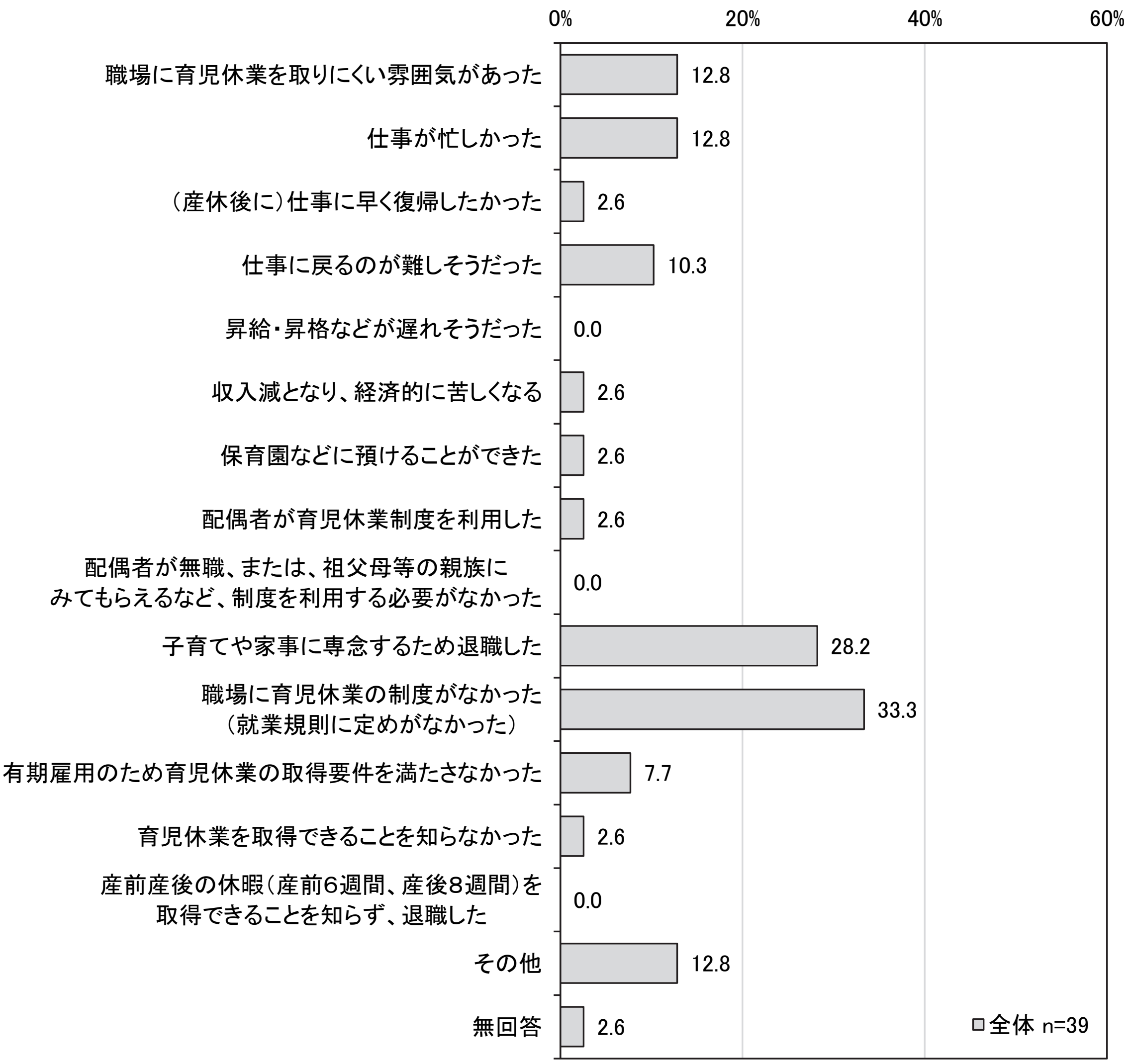
【母親の育児休業の取得状況】



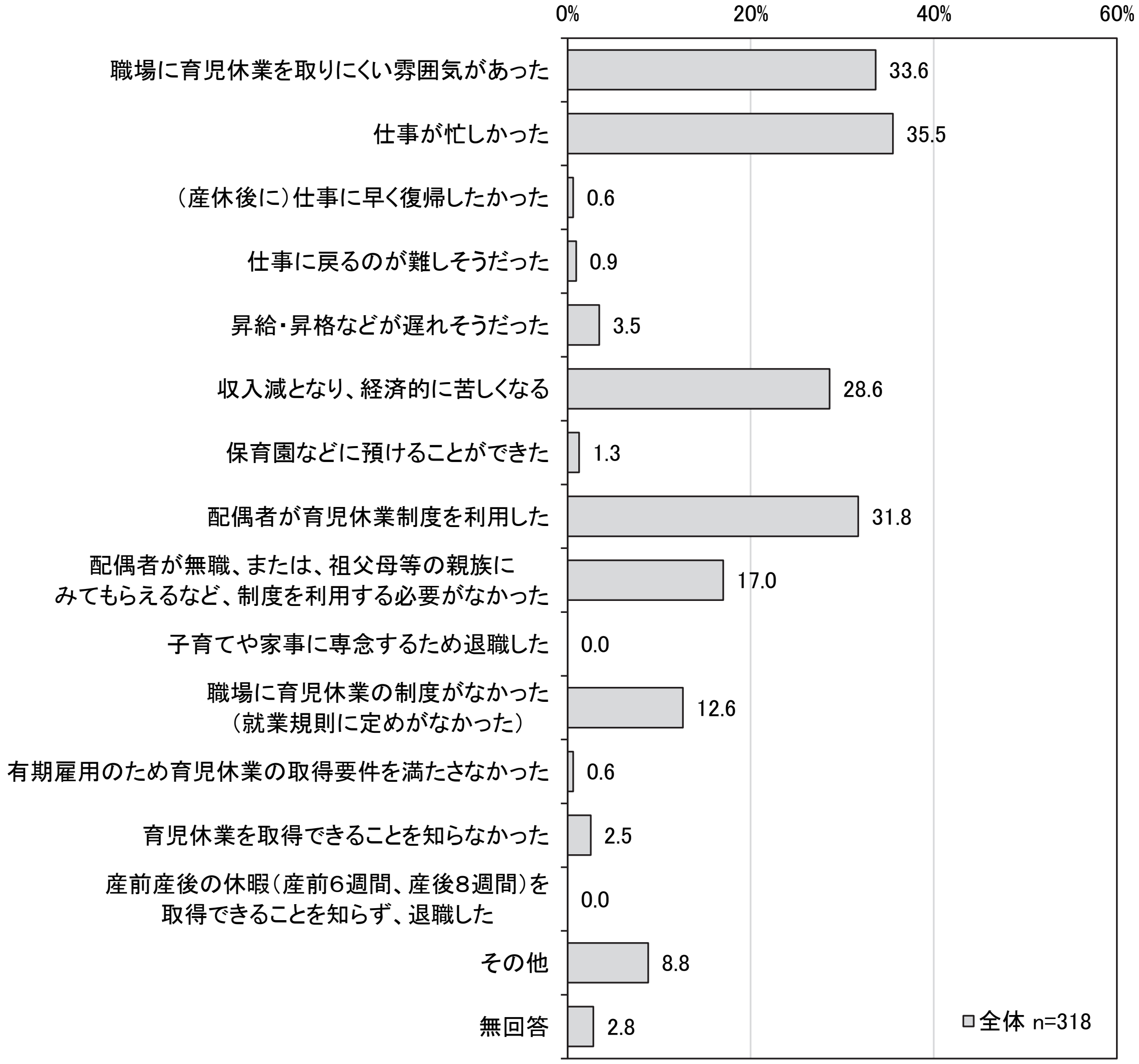
【父親の育児休業の取得状況】



【母親の育児休業を取得しない理由】

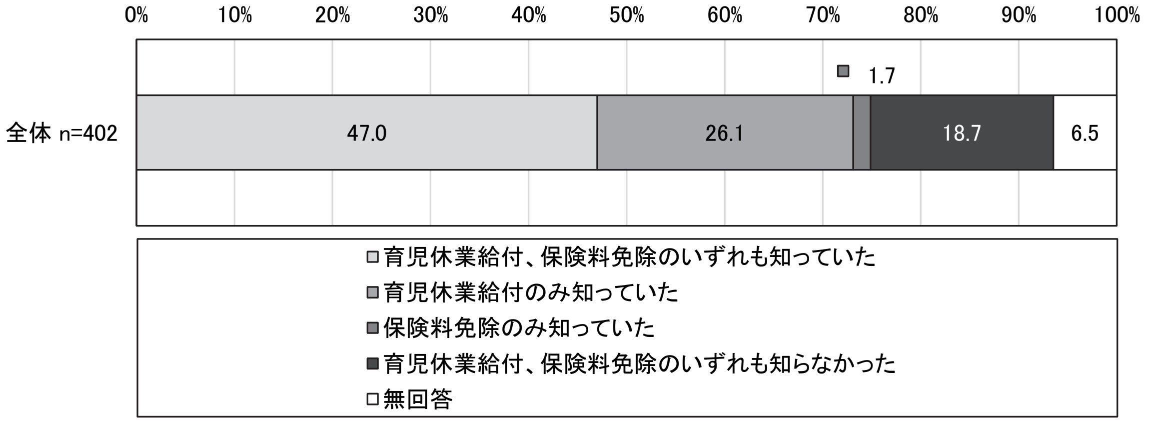


【父親の育児休業を取得しない理由】



問 30-１　子どもが原則１歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は２歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間に健康保険および厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みについて、ご存じですか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

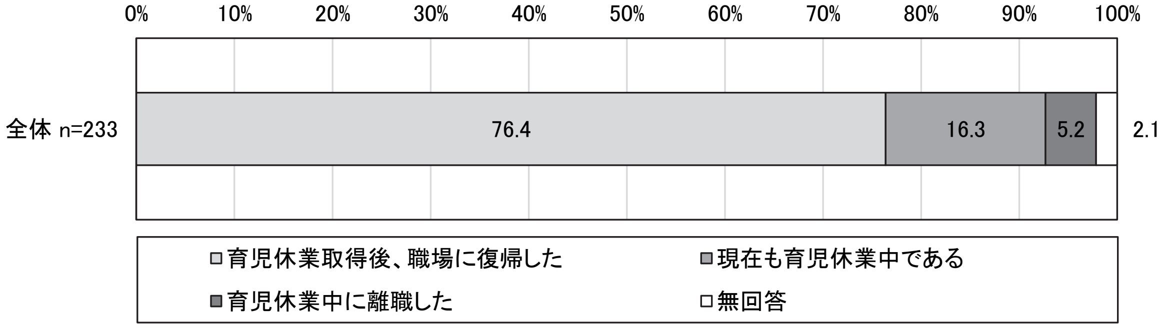
育児休業給付や保険料免除の仕組みを知っているかについては、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 47.0％で最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が 26.1％、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 18.7％となっています。



問 30 で、「2．取得した（取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-２　育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。
（１）母親

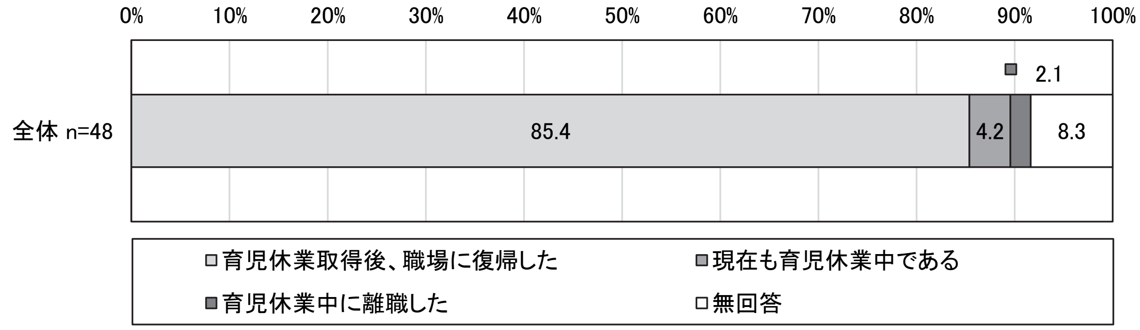
母親が育児休業取得後、職場に復帰したかについては、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 76.4％で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が 16.3％、「育児休業中に離職した」が 5.2％となっています。



問30で、「2．取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

問30-2　育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。
（2）父親

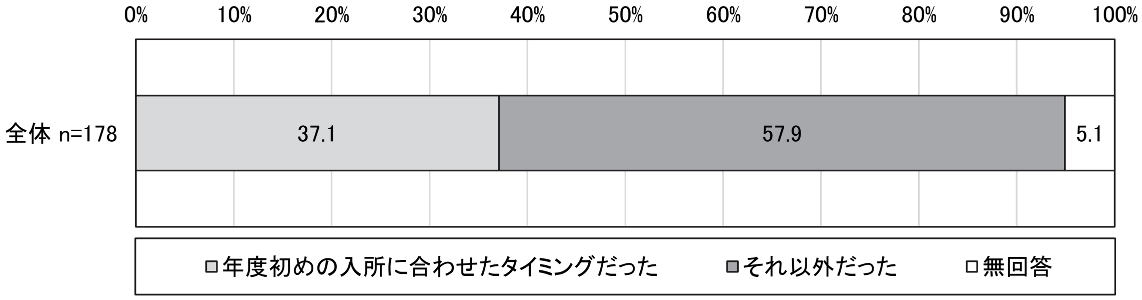
父親が育児休業取得後、職場に復帰したかについては、「育児休業取得後、職場に復帰した」が85.4％で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が4.2%、「育児休業中に離職した」が2.1％となっています。



問30-2で「1．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問30-3　育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングでしたか。あるいは、それ以外でしたか。どちらか１つに、○をつけてください。
（1）母親

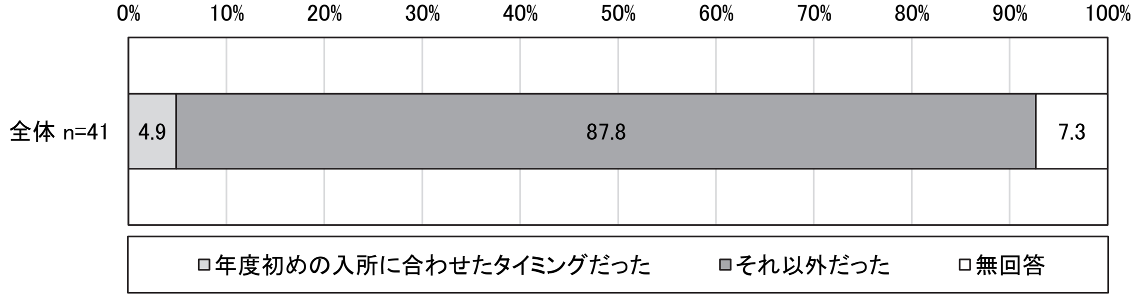
母親が育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングだったかについては、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が37.1%、「それ以外だった」が57.9%となっています。



問 30-２で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-３　育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングでしたか。あるいは、それ以外でしたか。どちらか１つに、○をつけてください。
（２）父親

父親が育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングだったかについては、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 4.9%、「それ以外だった」が 87.8%となっています。

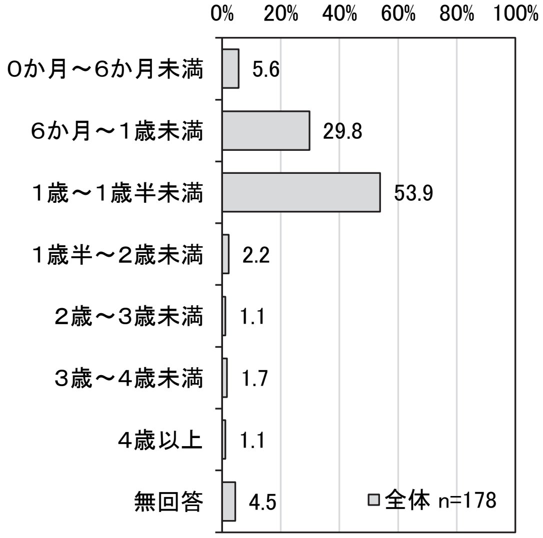


問 30-２で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

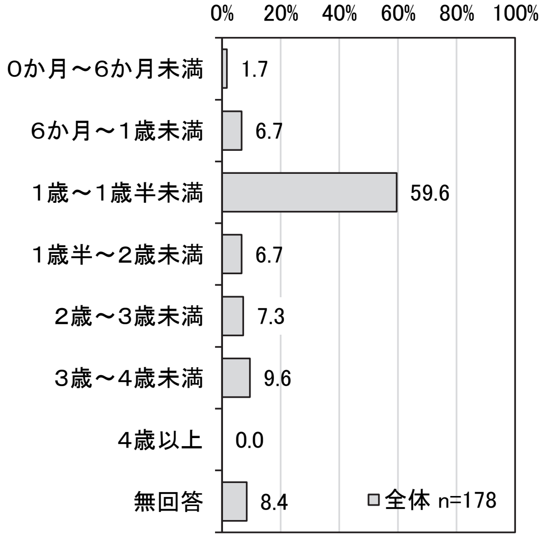
問 30-４　育児休業からの職場復帰は、「実際」にお子さんが何歳何か月のときでしたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月まで取得したかったですか。（□内に数字でご記入ください。数字は１枠に１字。）
（１）母親

母親の職場復帰時期については、実際では「１歳～１歳半未満」が 53.9%で最も高く、次いで「６か月～１歳未満」が 29.8%、「0か月～６か月未満」が 5.6%となっています。希望では「１歳～１歳半未満」が 59.6%で最も高く、次いで「３歳～４歳未満」が 9.6%、「２歳～３歳未満」が 7.3%となっています。

【実際の職場復帰時期】



【希望の職場復帰時期】

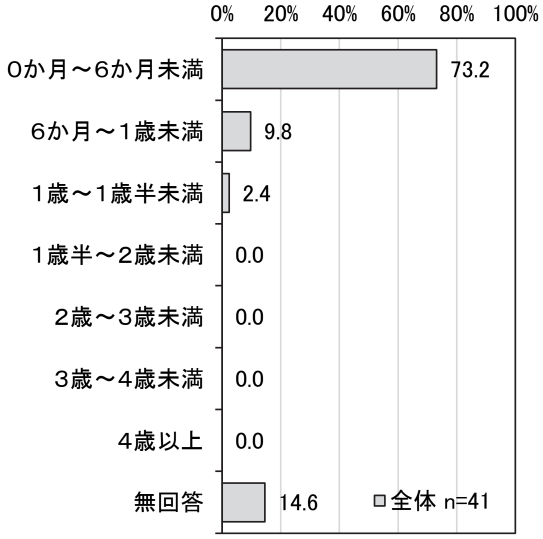


問 30-２で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

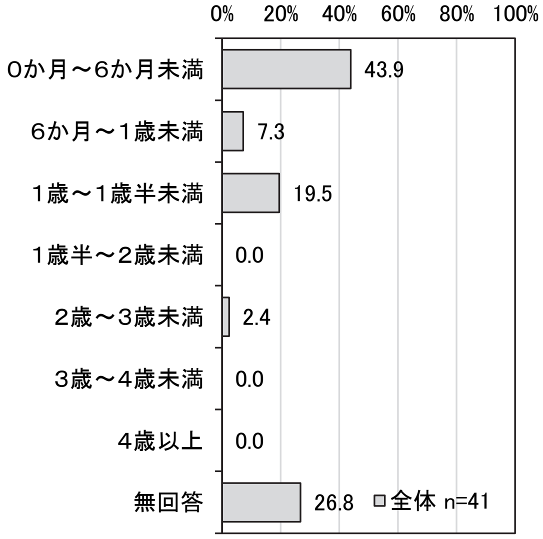
問 30-４　育児休業からの職場復帰は、「実際」にお子さんが何歳何か月のときでしたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月まで取得したかったですか。（□内に数字でご記入ください。数字は１枠に１字。）
（２）父親

父親の職場復帰時期については、実際では「０か月～６か月未満」が 73.2％で最も高く、次いで「６か月～１歳未満」が 9.8％、「１歳～１歳半未満」が 2.4％となっています。希望では「０か月～６か月未満」が 43.9％で最も高く、次いで「１歳～１歳半未満」が 19.5％、「６か月～１歳未満」が 7.3％となっています。

【実際の職場復帰時期】



【希望の職場復帰時期】



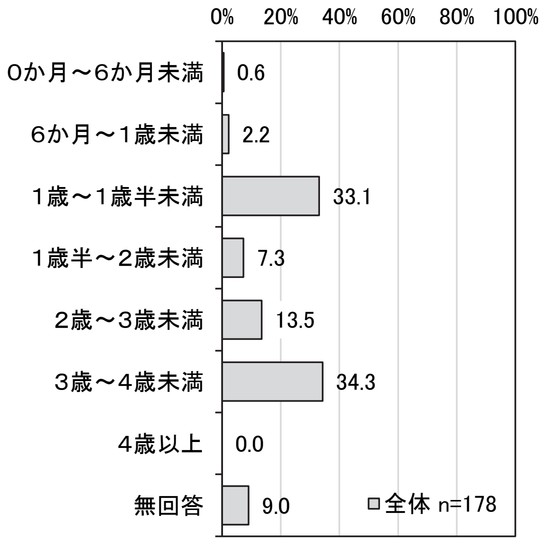
問30-２で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問30-５　お勤め先に、「育児のため３歳まで休暇を取得できる制度」があったと仮定した場合に、希望として、お子さんが何歳何か月のときまで取得したかったですか。（□内に数字でご記入ください。数字は１枠に１字。）
（１）母親　（２）父親

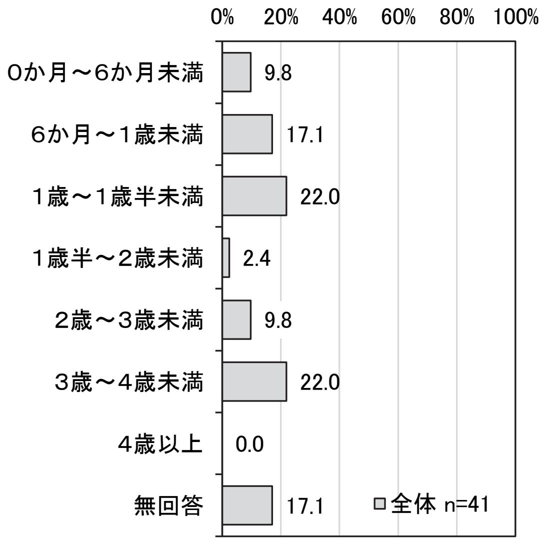
お勤め先に、「育児のため３歳まで休暇を取得できる制度」があったと仮定した場合に、希望として、お子さんが何歳何か月のときまで取得したかったかについては、母親では「３歳～４歳未満」が34.3％で最も高く、次いで「１歳～１歳半未満」が33.1％となっています。父親では「１歳～１歳半未満」「３歳～４歳未満」がともに22.0％で最も高く、次いで「６か月～１歳未満」が17.1％となっています。

【希望の復帰時期】

（１）母親



（２）父親

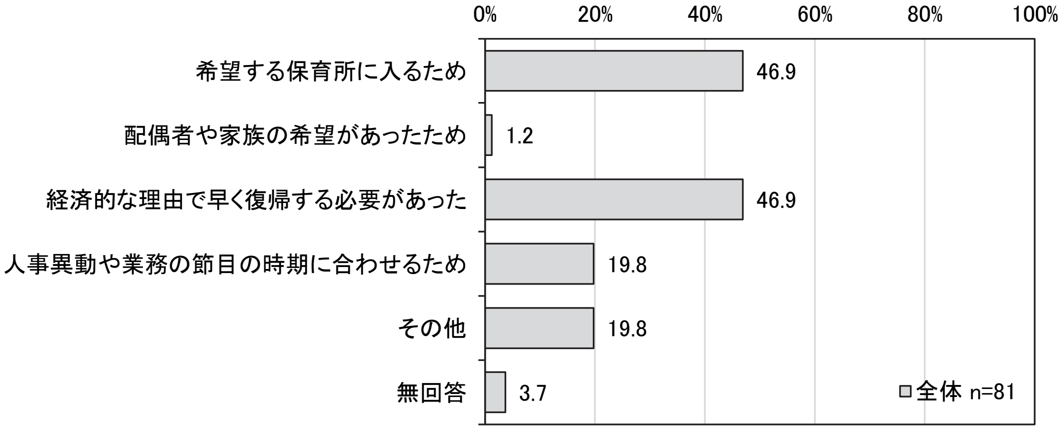


問 30-４で、「実際の復帰」と「希望」が異なる方にうかがいます。

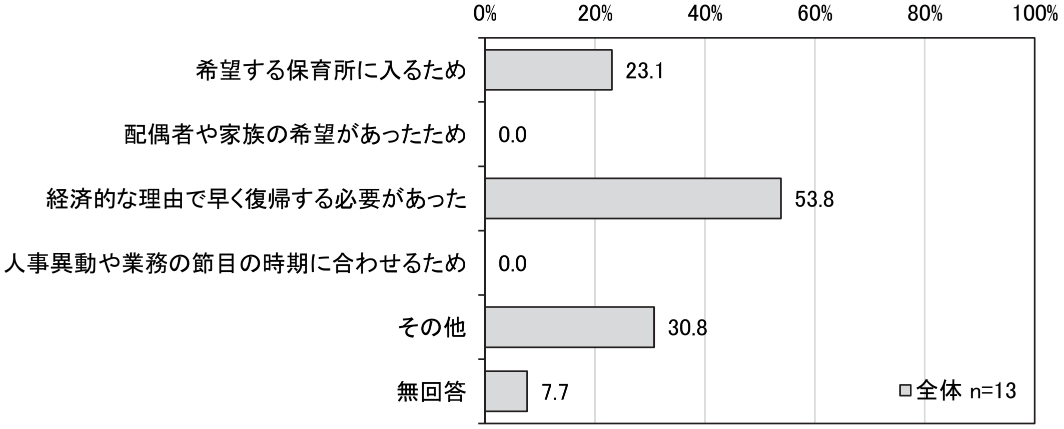
問 30-6　希望される時期に職場復帰しなかった理由について、次の（1）早く復帰または（2）遅く復帰のどちらかにお答えください。
（1）早く復帰

希望時期より早く復帰した理由については、母親では「希望する保育所に入るため」「経済的な理由で早く復帰する必要があった」がともに 46.9%で最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 19.8%、「配偶者や家族の希望があったため」が 1.2%となっています。父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 53.8%で最も高く、次いで「希望する保育所に入るため」が 23.1%となっています。

【母親の希望時期より早く復帰した理由】



【父親の希望時期より早く復帰した理由】

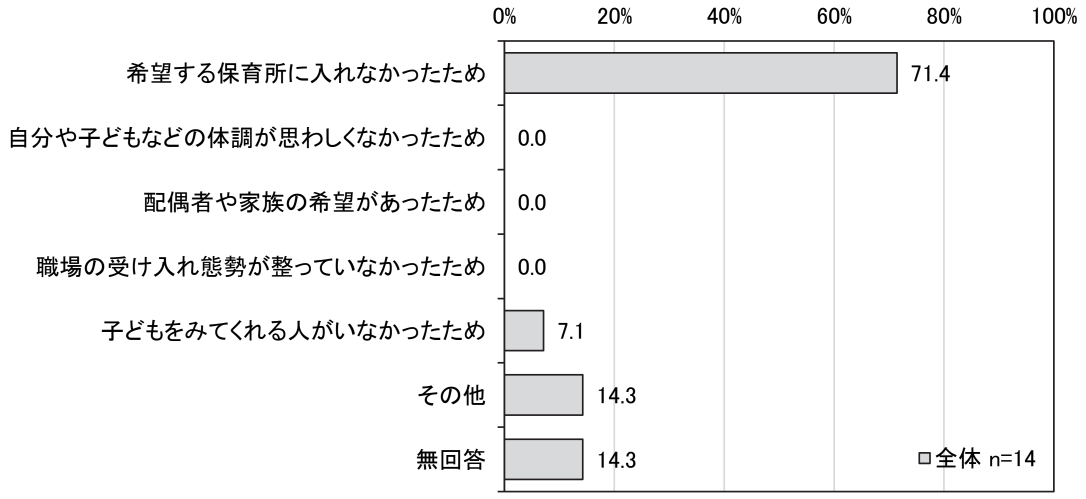


問 30-4で、「実際の復帰」と「希望」が異なる方にうかがいます。

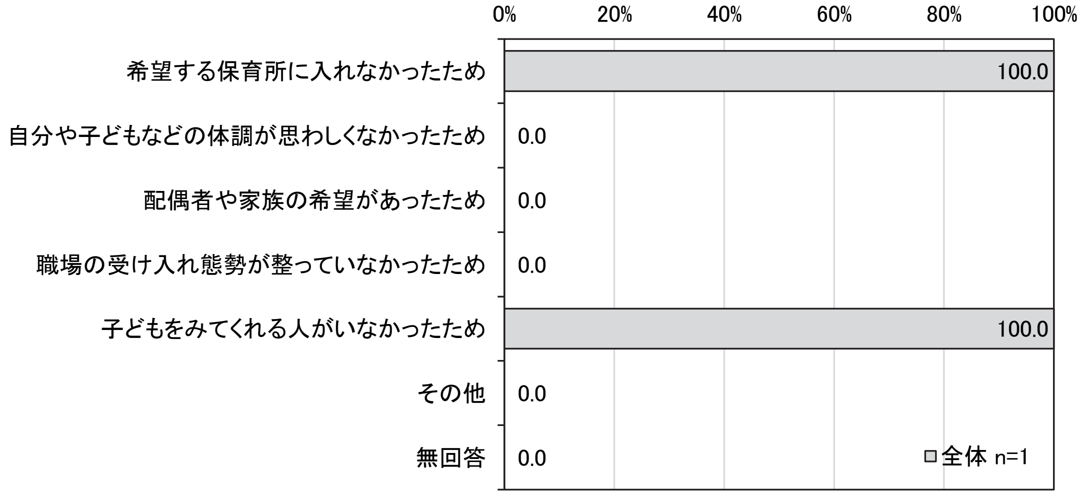
問 30-6　希望される時期に職場復帰しなかった理由について、次の（1）早く復帰または（2）遅く復帰のどちらかにお答えください。
（2）遅く復帰

希望時期より遅く復帰した理由については、母親では「希望する保育所に入れなかったため」が 71.4%で最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 7.1%となっています。父親では「希望する保育所に入れなかったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」がともに 100.0%となっています。

【母親の希望時期より遅く復帰した理由】



【父親の希望時期より遅く復帰した理由】

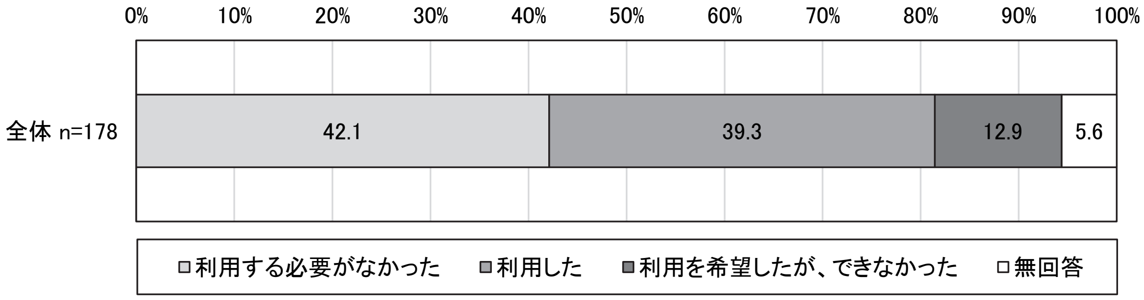


問 30-２で、「１．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

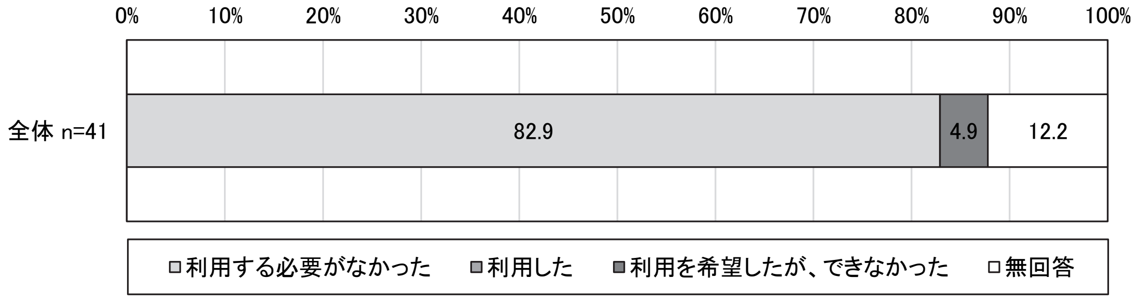
問 30-７　育児休業からの職場復帰の際は、育児短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。
（１）母親　（２）父親

育児休業からの職場復帰の際は、育児短時間勤務制度を利用したかについては、母親では「利用する必要がなかった」が 42.1％で最も高く、次いで「利用した」が 39.3%、「利用を希望したが、できなかった」が 12.9%となっています。父親では「利用する必要がなかった」が 82.9%で最も高く、次いで「利用を希望したが、できなかった」が 4.9%となっています。

【母親の育児短時間勤務制度の利用状況】



【父親の育児短時間勤務制度の利用状況】

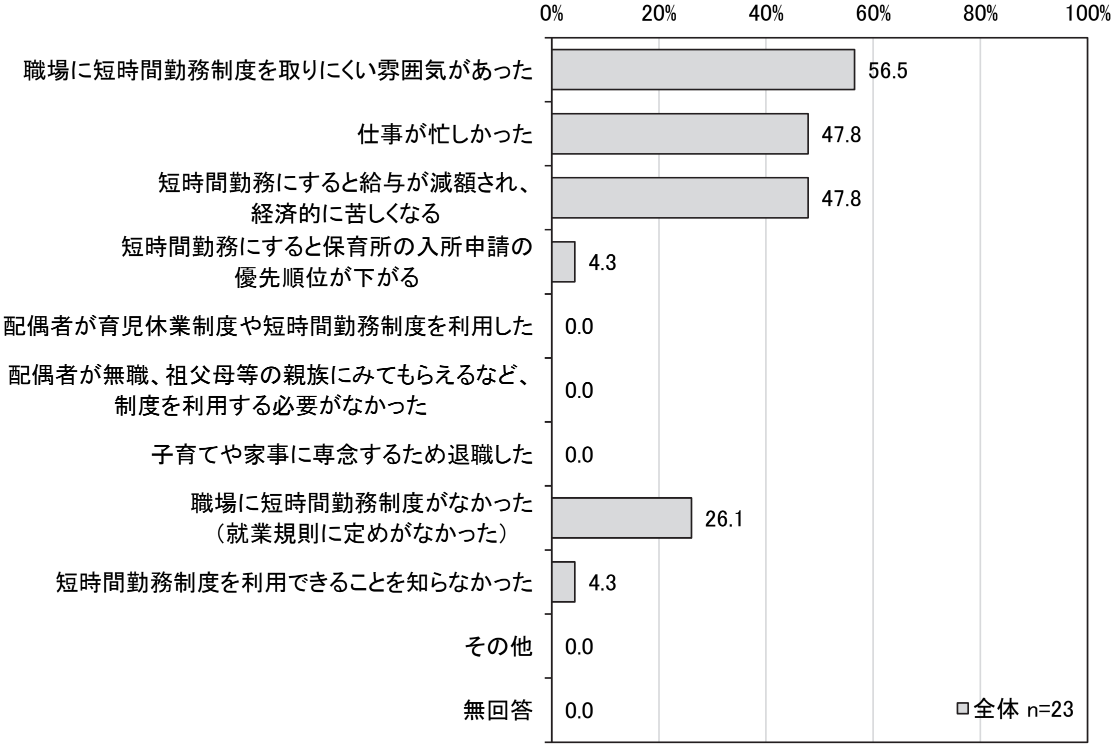


問 30-7で、「3．利用を希望したが、できなかった」に○をつけた方にうかがいます。

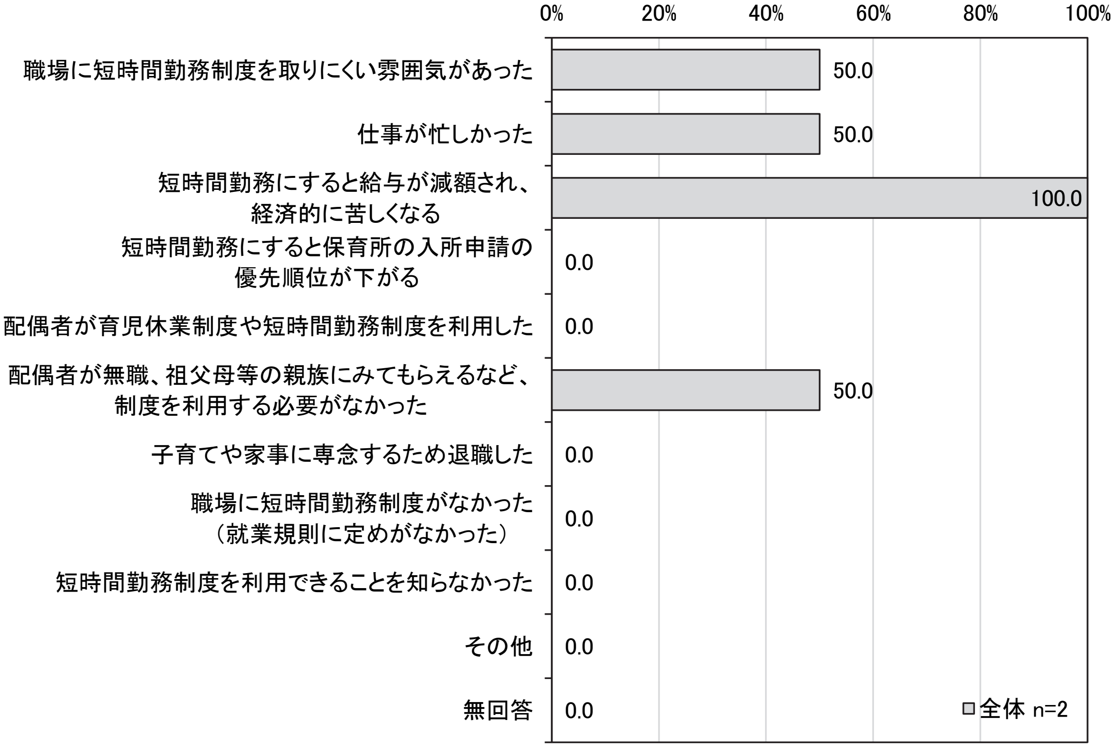
問 30-8　利用できなかった理由は何ですか。あてはまる理由すべてに、○をつけてください。
【複数選択可】
（1）母親　（2）父親

利用できなかった理由については、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 56.5％で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 47.8％、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 26.1％となっています。父親では「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 100.0％で最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」がいずれも 50.0％となっています。

【母親の利用できなかった理由】



【父親の利用できなかった理由】

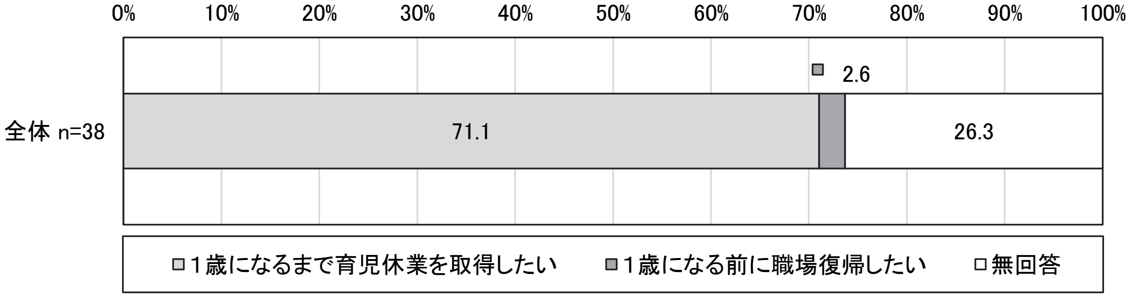


問 30-２で、「２．現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

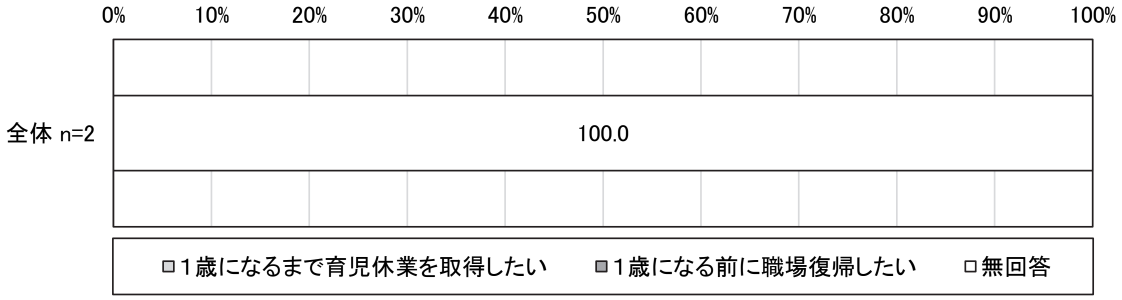
問 30-９　あて名のお子さんが１歳になったときに必ず利用できる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。
（１）母親　（２）父親

お子さんが１歳になったときに必ず利用できる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得するかについては、母親では「１歳になるまで育児休業を取得したい」が 71.1％で最も高く、次いで「１歳になる前に職場復帰したい」が 2.6％となっています。父親では該当２名いずれも無回答となっています。

【（母親）１歳になるまで育児休業を取得したいか】

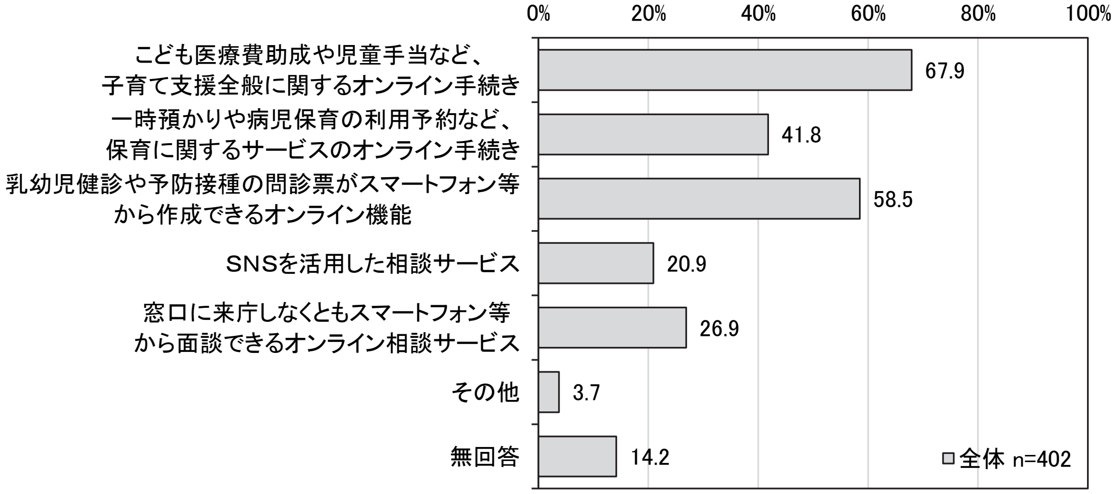


【（父親）１歳になるまで育児休業を取得したいか】



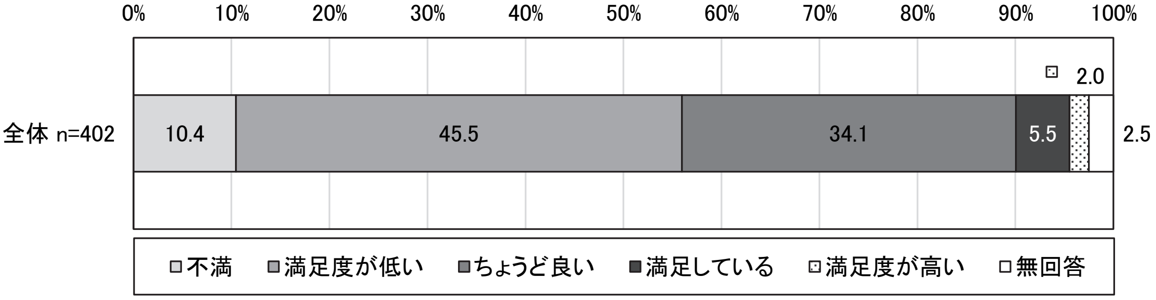
問３１　情報通信技術（オンラインによる申請や面談できる機能等）やＡＩ（人工知能）を用いた子育て支援について、どのようなサービスがあったら利用したいですか。利用したいと思う番号すべてに、○をつけてください。

情報通信技術（オンラインによる申請や面談できる機能等）やＡＩ（人工知能）を用いた子育て支援について、どのようなサービスがあったら利用したいかについては、「こども医療費助成や児童手当など、子育て支援全般に関するオンライン手続き」が 67.9％で最も高く、次いで「乳幼児健診や予防接種の問診票がスマートフォン等から作成できるオンライン機能」が 58.5％、「一時預かりや病児保育の利用予約など、保育に関するサービスのオンライン手続き」が 41.8％となっています。



問 32　那須烏山市の子育て環境や支援の満足度について、あてはまる番号１つに、○をつけてください。

那須烏山市の子育て環境や支援の満足度については、「満足度が低い」が 45.5%で最も高く、次いで「ちょうど良い」が 34.1%、「不満」が 10.4%となっています。



問 33　問 32 と回答した理由について具体的なことがありましたら、ご記入ください。

全部で 190 件の回答があり、内訳は以下の通りとなっています。ひとりの対象者が複数の項目に関して言及している場合もありますが、ここでは主な意見１つとして分類しています。

分類項目	件数
1．公園・遊び場について	73 件
2．経済的支援について	29 件
3．保健・医療について	13 件
4．市政について	13 件
5．子育て支援全般について	12 件
6．こども館について	10 件
7．保育所（園）・幼稚園・認定こども園について	６件
8．イベント・交流について	５件
9．商業施設について	５件
10．道路・交通・公共施設の整備について	４件
11．就労について	３件
12．放課後児童クラブ（学童保育）について	２件
13．病児・病後児保育について	２件
14．相談について	２件
15．障がい児支援・発達支援について	２件
16．その他	４件
17．特になし	５件

【問 32 で「不満」「満足度が低い」と回答した方】

分類項目	件数
1．公園・遊び場について	62 件
2．経済的支援について	26 件
3．保健・医療について	8 件
4．市政について	10 件
5．子育て支援全般について	9 件
6．こども館について	5 件
7．保育所（園）・幼稚園・認定こども園について	3 件
8．イベント・交流について	5 件
9．商業施設について	5 件
10．道路・交通・公共施設の整備について	2 件
11．就労について	2 件
12．放課後児童クラブ（学童保育）について	1 件
13．病児・病後児保育について	1 件
14．相談について	2 件
15．障がい児支援・発達支援について	1 件
16．その他	2 件
17．特になし	0 件

【問 32 で「満足している」「満足度が高い」と回答した方】

分類項目	件数
1．公園・遊び場について	2 件
2．経済的支援について	0 件
3．保健・医療について	1 件
4．市政について	2 件
5．子育て支援全般について	1 件
6．こども館について	1 件
7．保育所（園）・幼稚園・認定こども園について	0 件
8．イベント・交流について	0 件
9．商業施設について	0 件
10．道路・交通・公共施設の整備について	0 件
11．就労について	0 件
12．放課後児童クラブ（学童保育）について	0 件
13．病児・病後児保育について	0 件
14．相談について	0 件
15．障がい児支援・発達支援について	0 件
16．その他	1 件
17．特になし	0 件

Ⅲ　資料編（使用した調査票）

Ⅲ　資料編（使用した調査票）

お住いの地域についてうかがいます。

問１　お住まいの地区について、下表の区域を参考に、あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

番号	〔参照〕 自治会等の区域
１．荒　川	田野倉　小倉　宇井　大金　東原　小河原　高瀬　大里　小塙 森田宿　輪之内　曲田　曲畑　ハヶ代　福岡　こぶし台　芦生沢 鴻野山　小白井　西野　南大和久
２．下江川	熊田　月次　大金台　藤田　三箇　上川井　下川井　志鳥
３．烏　山	元田町　仲町　屋敷　城東　泉町　日野町　鍛冶町　あたご　金井 南　金三　高峰ﾊﾟｰｸﾀｳﾝ　（中央　旭　初音）
４．向　田	神長　滝　野上　向田　落合
５．　境	宮原　大沢　上境　下境　小原沢　横枕　小木須　大木須
６．七　合	興野　滝田　中山　谷浅見　ハヶ平　大桶　平野　白久

封筒のあて名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問２　あて名のお子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字）

（西暦）20□□年□□月生まれ

問３　あて名のお子さんは何人きょうだいですか。あて名のお子さんを含めた人数を、□内に数字でご記入ください。（2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。）

きょうだいの数□人 ／ 末子の生年月 20□□年□□月生まれ

問４　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係でお答えください。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

１．母親　２．父親　３．祖父母　４．その他（　　　）

問５　この調査票にご回答いただいている方に、配偶者（夫または妻）はいらっしゃいますか。
「１」または「２」のどちらかに、○をつけてください。

１．配偶者がいる　２．配偶者はいない

問６　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
お子さんから見た関係で、あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

１．父母ともに　２．主に母親　３．主に父親　４．主に祖父母
５．その他（　　　）

1

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問７　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方（施設）はどなたですか。
お子さんからみた関係で、あてはまる番号すべてに、○をつけてください。【複数選択 可】

１．父母ともに　２．母親　３．父親　４．祖父母　５．幼稚園
６．保育所　７．認定こども園　８．その他（　　　）

問８　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、強く影響すると思われる環境すべてに、
○をつけてください。【複数選択 可】

１．家庭　２．地域　３．幼稚園　４．保育所　５．認定こども園
６．その他（　　　）

問９　日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。あてはまる番号すべてに、
○をつけてください。【複数選択 可】

１．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
２．緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
⇒ 問9-1へ
３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
４．緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
⇒ 問9-2へ
５．いずれもいない　⇒ 問10へ（3ページへ）

問9-1　問９で、「１．」または「２．」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族に、お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。
【複数選択 可】

１．祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
２．祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
３．祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
４．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
５．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境ではあるか、少し不安がある
６．その他（　　　）

⇒ 問10へ（3ページへ）

問9-2　問９で、「３．」または「４．」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。
【複数選択 可】

１．友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
２．友人・知人の身体的負担が大きく心配である
３．友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
４．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい。
５．子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある。
６．その他（　　　）

⇒ 問10へ（3ページへ）

2

問10　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所はありますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

１．いる／ある　⇒　問10-1へ　　２．いない／ない　⇒　問11へ

問10-1　問10で、「１.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
あてはまる番号すべてに、○をつけてください。【複数選択　可】

１．祖父母等の親族
２．友人や知人
３．近所の人
４．子育て支援施設（こども館等）・NPO
５．栃木県の健康福祉センター
６．保育士
７．幼稚園教諭
８．民生委員・児童委員
９．かかりつけの医師
１０．市役所のこそだて関連窓口（こども課・教育委員会 等）
１１．その他（　　　　　　　　　　　　）

問11　子育てをする中で、いまの暮らしの状況をどのように感じていますか。
あてはまる番号１つに、○をつけてください。

１．ゆとりを感じる
２．ゆとりは感じないが、苦しくも感じない
３．やや苦しい
（普段の生活費から、子どもの教育資金や貯蓄を準備することが難しい状況にある場合など）
４．大変苦しい
（普段の食費を用意するのが苦しい、光熱水費の未払いがある、子どもの生活用品や園で使う日用品を用意できない 等の状況にある場合など）

問11-1　現在の暮らしの状況や仕事上を踏まえた場合、ご家庭で望む子どもの人数は何人でしょうか。
あなたが考える人数に ○をつけてください。

望む子どもの数　１人　２人　３人　４人　５人　それ以上⇒□人

問11-2　暮らしの状況や仕事上の制約がないと考えた場合、理想の子どもの人数は何人でしょうか。
あなたが考える人数に ○をつけてください。

理想の子どもの数　１人　２人　３人　４人　５人　それ以上⇒□人

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問12　あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）をうかがいます。

（１）母親　あてはまる番号に１つ、○をつけてください。　【父子家庭の場合は記入せず、(2)へ】

１．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
２．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
３．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
４．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
（１～４）⇒（1）-1へ
５．以前は就労していたが、現在は就労していない
６．これまで就労したことがない
（５～６）⇒（2）へ

（１）-1　上記(1)で「１．２．３．４．」に○をつけた方にうかがいます。
週あたりの「就労日数」、１日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。
（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。）

１週あたり□日程度　　１日あたり□□時間程度

※ □内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。

（１）-2　上記(1)で「１．２．３．４．」に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻 と 帰宅時刻 をお答えください。
時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。
（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。）

家を出る時刻□□時頃　　帰宅する時刻□□時頃

※ □内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字で、08時や18時のように、24時間制で記入。

（２）父親　あてはまる番号に１つ、○を付けてください。　【母子家庭の場合は記入せず、問13へ】

１．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
２．フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
３．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
４．パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
（１～４）⇒（2）-1へ（5ページへ）
５．以前は就労していたが、現在は就労していない
６．これまで就労したことがない
（５～６）⇒ 問14へ

（２）-1　（２）で「１．２．３．４．」に○をつけた方にうかがいます。
１週あたりの「就労日数」、１日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。
（育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください）

１週あたり□日程度　　１日あたり□□時間程度

※ □内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。

（２）-2　（２）で「１．２．３．４．」に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻 と 帰宅時刻 をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。（育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください）

家を出る時刻□□時頃　　帰宅する時刻□□時頃

※ □内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字で、08時や18時のように、24時間制で記入。

問13　問12（１）母親 または（２）父親 で、「３．４．パート・アルバイト等で就労」に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。
【該当しない方は記入せず、問14へ】

（１）**母親**
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）をやめて子育てや家事に専念したい

（２）**父親**
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問14　問12（１）母親 または（２）父親 で、「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
就労したい希望はありますか。あてはまる番号に１つ、○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。（数字は1枠に1字）　【該当しない方は記入せず、問15へ（6ページへ）】

（１）**母親**
1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい
3. すぐにでも就労したい

希望する就労形態 ⇒（2.または3.の場合）
① フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）
② パートタイム、アルバイト等　（①以外の就労）
↳ 1週日あたり□日　　1日あたり□時

（２）**父親**
1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい
3. すぐにでも就労したい

希望する就労形態 ⇒（2.または3.の場合）
① フルタイム（1週5日・1日8時間程度の就労）
② パートタイム、アルバイト等　（①以外の就労）
↳ 1週日あたり□日　　1日あたり□時

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1（下表）に示した事業が含まれます。

問15　あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

1. 利用している　⇒　問15-1へ　　2. 利用していない　⇒　問15-5へ（7ページへ）

次の 問15-1 ～ 問15-4 は、上記 問15で「１.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問15-1　あて名のお子さんは、“平日”どのような「教育・保育の事業」を利用していますか。
年間を通じて「定期的に」利用しているものを選び順にその番号を記入してください。（３つまで）

第１	第２	第３

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. その他 [　　　　　　　]

〈ファミリー・サポート・センターとは〉
「子育て支援を行うことができる方」と「子どもの預かり支援などを受けることを希望する方」が会員に登録して、会員相互がマッチングにより育児支援活動を有料で行う事業です。お子さんの預かりや送迎など、保護者の方がお困りのときに、地域の方々が子育てをサポートする仕組みになっています。

問15-2　平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。１週あたり何日、１日あたり何時間か（何時から何時まで）を、具体的に記入してください。
※ □内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字で、08時や18時のように、24時間制で記入。

（１）現在

１週あたり□日　１日あたり□□時間　（□□時から　□□時まで）

（２）希望

１週あたり□日　１日あたり□□時間　（□□時から　□□時まで）

問15-3　現在利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
「１．」または「２．」のどちらかに、○をつけてください。

１．那須烏山市内　　２．他の市区町村

問15-4　平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由について、あてはまる番号１つに、○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が、現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が、就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が、家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が、病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が、学生である
7. その他（　　　　　　　　　　）

問15-5　問15で、「２.利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
利用していない理由として、もっともあてはまる番号１つに、○をつけてください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（　　　　　　　　　　）

すべての方にうかがいます。

問16　現在「利用している」「利用していない」にかかわらず、あて名のお子さんの“平日”の「教育・保育の事業」として、定期的に利用したいと考える事業をお答えください。

あてはまる番号を記入してください。（第３希望まで可）		
第１希望	第２希望	第３希望

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. 認可外保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. その他［　　　　　　　　　　］

（これらの事業の利用は、一定の利用者負担が発生するものがございます。）

問16-1　教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。
「１．」または「２．」に、○をつけてください。

１．那須烏山市内　　２．他の市区町村

問16-2　問16で、「１.幼稚園」または「２.幼稚園の預かり保育」を選び、合わせて、「３．～１２．」も選んだ方にうかがいます。〔該当しない方は、問17へ〕
幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

１．はい　　２．いいえ

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 17　あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、那須烏山市ではこども館や子育て支援センターきらきらが該当）を利用していますか。
次の中から、利用されているものの番号すべてに、○をつけてください。
また、おおよその利用回数(頻度)を、□内に数字でご記入ください。　（数字は１枠に１字）

1．地域子育て支援拠点事業　１週あたり□回　もしくは　１か月あたり□回程度
2．その他の那須烏山市内で実施される類似の事業　（具体名：　　　　）
　　１週あたり□回　もしくは　１か月あたり□回程度
3．利用していない

問18　問17のような地域子育て支援拠点事業について、「今は利用していないが、できれば今後利用したい」、あるいは、「利用日数を増やしたい」と思いますか。あてはまる番号に１つ、○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を、□ 内に数字でご記入ください。　（数字は1枠に1字）

1．今は利用していないが、今後利用したい
　　１週あたり□回　もしくは　１か月あたり□回程度
2．すでに利用していて、今後もっと利用日数を増やしたい
　　１週あたり□回　もしくは　１か月あたり□回程度
3．すでに利用しているが、利用日数を増やす予定はない
4．利用したいとは思わない　〈具体的な理由がありましたら、以下にご記入ください〉
（　　　　　　　　　　）

問 19　下記の事業で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものについて、①～⑦の事業ごとＡ～Ｃの選択肢ごとに、「はい」・「いいえ」に、○をつけてください。
（事業によっては、那須烏山市で実施していないものがあります。）

	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
①母親・父親学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②県の福祉センターの情報・相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談窓口	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥那須烏山市こども家庭センター窓口（市こども課）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦行政機関の子育て情報配信ｻｰﾋﾞｽ（なすから♡ファミて by 母子モ）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

9

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 20　あて名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望（一時的な利用は除く）はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。
（これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。）

※「教育・保育事業」とは、幼稚園・認定こども園・保育所・認可外保育施設などの事業を指します。
※ 親族・知人による預かりは含みません。
※ □内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字で、08時や18時のように、24時間制で記入。

（１）土曜日
1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に１～２回は利用したい
⇨ 利用したい時間帯　□□時から　□□時まで

（２）日曜・祝日
1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に１～２回は利用したい
⇨ 利用したい時間帯　□□時から　□□時まで

問20-1　問20（１）もしくは（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。
【複数選択　可】

1．月に数回仕事が入るため　2．平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3．親族の介護や手伝いが必要なため　4．息抜きのため
5．その他（　　　　）

問21　「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。　【それ以外の方は、問22へ（11ページへ）】
あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。　（これらの事業に利用には、一定の利用者負担が発生します。）

1．利用する必要はない
2．休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3．休みの期間中、週に数日利用したい
⇨ 利用したい時間帯　□□時から　□□時まで

※ □内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字で、08時や18時のように、24時間制で記入。

問21-1　問21で、「３．週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
週に数日利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

1．週に数回仕事が入るため　2．買い物等の用事をまとめて済ませるため
3．親等親族の介護や手伝いが必要なため　4．息抜きのため
5．その他（　　　　）

10

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で「1.」に○をつけた方）にうかがいます。
この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで日常的に利用されている事業が利用できなかったことはありますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。
【利用していない方は記入せず、問 23 にお進みください】

1．あった ⇒ 問 22-1 へ　　2．なかった ⇒ 問 23 へ（13 ページへ）

問22-1 あて名のお子さんが、病気やケガで教育・保育の事業が利用できなかったときに、この１年間で実際に行った対処方法として、あてはまる番号に○をつけ、その日数を□内に数字でご記入ください。

【複数選択 可】

１年間の対処方法	日数	
1. 父親が休んだ	□□日	⇒問 22-2 へ
2. 母親が休んだ	□□日	⇒問 22-2 へ
3. （同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった	□□日	⇒問 22-5 へ（12 ページへ）
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□日	
5. 病児・病後児の保育を利用した（保育園で実施しているサービスを含む）	□□日	
6. ベビーシッターを利用した	□□日	
7. ファミリー･サポート･センターを利用した	□□日	
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□日	
9. その他（　　　）	□□日	

問 22-2 問 22-1 で、「1．」「2．」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
あてはまる番号に１つ、○をつけ、日数を□内に数字でご記入ください。（数字は1枠に1字）

1．できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった ⇒□□日⇒ 問 22-3 へ
2．利用したいとは思わなかった ⇒ 問 22-4 へ

（病児・病後児のための保育施設等の利用は、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です。）

11

問 22-3 問 22-2 で、「1．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。病児または病後児保育を行う施設等にお子さんを預ける場合、望ましい事業形態として、次の中から１つに、○をつけてください。

1．他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する形
2．小児科に併設した施設で子どもを保育する形
3．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する形（例：ファミリー・サポート・センター等）
4．その他（　　　）

【記入後は、問 23 へ】

問 22-4 問 22-2 で、「2．利用したいと思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について、主なものを選び、順にその番号を記入してください。（3つまで）

1．病児の状態にある子を、他人に看てもらうのは不安
2．地域の事業の質に不安がある
3．地域の事業の利便性（施設の立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4．利用料がかかる・高い
5．利用の仕組み（利用方法・利用料など）が分からない
6．保護者が仕事を休んで対応するため必要ない
7．その他（　　　）

第１	第２	第３

【記入後は、問 23 へ】

問 22-5 問 22-1 で、「3．」～「9．」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
その際、「できれば仕事を休んで看たかった」と思われましたか。どちらか１つに○をつけ、仕事を休んで看たいを選んだ場合は、その日数を□内に数字でご記入ください
（数字は１枠に１字）

1．できれば仕事を休んで看たい ⇒ □□日 ⇒ 問 23 へ（13 ページへ）
2．休んで看ることは難しい ⇒ 問 22-6 へ

問 22-6 問 22-5 で、「2．休んで看ることは難しい」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について、あてはまる番号すべてに、○をつけてください。
【複数選択 可】

1．子どもの看護を理由に休みがとれない　　2．自営業なので休めない
3．休暇日数が足りないので休めない　　4．その他（　　　）

12

あて名のお子さんの不定期の教育･保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 23　あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気の際の対応以外に、私用・保護者の通院・就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。
ある場合は、あてはまる番号すべてに ○をつけ、１年間のおおよその利用日数を□内に数字でご記入ください。

【複数選択 可／数字は１枠に１字】

利用している事業・日数（年間）	
１．一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	□□日
２．幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ）	□□日
３．ファミリー･サポート･センター（地域住民が子どもを預かる事業）	□□日
４．夜間養護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日･夜間、子どもを保護する事業）	□□日
５．ベビーシッター	□□日
６．その他（　　　　　　）	□□日
７．利用していない　⇒ 問23-1へ	

１～６ ⇒ 問 24 へ（14ページへ）

問23-1　問23で、「7.利用していない.」に○をつけた方にうかがいます。
現在利用していない理由について、あてはまるものを選び、順にその番号を記入してください。
（３つまで）

１．利用する必要がない
２．利用したい事業が地域にない
３．地域の事業の質に不安がある
４．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
５．利用料がかかる・高い
６．利用料が分からない
７．自分が事業の対象者になるのかどうか分からない
８．利用方法(手続き等)が分からない
９．その事業を知らない
10．その他（　　　　　　）

第１	第２	第３

13

問 24　あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気の際の対応以外に、私用・保護者の通院・就労等の目的で問 23 の各事業を利用したい場合、年間で何日くらい必要だと思いますか。
これからの希望の有無を選び、利用したい場合の理由としてあてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数を□内に数字でご記入ください。　(数字は1枠に1字)

１．利用したい	①．私用（買物、子どもや親の習い事 等）、リフレッシュ目的	□□日
	②．冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 等	□□日
	③．不定期の就労	□□日
	④．その他（　　　　　　）	□□日
２．利用する必要はない 【 ⇒ 問25へ 】		

(事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります)

問 24-1　問 24 で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

１．大規模施設で子どもを保育する形 （例:幼稚園･保育所等）
２．小規模施設で子どもを保育する形 （例:地域子育て支援拠点等）
３．地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する形 （例:ファミリー･サポート･センター）
４．その他（　　　　　　）

問 25　保護者の用事等（冠婚葬祭、家族の病気、保護者の育児疲れや育児不安など）で、あて名のお子さんを泊りがけで年間で何日くらい家族以外に預ける必要があるかうかがいます。
短期入所生活援助事業（※）を「１.利用したい」または「２.利用する必要はない」 どちらかに○をつけてください。
また、「１.利用したい」場合は、その理由としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を□内に数字でご記入ください。

【１.を選択した場合　複数選択 可／数字は１枠に１字】

１．利用したい	ア．冠婚葬祭のため	□□泊
	イ．保護者や家族の育児疲れ・育児不安のため	□□泊
	ウ．保護者や家族の病気のため	□□泊
	エ．その他（　　　　　　）	□□泊
２．利用する必要はない　⇒ 問 26(15p)へ		

※短期入所生活援助事業とは
ショートステイといい、児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業です。
那須烏山市では、現在、桔梗寮・明和園・養徳園・済生会宇都宮乳児院を利用することができます。　(この事業を利用する場合は、一定の利用料がかかります。)

14

あて名のお子さんが年中児である方に、小学校入学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

【 ⇒ 年中児以外の方は記入せず、問 30 へ（17ページへ）】

問 26 あて名のお子さんについて、小学校１～３年生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに、〇をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を □内に数字でご記入ください。

１．自宅	週□日くらい
２．祖父母宅や友人・知人宅	週□日くらい
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週□日くらい
４．児童館	週□日くらい
５．放課後子ども教室　（注1）	週□日くらい
６．放課後児童クラブ〔学童保育〕（注2） （利用を希望する時間も数字でご記入ください）	週□日くらい →下校時から□□時まで
７．ファミリー・サポート・センター	週□日くらい
８．その他（公民館、公園など）	週□日くらい

※数字は1枠に1字で、08時や18時のように24時間制で記入。（週あたりの合計が7日を越えないように）

問 27 あて名のお子さんについて、小学校４～６年生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに、〇をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を □内に数字でご記入ください。（現在お持ちのイメージで結構です。）

１．自宅	週□日くらい
２．祖父母宅や友人・知人宅	週□日くらい
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週□日くらい
４．児童館	週□日くらい
５．放課後子ども教室　（注1）	週□日くらい
６．放課後児童クラブ〔学童保育〕（注2） （利用を希望する時間も数字でご記入ください）	週□日くらい →下校時から□□時まで
７．ファミリー・サポート・センター	週□日くらい
８．その他（公民館、公園など）	週□日くらい

※数字は1枠に1字で、08時や18時のように24時間制で記入。（週あたりの合計が7日を越えないように）

注1）放課後子ども教室
… 地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

注2）放課後児童クラブ
… 学童保育とも呼ばれます。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。
（事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。）

15

問 28 問 26 または 問 27 で、「6．放課後児童クラブ（学童保育）」に〇をつけた方にうかがいます。
あて名のお子さんについて、（1）土曜日、（2）日曜日・祝日 ごとの利用希望をうかがいます。
それぞれ利用希望の有無について、あてはまる番号どちらか１つに、〇をつけてください。
また、「1．利用したい」場合に、何年生まで利用したいか、その学年の番号に１つ 〇をつけてください。
（事業の利用には、一定の利用料がかかります。）

（1）土曜日

１．利用したい ⇒ その学年〔 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 年生まで 〕
利用したい時間帯 □□時から□□時まで

２．土曜日に利用する必要はない

※ □内は数字でご記入ください。数字は1枠に1字で、08時や18時のように、24時間制で記入。

（2）日曜日・祝日

１．利用したい ⇒ その学年〔 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 年生まで 〕
利用したい時間帯 □□時から□□時まで

２．日曜日・祝日に利用する必要はない

※ □内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字で、08時や18時のように、24時間制で記入。

問29 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号に１つ、〇をつけてください。
（事業の利用には、一定の利用料がかかります。）

１．利用したい ⇒ その学年〔 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 年生まで 〕
利用したい時間帯 □□時から□□時まで

２．夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に利用する必要はない

※ □内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字で、08時や18時のように、24時間制で記入。

16

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 30　あて名のお子さんが生まれた時、父･母のいずれか、または双方が「育児休業」を取得しましたか。
母親・父親それぞれについて、あてはまる番号に１つ、○をつけてください。
また、取得していない場合は、その理由にあたる番号すべてに、○をつけてください。

母親　（1～3のうち、1つに○）	父親　（1～3のうち、1つに○）
1．働いていなかった	1．働いていなかった
2．取得した（取得中である）	2．取得した（取得中である）
3．取得していない ▹ その理由を下から選択して、○をつけてください。	3．取得していない ▹ その理由を下から選択して、○をつけてください。

母親	父親
1．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2．仕事が忙しかった	2．仕事が忙しかった
3．（産休後に）仕事に早く復帰したかった	3．（産休後に）仕事に早く復帰したかった
4．仕事に戻るのが難しそうだった	4．仕事に戻るのが難しそうだった
5．昇給・昇格などが遅れそうだった	5．昇給・昇格などが遅れそうだった
6．収入減となり、経済的に苦しくなる	6．収入減となり、経済的に苦しくなる
7．保育園などに預けることができた	7．保育園などに預けることができた
8．配偶者が育児休業制度を利用した	8．配偶者が育児休業制度を利用した
9．配偶者が無職、または、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9．配偶者が無職、または、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10．子育てや家事に専念するため退職した	10．子育てや家事に専念するため退職した
11．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	11．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13．育児休業を取得できることを知らなかった	13．育児休業を取得できることを知らなかった
14．産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	14．産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15．その他（　　　　　）	15．その他（　　　　　）

問30-1　子どもが原則１歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間に健康保険および厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みについて、ご存じですか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。

1．育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2．育児休業給付のみ知っていた
3．保険料免除のみ知っていた
4．育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

17

問 30-2　問 30 で、「2．取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号に１つ、○をつけてください。
【⇒ 該当しない方は記入せず、問 31 へ（21ページへ）】

（1）母親
1．育児休業取得後、職場に復帰した
2．現在も育児休業中である
3．育児休業中に離職した

（2）父親
1．育児休業取得後、職場に復帰した
2．現在も育児休業中である
3．育児休業中に離職した

次の問30-3, 30-4, 30-5 は、上記 問30-2で「1．育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。 【⇒ 該当しない方は記入せず、問31へ（21ページへ）】

問 30-3　育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングでしたか。
あるいは、それ以外でしたか。どちらか１つに、○をつけてください。

（1）母親
1．年度初めの入所に合わせたタイミングだった　　2．それ以外だった

（2）父親
1．年度初めの入所に合わせたタイミングだった　　2．それ以外だった

※年度初めの認可保育所入所を希望して、１月～２月頃に復帰するため一時的に認可外保育所に入所した場合は、「1．」を選択してください。

※年度初めの認可保育所入所を希望して復帰したが、実際は希望する保育所に入所できなかったという場合は、「1．」を選択してください。

問30-4　育児休業からの職場復帰は、「実際」にお子さんが何歳何か月のときでしたか。
また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月まで取得したかったですか。
（□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。）

（1）母親
復帰の時期 □歳□□か月 ｜ そのときの希望 □歳□□か月

（2）父親
復帰の時期 □歳□□か月 ｜ そのときの希望 □歳□□か月

問30-5　お勤め先に、「育児のため３歳まで休暇を取得できる制度」があったとした仮定した場合に、希望として、お子さんが何歳何か月のときまで取得したかったですか。
（□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。）

（1）母親
そのときの希望 □歳□□か月

（2）父親
そのときの希望 □歳□□か月

18

問 30-6　問 30-4 で、「実際の復帰」と「希望」が異なる方にうかがいます。
希望される時期に職場復帰しなかった理由について、次の (1)早く復帰 または (2)遅く復帰 のどちらかにお答えください。

（１）希望より 早く 復帰した方　【あてはまる番号すべてに、〇をつけてください。】

①母親

1.希望する保育所に入るため　　2.配偶者や家族の希望があったため
3.経済的な理由で早く復帰する必要があった　　4.人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5.その他（　　　　　　　　）

②父親

1.希望する保育所に入るため　　2.配偶者や家族の希望があったため
3.経済的な理由で早く復帰する必要があった　　4.人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5.その他（　　　　　　　　）

（２）希望より 遅く 復帰した方　【あてはまる番号すべてに、〇をつけてください。】

①母親

1.希望する保育所に入れなかったため　　2.自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3.配偶者や家族の希望があったため　　4.職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5.子どもをみてくれる人がいなかったため
6.その他（　　　　　　　　）

②父親

1.希望する保育所に入れなかったため　　2.自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3.配偶者や家族の希望があったため　　4.職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5.子どもをみてくれる人がいなかったため
6.その他（　　　　　　　　）

問 30-7　問 30-2 で、「１.育児休業取得後、職場に復帰した」に〇をつけた方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰の際は、育児短時間勤務制度を利用しましたか。
あてはまる番号に１つ、〇をつけてください。

（１）母親

１．利用する必要がなかった　　２．利用した
３．利用を希望したが、できなかった

（２）父親

１．利用する必要がなかった　　２．利用した
３．利用を希望したが、できなかった

19

問 30-8　問 30-7 で、「３.利用を希望したが、できなかった」に〇をつけた方にうかがいます。
利用できなかった理由は何ですか。あてはまる理由すべてに、〇をつけてください。
【複数選択 可】

（１）母親

１．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
４．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
７．子育てや家事に専念するため退職した
８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
１０．その他（　　　　　　　　）

（２）父親

１．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
４．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
７．子育てや家事に専念するため退職した
８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
１０．その他（　　　　　　　　）

問 30-9　問 30-2 で、「２.現在も育児休業中である」に〇をつけた方にうかがいます。
あて名のお子さんが１歳になったときに必ず利用できる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。あてはまる番号に１つ、〇をつけてください。

（１）母親

１．１歳になるまで育児休業を取得したい　　２．１歳になる前に職場復帰したい

（２）父親

１．１歳になるまで育児休業を取得したい　　２．１歳になる前に職場復帰したい

20

問 31　情報通信技術（オンラインによる申請や面談できる機能等）やＡＩ（人工知能）を用いた子育て支援について、どのようなサービスがあったら利用したいですか。
利用したいと思う番号すべてに、○をつけてください。

1．こども医療費助成や児童手当など、子育て支援全般に関するオンライン手続
2．一時預かりや病児保育の利用予約など、保育に関するサービスのオンライン手続
3．乳幼児健診や予防接種の問診票がスマートフォン等から作成できるオンライン機能
4．ＳＮＳを活用した相談サービス
5．窓口に来庁しなくともスマートフォン等から面談できるオンライン相談サービス
6．その他
（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問 32　那須烏山市の子育て環境や支援の満足度について、あてはまる番号１つに、○をつけてください。

不　満	満足度が低い	ちょうど良い	満足している	満足度が高い
1	2	3	4	5

問 33　問 32 と回答した理由について具体的なことがありましたら、ご記入ください。

お忙しい折、調査にご協力いただきまして大変ありがとうございました。

令和５年度
子育て支援に関するアンケート調査
【結果報告書】

令和６年６月発行

発行　那須烏山市
編集　那須烏山市　こども課
〒321-0526
栃木県那須烏山市田野倉 85-1